

## 第 6 回総会議案書 付属資料

1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績 .....	1
(1) XML コンソーシアムセミナー、部会紹介セミナー等 .....	1
(2) ユーザーシンポジウム .....	9
(3) 部会活動成果発表 .....	10
2. 部会活動成果 .....	22
(1) SOA 部会 .....	22
(2) セキュリティ部会 .....	22
(3) Web サービス実証部会 .....	23
(4) ドキュメント・メタデータ活用部会 .....	24
(5) コピキタス・組み込み系部会 .....	25
(6) ビジネス・イノベーション研究部会 .....	26
(7) ContactXML 部会 .....	26
(8) TravelXML 標準化部会 .....	26
(9) コンテンツ利用情報標準化部会 .....	27
(10) 関西部会 .....	27
3. アンケート集計結果 .....	29
(1) 活動に関するアンケート .....	29
(2) 普及度アンケート .....	30
(2) 普及度調査アンケート集計結果比較 .....	42
4. 2006 年度 XML コンソーシアム組織 .....	47
5. 2006 年度部会活動計画 .....	48
(1) SOA 部会 .....	48
(2) セキュリティ部会 .....	49
(3) Web サービス実証部会 .....	50
(4) Web2.0 部会 .....	51
(5) クロスメディア・パブリッシング部会 .....	53
(6) コピキタス・組み込み系部会 .....	54
(7) ビジネス・イノベーション研究部会 .....	55
(8) ContactXML 部会 .....	57
(9) TravelXML 標準化部会 .....	58
(10) コンテンツ利用情報標準化部会 .....	58
(11) 関西部会 .....	59
6. 表彰者一覧 .....	62
7. 会員会社一覧 .....	64

## 1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績

延べ参加人数合計	5 2 3 4 社	8 2 0 5 名
(1) XML コンソーシアムセミナー	2 6 1 4 社	4 2 9 0 名
(2) ユーザーシンポジウム	2 9 0 社	4 2 1 名
(3) 部会活動成果発表	2 3 3 0 社	3 4 9 4 名

### (1) XML コンソーシアムセミナー、部会紹介セミナー等

開催	プログラム	場所・参加人数
設立総会 特別セミナー  2001年 6月18日	1)「XML標準化の最新動向と世界の産業界での取り組み」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 2)「Web Service の時代における、セキュリティとセーフティ」 日本アイ・ピー・エム(株) 丸山 宏 様	飯田橋:東京コンファレンスセンター 会 員: 86社 177名 非会員: 52社 80名 合 計:138社 257名
第1回 月例セミナー  2001年 7月26日	1)「XML and Electronic Commerce」 Sun Microsystems Jon Bosak 様 2)「Tasting SOAP-Early project experiences with Web Services」 IBM Anton Fricko 様	豊洲:日本ユニシス 会 員: 60社 108名 非会員: 56社 61名 合 計:116社 169名
第2回 月例セミナー  2001年 9月17日	1)「XML入門」 日本ユニシス(株) 小林茂 様 2)「(財)ニューメディア開発協会における電子申請へのXML適用の取り組み」 (財)ニューメディア開発協会 富川直毅 様 3)「XMLを用いた製品説明資料参照サービス」 (株)日立製作所 松永栄夫 様 4)「XMLドキュメントの動向・事例」 イースト(株) 下川和男 様 (XMLコンソーシアム・ドキュメント部会リーダー)	王子:北とびあ 会 員: 93社 142名 非会員: 17社 17名 合 計:110社 159名
第3回 月例セミナー  2001年 10月12日	1)「SOAP,WSDL,UDDIなどWebサービスのためのテクノロジーと最新技術動向の概要」 インフォテリアネットワークス(株) 吉松史彰 様 2)「Webサービスの意味とインターネット社会へのインパクトについて」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 3)「富士通の取り組み・事例紹介」 富士通(株) 門間 仁 様 4)「IBMの取り組み・事例紹介」 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様 5)「MSの取り組み・事例紹介」 マイクロソフト(株) 熊谷 恒治 様 6)「Webサービス推進委員会」立ち上げと、今後の活動のご紹介」 XMLコンソーシアム運営委員会有志	住商情報システム 会 員: 86社 114名 非会員: 4社 4名 合 計:90社 118名
第4回 月例セミナー  2001年 11月5日	1)「Webサービスの現在と未来」 (株)日立製作所 秋藤 俊介 様 2)「JavaとVisual Basicを利用したWebサービスの実装」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 本 俊也 様 3)「Webサービスの開発とセキュリティ」 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様 4)「HPのWebサービス戦略 ~e-speakからweb services platformへ」 日本ヒューレット・パカード(株) 服部 省治 様 5)「流通業B2BにおけるebXML TRP適用検証」 日本電気(株) 伊波 通晴 様 6)「Webサービスによる辞書検索システムの構築事例紹介」 イースト(株) 下川 和男 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 70社 144名 非会員: 13社 14名 合 計: 83社 158名
第5回 月例セミナー  2001年 12月11日	1)「Service on Demandを実現するSun ONE(Open Net Environment)の概要」 サン・マイクロシステムズ(株) 関 谷 宏 様 2)「BEAシステムズが実現するWebサービスの概要」 日本BEAシステムズ(株) 伊 藤 敬 様 3)「オラクルのWebサービス」 日本オラクル(株) 鈴木 潤一 様 4)「Webサービス、UDDI,実ビジネス・システム適用の有効性検証」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様	住商情報システム 会 員: 54社 96名 非会員: 11社 12名 合 計: 65社 108名

<p>第6回 月例セミナー  2002年 1月24日</p>	<p>1)「XML2001カンファレンス参加報告 - 使えるXML標準を目指して、 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 2)「ContactXML 部会設立のご紹介」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様 3)XMLを適用したマルチリンガル版マニュアル制作の事例」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 増井 章二 様 4)「OracleによるXML文書の全文検索」 日本オラクル(株) 秋本 尚吾 様 5)「XML専用全文検索エンジン Zelkova」 インフォテリアネットワークス(株) 高根 英哉 様 6)「ドキュメントシステムにおけるXML事例紹介」 (株)日立製作所 大場みち子 様</p>	<p>御茶ノ水:日立製作所 会 員: 62社 112名 非会員: 14社 16名 合 計: 76社 128名</p>
<p>第7回 月例セミナー  2002年 2月21日</p>	<p>1)「BizEngineによるロゼッタネット・ウェブサービス構築事例のご紹介」 NECソリューションズ 里見 明彦 様 2)「開発事例紹介: SOAPを使った辞書検索サービス」 イースト株式会社 下川 和男 様・渋谷 誠 様 3)「Webサービス技術検証プロジェクト事例・体験報告」 株式会社アイ・ティ・フロンティア 西元 信雄 様</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 52社 95名 非会員: 12社 13名 合 計: 64社 108名</p>
<p>第8回 月例セミナー  2002年 3月19日</p>	<p>1)「BtoBインターネット決済システムへのSOAPの適用」 株式会社NTTデータ 福田 靖 様 2)「XMLで実現する普及型電子購買システムの実装と展望」 ビズネット株式会社 清水 秀隆 様 3)「SunTechDays レビュー」 サン・マイクロシステムズ株式会社 高橋 成吉 様 日本BEAシステムズ(株) 伊藤 敬 様 日本オラクル(株) 鈴木 潤一 様</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 50社 75名 非会員: 17社 17名 合 計: 67社 92名</p>
<p>第9回 月例セミナー  2002年 4月17日</p>	<p>1)「WSDL相互運用性テスト報告 ～Web Services Interoperability Forumにおける実証実験～」 日本アイオナテクノロジーズ株式会社 小野沢 博文 様 2)「パイオ分野におけるXMLの応用例～BSMLとXML Genomic Suite DBのご紹介～」 株式会社CRCソリューションズ 安中 敏男 様 3)「ネイティブXMLサーバー Tamino 3.1」 株式会社ビーコンIT 田中 聡 様 4)「XMLネイティブデータベースエンジン「Yggdrasil(イグドラシル)」～大容量、高速検索、 2バイト文字対応など高機能でコストパフォーマンスに優れたデータベースエンジン～」 株式会社メディアフュージョン 前場 大輔 様 5)「XMLの可能性を最大限に引き出すXMLデータサーバ「eXcelon XIS」 ～最高データベース賞に輝く、XISによるXMLアプリケーション構築のキー・ポイント～」 日本エクセロン株式会社 武末 徹也 様 6)「XMLデータベース連携関連ツール iConnector, iMaker, Zelkova」 インフォテリア株式会社 井下田 久幸 様 7)「XML全文検索エンジン BTONIC」 イースト株式会社 下川 和男 様 8)「XML電子カタログを活用した次世代型コンフィグレーションエンジンコンフィグPro」 PFU アクティブラボ株式会社 槇本 力也 様 9)「サービスベースアプリケーションプラットフォーム SonicXQ」 株式会社オーガス総研 正田 壘 様 10)「XMLアプリケーション構築プラットフォーム「DataSpider(R)」シリーズ」 株式会社アプレッソ 大畠 幸男 様</p>	<p>豊洲:日本ユニシス 本社 会 員: 82社 140名 非会員: 26社 27名 合 計: 108社 167名</p>
<p>第10回 月例セミナー  2002年 7月17日</p>	<p>1)「XML及びWebサービスの利用及び注目の動向」 株式会社アットマーク・アイティ 小柴 豊 様 2)「ここまで来た欧米企業のWebサービス活用 - 議論を終わり、実用のフェーズに入ったWebサービス -」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様(XMLコンソーシアム エバンジェリスト) 3) コミュニケーション・タイム 「普及が始まったXMLそしてWebサービス、その現実に迫る」 株式会社コンピュータ・ニュース社 吉若 徹 様、金井 孝平 様 4) パネルディスカッション～「会場からの質問も大歓迎。日本におけるWebサービスの劇的なブレイクをこのパネルから！」 パネラー: 株式会社IDGジャパン 福田 悦朋 様 株式会社アットマーク・アイティ 新野 淳一 様 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p>	<p>渋谷:多摩大学ルネサンスセンタ - 会 員: 67社 114名 非会員: 17社 21名 プレス: 2社 3名 合 計: 86社 138名</p>

<p>第11回 月例セミナー</p> <p>2002年 8月23日</p>	<p>1)-1 「情報セキュリティの傾向とその対策の考え方」 富士通(株) 塩崎 哲夫 様</p> <p>1)-2 「PKIの動向」 (株)日立製作所 洲崎 誠一 様</p> <p>2)-1 「セキュリティ関連XMLの動向とSignature、Encryption、XKMS解説」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様(XMLコンソーシアム 基盤技術部会)</p> <p>2)-2 「SAML、XACML解説」 富士ゼロックス(株)道村 唯夫 様</p> <p>3)-1 「WS-Security解説」(前半) 日本アイ・ピー・エム株式会社 小坂 一也 様</p> <p>3)-2 「WS-Security解説」(後半) マイクロソフト(株)加藤 健二 様</p> <p>3)-3 「Liberty Alliance 1.0 解説」 サン・マイクロシステムズ(株) 下道 高志 様</p> <p>4) 「Web サービスセキュリティの互換性評価」 日本電気(株)NECソリューションズ 杉山 高弘 様</p>	<p>御茶ノ水:日立製作所 会 員: 97社 261名 非会員: 28社 30名 合 計:125社 291名</p>
<p>第12回 月例セミナー</p> <p>2002年 9月17日</p>	<p>1) 「業務におけるWeb サービス連携を実現する最新テクノロジー」 日本BEAシステムズ株式会社 伊藤 敬 様</p> <p>2) 「BPEL4WS 概説」 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p> <p>3) 「WS-Coodination /WS-Transaction 概要」 マイクロソフト株式会社 野村 一行 様</p> <p>4) 「UDDIの意義と役割」 富士通株式会社 木庭袋 圭祐 様</p> <p>5) 「UDDIにおける国際化・セキュリティ」 日本アイ・ピー・エム株式会社 吉田 忠行 様</p>	<p>豊洲:NTTデータ 会 員:67社 157名 非会員:11社 12名 合 計:78社 169名</p>
<p>第13回 月例セミナー</p> <p>2002年 10月18日</p>	<p>1) 「文書管理基盤 DocumentBroker を利用したXMLコンテンツ管理」 株式会社日立製作所 島田 敦史 様</p> <p>2) 「電子帳票フレームワークとXMLを活用した効率的なシステム構築」 株式会社富士通インフォソフトテクノロジ 山本 昭之 様</p> <p>3) 「XMLドキュメントソリューションのご紹介」 東芝ITソリューション株式会社 石崎 豊 様</p> <p>4) 「Oracle9i ネイティブXMLデータベース」 日本オラクル株式会社 和田 凡央 様</p>	<p>大井町:インフォテリア 会 員: 54社 73名 非会員: 7社 8名 合 計: 61社 81名</p>
<p>第14回 月例セミナー</p> <p>2002年 11月19日</p>	<p>1) 「電子カルテの新標準MML(Medical Markup Language)の概要と動向」 特定非営利活動法人 MedXMLコンソーシアム 中島 裕生 様 (テクマトリクス株式会社 取締役技術本部長)</p> <p>2) 「XMLコンソーシアム勧告:ContactXMLの概要と実装」 株式会社クレオ 小笠原徳夫 様 (XMLコンソーシアム ContactXML 部会サブリーダー)</p> <p>3) 「次世代GISを担うG-XMLの概要と動向」 株式会社NTTデータ 中井 章文 氏 (G-XML 検討委員会委員)</p>	<p>大井町:インフォテリア 会 員:47社 71名 非会員: 9社 9名 合 計:56社 80名</p>
<p>第15回 月例セミナー</p> <p>2002年 12月19日</p>	<p>1) 「パブリックUDDIの取り組み状況と調達システムにおけるWeb サービス適応事例の紹介」 NTTコミュニケーションズ株式会社 町原 宏毅 様</p> <p>2) 「Web サービスを利用した法人向け信用格付・与信管理システム」 テクマトリクス株式会社 杉崎 啓史 様</p> <p>3) 「XMLドキュメント制作ソフトウエアエンジニアリング制作」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 金谷恵子 様</p> <p>4) 「携帯端末向けXML Web サービス ゲートウェイ」 日本ユニシス株式会社 鈴木 武 様</p>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジニア 会 員:56社 108名 非会員:10社 11名 プレス: 1社 1名 合 計:67社 120名</p>
<p>第16回 月例セミナー</p> <p>2003年 1月17日</p>	<p>1) 「Web サービスは単なる要素技術? ~ Web サービス隆盛の背後にあるもの ~」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様</p> <p>2) 「組み込み機器へのWeb サービス応用」 株式会社日立製作所 関口 知紀 様</p> <p>3) 「携帯電話機を業務端末として活用するためのXML/Web サービス適用について」 日本電気株式会社 岸上 信彦 様</p> <p>4) 「データ、XMLおよびWeb サービスについて本当に知るべきこと - 期待と現実 -」 米国データディレクトテクノロジーズ社 ブライアン・リード 様</p>	<p>田町:日本電気 本社ビル 会 員:63社 124名 非会員:22社 24名 プレス: 1社 1名 合 計:86社 149名</p>
<p>第17回 月例セミナー</p> <p>2003年 2月18日</p>	<p>1) 「XMLコンソーシアムの標準化への取り組みについて」 XMLコンソーシアム運営委員会</p> <p>2) 「近未来のオンデマンド・サービスをささえるGrid技術におけるWebサービスの役割」 日本アイ・ピー・エム株式会社 長島 哲也 様</p> <p>3) 「Webサービスを利用した輸出信用状明細案内サービス」 株式会社 東京三菱銀行 別筒 正 様</p> <p>4) 「市民と自治体:XMLの役割」 株式会社シナジー・インキュベート 菊田 昌弘様(XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</p>	<p>渋谷:多摩大学ルネサンスセンタ 会 員: 65社 115名 非会員: 13社 15名 プレス: 2社 2名 合 計: 80社 132名</p>

第6回総会議案書  
付 属 資 料

第18回 月例セミナー 2003年 6月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「OracleのプライベートUDDIについて」 日本オラクル株式会社 鈴木 潤一 様</li> <li>2) 「駅前探険倶楽部 XML Web サービス戦略」 株式会社駅前探険倶楽部 余語 将成 様</li> <li>3) 「テクノロジー/応用技術部会オリエンテーション」 XMLコンソーシアム XMLテクノロジー 部会リーダー XMLコンソーシアム 応用技術部会 部会リーダー</li> </ol>	飯田橋:大塚商会 本社会員: 43社 63名 非会員: 13社 17名 合計: 56社 80名
第19回 月例セミナー 2003年 7月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「社会基盤としての情報インフラ - 欧米の状況: OASISを中心に」 XMLコンソーシアムエバンジェリスト 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様</li> <li>2) 「アジア圏における情報社会の状況と電子商取引の課題」 東アジア電子商取引協会 伊藤 昇 様</li> <li>3) 「業務・システムの最適化計画について」 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</li> <li>4) パネルディスカッション ~ 「日本の社会基盤としてのITインフラを考える - XMLおよびWEBサービスの役割と期待」 パネラー: 講演者の皆様 モデレータ: XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様</li> </ol>	東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 49社 82名 非会員: 41社 49名 プレス: 1社 1名 合計: 91社 132名
第20回 月例セミナー 2003年 8月25日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「知識活用におけるXML技術の利用例」 株式会社ジャストシステム 植松 直也 様</li> <li>2) 「帳票システムにおけるXML技術の応用例」 エム・アイ・エス・テクノロジー株式会社 石川 雅邦 様</li> <li>3) 「オントロジ技術への視点」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様(XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</li> </ol>	北青山:ジャストシステム 会 員: 41社 58名 非会員: 8社 8名 合計: 49社 66名
第21回 月例セミナー 2003年 9月24日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「BMLとデータ放送の概要について」 日本電気株式会社 高木 泰幸 様</li> <li>2) 「コンテンツ利用の商取引向けXML標準の開発」 株式会社NTTデータ 藤原 仁 様</li> <li>3) 「MPEG-7の生成とその利用」 日本アイ・ピー・エム株式会社 益満 健 様</li> </ol>	田町:日本電気 社ビル 会 員: 20社 34名 非会員: 3社 3名 合計: 23社 37名
第22回 月例セミナー 2003年 10月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「World Wide Web Consortium (W3C) におけるWeb技術の国際標準化活動の概要」 慶應義塾大学大学院 平川 泰之 様</li> <li>2) 「WS-Security標準化動向」 株式会社日立製作所 システム開発研究所 山本 昭之 様</li> <li>3) 「WS-Manageability, WS-ReliableMessagingの最新動向」 XMLコンソーシアムエバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</li> <li>4) 「Webサービス向けリライアブルメッセージング標準化の取り組み ~ WS-Reliabilityの意義と技術解説 ~」 富士通株式会社 岩佐 和典 様 日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏俊宏 様 株式会社日立製作所 平野 勲勲 様 日本電気株式会社 関 啓一啓一 様</li> </ol>	豊洲:NTTデータ 会 員: 36社 85名 非会員: 5社 5名 プレス: 2社 2名 合計: 43社 92名
第1回 大阪セミナー 2003年 10月29日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 基調講演「Webサービスの今と未来」 XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様</li> <li>2) 「観光情報 Web サービス実証システムの概要」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト 日本アイ・ピー・エム株式会社 日本ユニシス株式会社</li> <li>3) 「観光情報 Web サービス実証システム・デモ(I)」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト 日進ソフトウェア株式会社 株式会社日立製作所</li> <li>4) 「観光情報 Web サービス実証システム・デモ(II)」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社 日本ユニシス株式会社 日本電気株式会社 富士通株式会社</li> </ol>	大阪:日本ユニシス 関西支社 会 員: 13社 27名 非会員: 7社 18名 合計: 20社 45名
第23回 月例セミナー 2003年 11月7日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「実用化が進むXMLやWebサービスの現状と未来」 XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様</li> <li>2) 「ケータイでXMLは普及するのか? ~ XML Binary, Mobile BML, SVG Mobile に関する動向」 株式会社KDDI 研究所クレオ 小林 亜令 様</li> <li>3) 「XMLを利用したインタラクティブモバイルアプリケーション、米国での開発事例」 UIEvolution CEO 中島 聡 様</li> <li>4) 「マッチメイキングを実現するWebサービスの高度検索とUDDIビジネスレジストリ」 株式会社東芝 長谷川 哲夫 様</li> </ol>	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 48社 71名 非会員: 5社 5名 プレス: 2社 2名 合計: 55社 78名

<p>第24回 月例セミナー  2003年 12月25日</p>	<p>1) 「XML最新事情とWebサービス標準化全体像2003」 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様(XMLコンソーシアム 副会長) 2) 「OGSA ベースの Web サービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング株式会社 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様 3) 「Web サービスビジネスプロセス実行言語.BPEL4WS(OASIS WSBPEL TC)解説」 NEC ソリューション開発研究本部インターネット基盤開発本部 兼 インターネットシステム研究所 杉山 高弘 様 4) 「来年度からのXMLコンソーシアムの活動と運営について」 XMLコンソーシアム 副会長&amp;運営委員議長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム)</p>	<p>田町: 日本電気株式会社本社ビル 会 員: 37社 70名 非会員: 16社 16名 プレス: 2社 2名 合 計: 55社 88名</p>
<p>第2回 大阪セミナー  2003年 12月5日</p>	<p>1) 基調講演:「標準化団体 OASIS とグローバル・オープン標準 - OASIS の標準化活動と Web サービス最新動向」 XML コンソーシアム Web サービス推進委員会議長 XML コンソーシアム エバンジェリスト 岡部 恵造 様(株式会社 大塚商会) 2) 「ケータイで XML は普及するのか?」 ~ XML Binary, Mobile BML, SVG Mobile に関する動向 ~ 株式会社 KDDI研究所 主任 小林 亜令 様 3) 「OGSA ベースの Web サービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング 株式会社 オンデマンド・テクノロジー 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様</p>	<p>大阪:日本ユニシス 関西支社 会 員: 12社 18名 非会員: 12社 21名 合 計: 24社 39名</p>
<p>第24回 月例セミナー  2003年 12月25日</p>	<p>1) 「XML最新事情とWebサービス標準化全体像2003」 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様(XMLコンソーシアム 副会長) 2) 「OGSA ベースの Web サービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング株式会社 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様 3) 「Web サービスビジネスプロセス実行言語.BPEL4WS(OASIS WSBPEL TC)解説」 NEC ソリューション開発研究本部インターネット基盤開発本部 兼 インターネットシステム研究所 杉山 高弘 様 4) 「来年度からのXMLコンソーシアムの活動と運営について」 XMLコンソーシアム 副会長&amp;運営委員議長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム株式会社)</p>	<p>田町:日本電気 本社ビル 会 員: 37社 70名 非会員: 16社 16名 プレス: 2社 2名 合 計: 55社 88名</p>
<p>第3回 大阪セミナー  2004年 2月6日</p>	<p>1) 「企業戦略のイネーブラーとしての Web サービス」 XML コンソーシアム エバンジェリスト 丸山 宏 様(日本アイ・ピー・エム株式会社) 2) 「Service Oriented Architecture 概説」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様 3) 「NewsML1.2 と ProgramGuideML」 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 4) 「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社 上田 隆司 様 (応用技術部会 セキュリティ WG) 「今年度の活動中間報告」 日本テレコム株式会社 山口 英子 様(応用技術部会 セキュリティ WG)</p>	<p>大阪:日本ユニシス 関西支社 会 員: 10社 12名 非会員: 4社 9名 合 計: 14社 21名</p>
<p>第25回 月例セミナー  2004年 3月15日</p>	<p>1) 「電子商取引の現状と今後の展望 - 日本企業の EC 実態と今後の XML/EDI の展望 - 」 電子商取引推進協議会(ECOM) 主席研究員 斉藤 幸則 様 2) 「XBRL の技術動向」 XBRL Japan 開発委員会 (株)日立システムアンドサービス 研究開発センタ センタ長 三分一 信之 様 富士通(株) ソフトウエア事業本部 XML/Web サービス技術部 課長 鈴木 利光 様 3) 「WS-I の最新動向」 WS-I Japan Special Interest Group 富士通(株) 成田 雅彦 様 富士通(株) 沼田 利典 様 (株)野村総合研究所 戸田 隆一郎 様 4) 「人材情報の流通を変える HR-XML」 日本人材データ標準化協会(HR-XML コンソーシアム・ジャパン) 専務理事 竹川 忠徳 様</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 39社 62名 非会員: 8社 9名 プレス: 3社 3名 合 計: 50社 74名</p>

<p>XML コンソーシウム・部会 紹介セミナー</p> <p>2004年 6月28日 7月1日 (両日同内容)</p>	<p>1)「XML コンソーシウム 2004 年度基本方針、活動計画のご紹介」 XML コンソーシウム副会長&amp;運営委員会議長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム株式会社)</p> <p>2)「メタデータ活用部会」 株式会社リコー 野村 直之 様他</p> <p>3)「セキュリティ部会」 株式会社 ネット・タイム 岡村 和英 様</p> <p>4)「ユビキタス・組み込み系部会」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様</p> <p>5)「TravelXML 標準化部会」 株式会社 NTT データ 遠城 秀和 様</p> <p>6)「ビジネス・イノベーション研究部会」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様</p> <p>7)「SOA 部会」 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様</p> <p>8)「Web サービス実証部会」 PFU アクティブラボ株式会社 松山 憲和 様他</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 6月28日 会 員: 24社 43名 非会員: 1社 1名 合 計: 25社 44名</p> <p>7月1日 会 員: 37社 58名 非会員: 9社 12名 合 計: 46社 70名</p>
<p>XML コンソーシウムセミナー</p> <p>2004年 7月14日</p>	<p>1)「様々なメタデータ活用と情報流通・サービス連携を促進するアプリ、インフラについて ～メタデータが日常生活に入ってきて便利になる(か)～」 株式会社リコー 野村 直之 様 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 株式会社フジミック 大坂 哲司 様 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 NTT ソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 Sky株式会社 玉川 竜司 様 株式会社富士通研究所 小田切 純一 様 NTT ソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 株式会社電通国際情報サービス 千葉 恭弘 様 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社 大庭 幹生 様</p> <p>2)「Semantic Web はいつ"離陸"するか? ～2010年のWeb、情報検索のイメージ～」 慶應義塾大学 萩野 達也 様</p> <p>3)「プロジェクトマネジメントへの Semantic Web サービスの適用の試み」 東洋大学 中挟 知延子 様</p> <p>4)「Seamless Knowledge を目指して:Topic Maps と Published Subjects」 ナレッジ・シナジー 内藤 求 様</p> <p>5)パネル討論「ユビキタス情報環境におけるメタデータ活用の新アプリとビジネスモデル」 ～情報流通、サービス連携促進の為に標準化活動、産学協働への期待～ マサチューセッツ工科大学 宮川 繁 様 慶應義塾大学 萩野 達也 様 東洋大学 中挟 知延子 様 ナレッジ・シナジー 内藤 求 様 ドコモ・システムズ 大野 邦夫 様 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 株式会社フジミック 大坂 哲司 様 NTT ソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 モデレーター: 株式会社リコー 野村 直之 様</p>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジニア グ 会 員: 43社 81名 非会員: 22社 23名 プレス: 2社 2名 合 計: 67社 106名</p>
<p>XML コンソーシウム・セミナー</p> <p>2004年 8月19日</p>	<p>1)「ユーザ企業にとっての SOA の意義と対応への一考察」 XML コンソーシウムエバンジェリスト キヤノン株式会社 倉沢 良明 様</p> <p>2)「ビジネスの現場におけるIT活用術」 株式会社芝パークホテル 石原 直 様</p>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 42社 67名 非会員: 2社 2名 プレス: 3社 5名 合 計: 47社 74名</p>
<p>「ユーザ企業のためのXML、Web サービス、SOA活用講座」 2004年 9月15日- 9月17日</p>	<p>1)「ユーザ企業にとっての IT -Web サービス、SOA の意義と対応への一考察」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト キヤノン株式会社 倉沢良明 様</p> <p>2)「今さら聞けないXML入門」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト 日本ユニシス・ソフトウェア株式会社 小林 茂 様</p> <p>3)「今さら聞けないWeb サービス入門」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p> <p>4)「Web サービス活用の実際」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様</p> <p>5)ディスカッション「どう使えるXML/Web サービス/SOA」</p> <p>6)「SOA 概説」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富雄 様</p> <p>7)「SOA がもたらすビジネス変革」 XML コンソーシウム・エバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム株式会社 丸山 宏 様</p> <p>8)ディスカッション「XML/Web サービスの業務への活用検討」</p>	<p>五反田:日本アイ・ピー・エム 会 員: 4社 5名 非会員: 7社 8名 合 計: 11社 13名</p>

<p>XMLコンソーシウム・セミナー</p> <p>2004年 10月19日</p>	<p>1)「おサイフケータイ、iモードフェリカ始まる！」 株式会社NTTドコモ 山口 善輝 様</p> <p>2)「AIAP-URCの概要とユニバーサルインターフェイス」 情報アクセシビリティ研究者/ライター 梅垣 正宏 様</p> <p>3)「やおよろずプロジェクトについて」 株式会社日立製作所 本間 弘一 様</p> <p>4)「ユビキタス社会を構築するモバイルCRM」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様</p> <p>5)「群コージュ支援 - ユビキタス情報環境による社会支援に向けて」 独立行政法人 産業技術総合研究所 車谷 浩一 様</p> <p>6)パネルディスカッション 講演者 情報アクセシビリティ研究者/ライター 梅垣 正宏様 株式会社日立製作所 本間 弘一様 独立行政法人 産業技術総合研究所 車谷 浩一様 XMLコンソーシウム ユビキタス・組み込み系部会メンバー XMLコンソーシウム エバンジェリスト ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫様 XMLコンソーシウム エバンジェリスト 株式会社日立製作所 大場 みち子様(モデレータ)</p>	<p>品川:日立システムアンドサービス 会 員: 29社 48名 非会員: 7社 10名 合 計: 36社 58名</p>
<p>XMLコンソーシウム 関西での活動を盛りあげよう集会</p> <p>2004年 12月2日</p>	<p>1)「サービス指向アーキテクチャ(SOA)が目指す世界は？」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様(ビジネスイノベーション部会)</p> <p>2)「Webサービスのセキュリティ」 株式会社ネット・タイム 岡村 和英 様(セキュリティ部会)</p> <p>3)「Webサービス実証とは何か？」 PFUアクティブラボ株式会社 松山 憲和 様(Webサービス実証部会)</p> <p>4)「Blogについて」 日本ユニシス・ソリューション株式会社 小林 茂 様(メタデータ活用部会)</p>	<p>大阪:日本ユニシス 会 員: 11社 33名 非会員: 8社 10名 合 計: 19社 43名</p>
<p>PAGE2005 ジョイントセミナー</p> <p>メタデータ活用による次世代コンテンツ流通促進のためのXML標準規格と基盤ソフトウェア</p> <p>2005年 2月4日</p>	<p>1)「ATOMの概要とオープンソースライブラリを使ったSKY ACTIVE FIELDへの実装」 Sky 玉川竜司様</p> <p>2)「コンテンツ流通に関するメタデータ規格の最近の動向」 ~J/Meta, MXF, OAI-PMHなどのご紹介 フライトシステムコンサルティング 武田昌明様</p> <p>3)「RDF共有ブックマークを使用したRDF情報の信頼性表現モデルとその応用システム」 日本電気 白石展久様</p> <p>4)「XML複合文書エディタxfy紹介」 ジャストシステム 赤井靖雄様</p>	<p>池袋:サンシャイン コンベンションセンター 合 計: 30名</p>
<p>XMLコンソーシウム・セミナー</p> <p>XMLデータベース徹底研究</p> <p>2005年 3月14日</p>	<p>1)イントロダクション「XMLデータベースの概要と市場」 XMLコンソーシウム メタデータ活用部会 株式会社リコー 野村直之様</p> <p>2)「XMLデータベース製品紹介」 日本アイ・ピー・エム株式会社 菅原 香代子様 株式会社メディアフュージョン 梅本 真義様 株式会社セック 川口 浩司様 日本オラクル株式会社 秋本 尚吾様 ソニックソフトウェア株式会社 武末 徹也様</p> <p>3)特別講演 「優れたWebDBの機能・性能要件と技術課題、応用について」 名古屋大学情報連携基盤センター 吉川正俊様</p> <p>4)パネルディスカッション 「XMLデータ活用の現状・今後の展望」 [パネラー] 上記講演者、ウルシステムズ株式会社林 浩一様 [モデレータ] 株式会社リコー 野村直之氏</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 45社 80名 非会員: 25社 29名 プレス: 1社 1名 合 計: 71社 110名</p>
<p>関西部会紹介セミナー &amp; 2004年度活動報告会</p> <p>2005年 7月5日</p>	<p>1)「関西部会紹介」 株式会社ブレインワークス 芦田 尚人 様</p> <p>2)「関西活動準備 Project 活動実績」 株式会社ブレインワークス 芦田 尚人 様</p> <p>3)「XML活用事例調査」 株式会社ブレインワークス 芦田 尚人 様</p> <p>4)「Webサービス作って試してみよう！」 コベルシステム株式会社 幸田 健 様</p> <p>5)「メタデータ活用部会報告(Atom部分のご説明)」 SKY株式会社 玉川 竜司 様(メタデータ活用部会)</p> <p>6)「道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験のご紹介」 PFUアクティブラボ株式会社 松山 憲和 様(Webサービス実証部会)</p>	<p>日本ユニシス 関西支社 会 員: 14社 21名 非会員: 3社 3名 合 計: 17社 24名</p>



<p>部会紹介セミナー  2005年 7月13日</p>	<p>1)「XML オーバービュー」 XML コンソーシウム エバンジェリスト 日本ユニシス株式会社 小林茂 様 2)「部会活動サマリー紹介」 XML コンソーシウム 運営委員 株式会社ジャストシステム 澤崎章二 様 3)「部会オリエンテーション」 ・ドキュメント・メタデータ活用部会 :株式会社リコー 野村直之 様 ・Webサービス実証部会 :PFU アクティブラボ株式会社 松山憲和 様 ・ユビキタス・組み込み系部会 :株式会社ジャストシステム 大野邦夫 様 ・TravelXML 標準化部会 :株式会社NTTデータ 遠城秀和 様 ・セキュリティ部会 :株式会社ネットタイム 岡村和英 様 ・SOA部会 :日本アイ・ピー・エム株式会社 天野富夫 様 ・ビジネス・イノベーション研究部会 :日本ユニシス株式会社 牧野友紀 様</p>	<p>日立ソフト 本社事務所 会 員: 24 社 35 名 非会員: 8 社 8 名 合 計: 32 社 43 名</p>
<p>XML コンソーシウム セミナー 「オープンな Web アプリケーション環境のためのセキュリティ最新動向 - 認証技術編」 2005年 9月13日</p>	<p>1)「Web アプリケーション環境のための認証技術:イントロダクション」 XML コンソーシウム セキュリティ部会リーダー 株式会社ネット・タイム 岡村 和英様 2)「Liberty Alliance Project 概要」 Japan-SIG Co-Chair(日本支部共同議長), Liberty Alliance Project NEC インターネットシステム研究所 五味 秀仁様 3)「Sun Java System アイデンティティ管理製品」 サン・マイクロシステムズ株式会社 下道 高志様 4)「DataPower XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ」 東京エレクトロン株式会社 松永 豊様 5)「ActiveGlobe WebOTX」 日本電気株式会社 毛利 豊様 「WebSAM SECUREMASTER」 日本電気株式会社 外山 英尚様 6)「Oracle Fusion Middleware」 日本オラクル株式会社 北野 晴人様 7)「XML コンソーシウム セキュリティ部会の活動について」 XML コンソーシウム セキュリティ部会リーダー 株式会社ネット・タイム 岡村 和英様</p>	<p>日本電気 本社ビル 会 員: 18 社 42 名 非会員: 30 社 35 名 合 計: 48 社 77 名</p>
<p>XML コンソーシウム 入門講座 ユーザー企業のための Web サービス・SOA 活用講座「経営と IT をつなぐ Web サービス」 2005年 10月18日-19日</p>	<p>1) 講義「XML オーバービュー」 日本ユニシス株式会社 小林 茂様 2) 講義「Web サービスの現在(いま)」 日本 IBM 株式会社 天野 富夫様 3) ディスカッション 4) 講義「Web サービスのビジネスモデル」 日本 IBM 株式会社 天野 富夫様 5) 講義「Web サービス事例の紹介」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀様 6) 講義&amp;ディスカッション「SOA とは?」</p>	<p>富士ソフト ABC 錦糸町ビル 会 員: 8 社 12 名 合 計: 8 社 12 名</p>
<p>PAGE2005 ジョイントセミナー Web2.0時代の基幹系情報システムへのメタデータ活用  2006年 2月3日</p>	<p>1)「Web2.0 for Enterprise について」 野村 直之様(メタデータ) 2)「Web2.0の顔:リッチクライアント、XML クライアントの最近の動向」 宮崎昭世様(日立ソフトウェアエンジニアリング)、荒本道隆様(アドソル日進) 3)「クロスメディア・アプリ iPlat ～愛・地球博に出展した、衛星画像、百科事典、現地ケータイ写真、ブログ、道路交通情報、気象情報、宿泊施設情報、観光スポット情報、翻訳等をメタデータで結んだクロスメディア連携システム」 荒本道隆様(アドソル日進)、玉川竜司様(Sky)、重久修平様(内田洋行) 4)「HR-XML による人事・総務・プロジェクト管理業務革新の可能性」 藤原隆弘様(イースト)、長谷川守邦様(日立システムアンドサービス) 5)「フリーディスカッション」</p>	<p>サンシャイン コンベンションセンター 会 員: 20 社 30 名 非会員: 32 社 40 名 合 計: 52 社 70 名</p>
<p>Web2.0勉強会 第1回ミーティング+XML コンソーシウム セミナー Web2.0! この盛り上がりはどう受け止めれば良いか 2006年 3月3日</p>	<p>1)「なぜ XML コンソーシウムが Web2.0 か?」 XML コンソーシウム副会長 インフォテリア(株) 平野洋一郎様 XML コンソーシウムエバンジェリスト メタデータ(株) 野村直之様 2)「DOS、Windows そして Web 2.0」 XML コンソーシウムエバンジェリスト イースト(株) 下川和男 様 3)「メディアとしての Web2.0」 - インターネット・マーケティングから見た新潮 日本ビューレット・パカード(株) 市川恵貴 様 4)「技術者の視点で Web2.0 デザインパターンを考える」 - アーキテクチャ(スタイル)と Web2.0 - W3C、Tim B.Lee の見解、スタンス 慶應義塾大学 SFC 研究所・上席所員 野村直之 様 5)「Web2.0 的アプリケーションを考える」 PAGE2006 クロスメディアコンファレンス報告～iPlat を題材に～ XML コンソーシウムエバンジェリスト PFU アクティブラボ(株) 松山憲和 様 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 宮崎昭世 様 アドソル日進(株) 荒本道隆 様</p>	<p>ジャストシステム 東京支社 会 員: 44 社 76 名 非会員: 48 社 55 名 プレス: 7 社 9 名 合 計: 99 社 140 名</p>

	6) Web2.0 勉強会 第1回ミーティング	
--	-------------------------	--

(2)ユーザーシンポジウム

開催	場所・参加人数	
<p>ユーザーシンポジウム2004</p> <p>2004年 2月25日</p>	<p>1) 基調講演(1)「XMLが広げるビジネスシステム」 東京大学 総合研究機構 俯瞰工学部門 教授 松島 克守 様 (日本ビジネスモデル学会会長)</p> <p>2) 基調講演(2)「旅行業界におけるEDIの現状と標準化への取り組み」 株式会社ジェイティブー 取締役 CIO 佐藤 正史 様</p> <p>3) 「XMLユーザー企業事例紹介」 倉敷印刷(株)情報システム開発 和賀山 新太郎 様 東京ガス(株)情報通信部 主幹 木津 吉永 様 京セラ(株)電子部品統括営業部 情報システム部責任者 吉原 哲朗 様</p> <p>4) パネルディスカッション:「XMLは本当に役に立ったのか? 役立つのか?」 モデレーター: Web サービス委員会委員長,OASIS日本代表 岡部 恵造 様 パネラー: 東京大学 総合研究機構俯瞰工学部門教授 松島 克守 様 東京ガス(株)情報通信部 主幹 木津 吉永 様 京セラ(株)電子部品統括営業部 情報システム部責任者 吉原 哲朗 様 (株)ジャパンネット銀行 企画部 部長代理 北 周介 様</p> <p>5) 懇親会</p>	<p>飯田橋:東京コンファレンスセンター 会 員: 51社 72名 非会員: 16社 17名 プレス: 7社 7名 合 計: 74社 96名</p>
<p>第2回ユーザーシンポジウム 経営に活かすIT</p> <p>2004年 12月15日</p>	<p>1) 基調講演「経営に活かすIT」 株式会社芝パークホテル 取締役社長 石原 直様</p> <p>2) 特別講演「日本銀行におけるXBRLへの取り組み」 日本銀行 審査局 金融データ管理担当総括 和田 芳明様</p> <p>3) XML/Web サービスユーザー企業 事例(1) 「名刺・封筒におけるXML-EDIの現状と山櫻の取り組み」 株式会社山櫻 営業本部 e 調達ソリューショングループ グループ長 笠原 祥子様</p> <p>4) XML/Web サービスユーザー企業 事例(2) 「Web サービスを用いたグリッドポータル構築」 大日本印刷株式会社 技術開発センター 生産総合研究所 リーダー 伊豫田 一成様</p> <p>5) ユーザー企業 取り組みのご紹介 「ビジネスとITの懸け橋」 住友信託銀行株式会社 業務管理部 経営情報システム T 渡部 信之様</p> <p>6) パネルディスカッション「経営に活かすIT」 パネラー: 芝パークホテル 石原 直氏 他上記講演者 モデレーター:XML コンソーシアム 副会長 インフォテリア株式会社 代表取締役社長 平野 洋一郎様</p>	<p>品川:東京コンファレンスセンター 会 員: 40社 68名 非会員: 25社 38名 プレス: 3社 3名 合 計: 68社 109名</p>
<p>第3回ユーザーシンポジウム リアル Web サービス</p> <p>2005年 4月15日</p>	<p>1) 特別講演(1)「外食産業におけるシステムのオープン化への取り組みとWeb サービスへの期待」 (株)ニユートーキョー 財務部情報システム室 室長 湯澤一比古 様 OFSC(Open Foodservice System Consortium)事務局長 酒美保夫 様 (株)フォアサイト代表取締役社長)</p> <p>2) 特別講演(2)「SOA前夜の「動かないコンピュータ」」 (株)日経BP 日経コンピュータ 副編集長 中村建助 様</p> <p>3)XML/Web サービスユーザー企業 事例(1) 「タクシーサイトの Web サービス(GeOAP)採用の理由」 (株)タクシーサイト 開発企画部長 田口一博 様</p> <p>4)XML/Web サービスユーザー企業 事例(2) 「世界最大級の Web サービス提供者が語る～Web サービスは使える技術」 アマゾンジャパン(株) Amazon Web サービス テクニカルエバンジェリスト 吉松史彰 様</p> <p>5) XML/Web サービスユーザー企業 事例(3) 「Webサービスを活用したネット調達システム構築事例のご紹介」 (株)プレオマート プロキュアメントソリューション営業部 リーダー 松瀬義則 様</p> <p>6) パネルディスカッション:「リアルな Web サービスとは?」 コーディネーター:XML コンソーシアム 副会長 インフォテリア(株) 代表取締役社長 平野洋一郎 様 パネラー: 上記講演者</p>	<p>品川:東京コンファレンスセンター 会 員: 47社 79名 非会員: 41社 52名 プレス: 5社 5名 合 計: 93社 136名</p>

<p>第4回 ユーザーシ ンポジウム 「XMLの新しい 潮流とどう つきあうか？」 2005年 12月14日</p>	<p>1) 特別講演1 「建設業における経営とITおよびXMLへの期待」 大成建設(株) 本社社長室 理事 情報企画部長(CIO)木内里美様</p> <p>2) 特別講演2 「東証のXBRLに向けた取組みとXBRL最前線」 (株)東京証券取引所 上場部 上場管理担当課長 青克美様</p> <p>3) テーマ講演1 「Blog、SNSで加速する旅行サービス」 イー旅ネット・ドット・コム(株) 代表取締役社長 石井諭様</p> <p>4) テーマ講演2 「リッチインターネットアプリケーションにおけるXMLデータ活用事例」 RIA コンソーシアム 広報普及部長 三井英樹様</p> <p>5) テーマ講演3 「道路交通情報提供における新たな取組み」 (財)道路交通情報センター 業務部 次長 柳谷正則様</p>	<p>東京コンファレンスセンター 品川 会 員: 30社 49名 非会員: 23社 29名 プレス: 2社 2名 合 計: 55社 80名</p>
----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

(3)部会活動成果発表

開催	プログラム	場所・参加人数
<p>第1回 XMLコンソーシアム Day 2001年 11月22日</p>	<p>1) 「"組込み"XMLの可能性:なぜ必要なのか、何のために使うのか」 富士電機(株) 梅崎 一也 様</p> <p>2) 「ニュース用XMLの世界標準"NewsML":メディア業界におけるXMLの取組みと規格内容」 (株)朝日新聞社 竹原 大祐 様 日本アイ・ピー・エム(株) 藤原 隆弘 様</p> <p>3) 「XMLコンテンツ規格の動向:SGMLからXMLへ～ドキュメントからコンテンツへ～」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様</p> <p>4) 「SVG-DOMによる豊かなクライアントXML表現力: XHTML-SVG中心の複合文書の可能性」 (株)フジミック 大坂 哲司 様 法政大学エクステンション・カレッジ 野村 直之 様 (Justsystem, Technology Advisor)</p> <p>5) 「VoiceXML概説:VoiceXMLの基礎」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様</p> <p>6) 「VoiceXML最新事例:日本初!音声ポータルサービス Voizi(ボイジー)」 日本テレコム(株) 遠藤 聡子 様</p> <p>7) 「ビジネス報告書言語 XBRL概要:～財務情報サプライチェーンをめざすXBRLの紹介～」 日本ユニシス(株) 小林 茂 様 (株)日立製作所 湯浦克彦 様</p> <p>8) 「図解XML規格(セキュリティ編):～セキュリティ関連XML規格の最新動向～」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様</p> <p>9) 「パネル討論:Webサービスの光と陰」 パネラー: 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 松下 嘉哉 様 モデレータ: 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様</p>	<p>九段:日本教育会館 会 員: 71社 126名 非会員: 28社 29名 合 計: 99社 155名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアムD ay 2002年 2月6日</p>	<p>1) 「NewsMLでの外字表現を考える」 日本アイ・ピー・エム(株) 藤原 隆弘 様</p> <p>2) 「XMLニュース検索アプリケーション」 日本ユニシス(株) 小林 茂 様 読売新聞社 三宅 学 様</p> <p>3) 「RDBを用いたXML差分管理」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 様</p> <p>4) 「Webサービスによる簡易ナレッジマネジメントの実装例」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様</p> <p>5) 「VoiceXML部会活動紹介」 (株)日立製作所 禰寝 義人 様</p> <p>6) 「Webサービスの関連技術動向」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</p> <p>7) 「XMLスキーマの主な機能と用途」 情報技術開発 高橋 洋 様 ジャストシステム(株) 赤井 靖雄 様</p> <p>8) 「Webサービス推進委員会報告」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様</p> <p>9) 「Webサービスのビジネスモデルと、ワークフロー言語調査結果」 日本IBM(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 前田 隆之 様 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様</p> <p>10) 「ContactXML部会紹介」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様</p>	<p>品川:コクヨホール 会 員:103社 241名 非会員: 57社 64名 合 計:160社 305名</p>

<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第1日</p> <p>2002年 5月27日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「XMLコンソーシアム会長挨拶」 XMLコンソーシアム会長 鶴保 征城 様 (NTTソフトウェア(株) 代表取締役社長)</li> <li>2) 「XML Schemaの主な機能と動向」 情報技術開発(株) 高橋 洋 様 ジャストシステム(株) 赤井 靖雄 様</li> <li>3) 「RDBを用いたXML差分管理と部分木取得」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 様</li> <li>4) 「XMLデータベースの機能比較調査」 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様</li> <li>5) 「DBからXMLスキーマによって部分XMLを取得する」 エヌピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様</li> <li>6) 「組込みシステムとXML」 富士電機(株) 梅崎 一也 様</li> <li>7) 「組み込み分野におけるシステムモデルの一例」 ミノルタ(株) 白澤 俊哉 様</li> </ol>	<p>田町:日本電気 本社ビル 会 員:105社 155名 非会員: 64社 70名 合 計:169社 225名</p>
<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第2日</p> <p>2002年 5月30日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「VoiceXML部会活動の紹介」 日本アイ・ピー・エム(株) 村上 光 様</li> <li>2) 「VoiceXML和訳グループの活動」 ドコモ・システムズ(株) 大野 邦夫 様</li> <li>3) 「組込み系音声システムの現状および今後の展開について」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様</li> <li>4) 「VoiceXML部会アプリケーションWGよりの報告」 (株)富士通研究所 伊藤 映 様</li> <li>5) 「ContactXMLのコンセプトとContactXML次期バージョンのご紹介」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様</li> <li>6) 「筆まめのContactXML対応で何が変わるか？」 (株)クレオ 小笠原 徳夫 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様</li> <li>7) 「ContactXMLとNotes/Dominoによる多言語(日中英)コンタクト情報の連携」 (株)PFU 糸山 英二 様 (株)PFU 岩松 哲男 様</li> <li>8) 「コンタクト情報の「標準化」による顧客データベース運用の課題と可能性」 (株)エニイ 竹村 直浩 様 (株)エニイ 河又 芳雄 様</li> </ol>	<p>豊洲:NTT データ 豊洲センタービル 会 員: 60社 79名 非会員: 45社 49名 合 計:105社 128名</p>
<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第3日</p> <p>2002年 6月10日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「XSLの活用と技術内容の紹介」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 XMLコンソーシアム エバンジェリスト 小林 茂 様 (日本ユニシス(株))</li> <li>2) 「SVG、XHTML中心の複合文書で、異メディア間で文字列を使い回す」 (株)フジミック 大坂 哲司 様</li> <li>3) 「XMLを用いたマルチメディアコンテンツシステム」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様</li> <li>4) 「セキュリティ関連XML規格の紹介」 ミノルタ(株) 上田 隆司 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 沖電気工業(株) 池上 勝美 様</li> <li>5) 「XKMSシステムの開発」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 リコーシステム開発(株) 小堀 真義 様</li> </ol>	<p>大井町:インフォテリア 会 員: 68社 107名 非会員: 44社 51名 合 計:112社 158名</p>
<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第4日</p> <p>2002年 6月12日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)-1 「常識を備えた SemanticWebのエージェントに検索させてみる」 (株)ジェー・アイ・イー・シー 大泉 英之 様</li> <li>1)-2 「『若い奴は演歌は聴かない』って知ってる検索エンジンの試作イメージ」 ジャストシステム(株) 野村 直之 様</li> <li>2) 「付箋紙をXLinkで動かしてみる ～こんなビジュアル効果はどう？」 (株)フジミック 大坂 哲司 様</li> <li>3) 「Web サービス技術動向とシステム構築における考察」 (株)ジャステック 中村 知義 様 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</li> <li>4) 「事例から探る Web サービスのビジネスモデル」 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様</li> <li>5) 「レガシーAPをどのように Web サービス化するか」 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様 富士通(株) 前田 隆之 様</li> </ol>	<p>東品川:松下電器産業 会 員: 80社 132名 非会員: 55社 61名 合 計:135社 193名</p>

<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第5日</p> <p>2002年 6月13日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「NewsML-DB 連携アプリケーション例と NewsML をめぐる動向」 (株)読売新聞社 三宅 学 様</li> <li>2) 「NewsML 解説と NewsML-Toolkit 紹介」 日本電気(株) 新田 一樹 様</li> <li>3) 「NewsML を活用したニュース検索 Web サービスの構築」 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様</li> <li>4) 「Web サービスセキュリティの評価、実運用時の問題点」 日本電気(株) 杉山 高弘 様</li> <li>5) 「Web サービス適用事例募集！」 日本アイ・ピー・エム(株) 武用 佳哲 様</li> <li>6) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様</li> <li>7) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 富士通(株) 松下 嘉哉 様</li> <li>8) 「Web サービス開発ガイドのご紹介」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 高野 浩義 様 NTTソフトウェア(株) 立川 敬行 様</li> <li>9) 「Web サービスでの分類・識別コードの利用について」 (株)NTTデータ 遠城 秀和 様 富士通(株) 木庭袋 圭祐 様</li> <li>10) 「分散オブジェクト推進協議会(DOPG)による Web Services 相互運用検証報告」 分散オブジェクト推進協議会 システム インテグレーション分科会主査 原嶋 秀次 様(株)東芝 分散オブジェクト推進協議会 トランザクション/コンポーネント分科会主査 成田 雅彦 様(富士通(株)) 分散オブジェクト推進協議会 相互運用分科会主査 佐治 信之 様(日本電気(株)) 分散オブジェクト推進協議会 足立 勇 様((株)日立製作所) 分散オブジェクト推進協議会 村川 純 様(サンマイクロシステムズ(株)) 分散オブジェクト推進協議会 鈴木 潤一 様(日本オラクル(株))</li> </ol>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 70社 135名 非会員: 38社 43名 合 計:108社 178名</p>
<p>第1回 XMLコンソーシアム Week 第6日</p> <p>2002年 6月14日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「MDA - OMG の提唱するアーキテクチャ参照モデルにおける UML と XML」 OMG ジャパン 伊藤 友里恵 様</li> <li>2) 「電子コラボレーション新世紀 ~ ebXML で実現する電子コラボレーションビジネス ~」 電子商取引推進協議会 菅又 久直 様</li> <li>3) 「RosettaNet の現状と日本における展開と Vision」 ロゼッタネットジャパン 元運営委員長 大内 博志 様 (NTT コミュニケーションズ(株))</li> <li>4) 「XBRL による財務情報処理・開示の実現」 XBRLJapan リエゾン委員 木村 章展 様(中央青山監査法人) デモ協力 (株)日立製作所 (株)日立システムアンドサービス 富士通(株) (株)富士通ブライムソフトテクノロジー</li> <li>5) 「XML 技術者認定制度「XML マスター」の紹介と合格の為の傾向と対策」 XML技術者育成推進委員会 事務局長 吉政 忠志 様(インフォテリア(株))</li> <li>6) 「ご挨拶:XML コンソーシアム平成 14 年度活動計画」 XML コンソーシアム副会長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム(株))</li> </ol>	<p>丸の内:富士通 本社 会 員: 42社 54名 非会員: 40社 41名 合 計: 82社 95名</p>
<p>第3回 XMLコンソーシアム Day 第1日</p> <p>2002年 11月7日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「音声ポータル試用調査報告」 沖電気(株) 渡辺 聡 様</li> <li>2) 「なぜいまマルチモーダルか」 マイクロソフト(株) 金子 宏 様 「FOMAによるマルチモーダル・アプリケーションのデモ」 有限会社サイウイズ 杉江 健司 様</li> <li>3) 「VoiceXML の日本語に関する問題点」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様</li> <li>4) 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界(SMIL の概要)」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界(SMIL2.0 と XHTML+SMIL)」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様</li> <li>5) 「XQuery ってどんなもの？」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 氏 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様</li> <li>6) 「PDA WG 活動報告」 ミノルタ(株) 的場 和男 様</li> <li>7) 「部分 XML 抽出プロトタイピング」 (株)エヌビーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様</li> </ol>	<p>豊洲:日本ユニシス 会 員: 56社 97名 非会員: 22社 24名 合 計: 78社 121名</p>

<p>第3回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2002年 11月8日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 「ContactXML Version1.1 勧告解説」 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様</li> <li>2) 「ContactXML 対応ソリューション互換性について」 株式会社アイフォー 高崎 研 様 株式会社クレオ(部会サブリーダー) 小笠原 徳夫 様 富士ソフトABC株式会社 藤原 章裕 様</li> <li>3) 「日本初。Web サービス対応名刺作成サービスの構築にむけて」 ブレインセラーズ・ドットコム(株) 柳下 剛利 様</li> <li>4) 「W3C SOAP1.2 Update Review」 マイクロソフト(株) 増田 吉宏 様</li> <li>5) 「インターネット公開 Web サービスの配置・展開の考察」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</li> <li>6) 「SemanticWeb が実現する次世代インターネットの世界～知識管理とビジネス高度化のために SemanticWeb は「使える」か？」 (株)ジャストシステム 野村 直之 様</li> <li>7) 「応用部会/Web サービス WG 活動状況報告」 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様</li> </ol>	<p>渋谷:多摩大学ルネッサンスセンター 会 員: 67社 100名 非会員: 22社 25名 合 計: 89社 125名</p>
<p>第4回 XMLコンソーシアム Day 第1日</p> <p>2003年 3月4日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア株式会社 吉政 忠志 様 (ContactXML部会リーダー) 「ContactXML 部会 IPACT_WG 活動報告」 郵政事業庁 中川 真孝 様 (ContactXML部会 IPACT_WG リーダー) 「ContactXML 部会 ContactXML ユーザー会」 株式会社クレオ 小笠原 徳夫 様 (ContactXML部会 サブリーダー)</li> <li>2) 「ContactXML 次期バージョンに向けて」 インフォテリア株式会社 江島 健太郎 様 (ContactXML部会/XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</li> <li>3) 「海外のプロビジョニング企業の事例研究」 富士通株式会社 棚橋 一也 様 (XMLテクノロジー部会)</li> <li>4) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (前半)」 株式会社ジャストシステム 野村 直之 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (後半)」 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト)</li> <li>5) 「MVCフレームワークにおける XMLコンテンツハンドリング」 情報技術開発株式会社 高橋 洋 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</li> <li>6) 「SMILを用いたWebセミナーシステム」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</li> <li>7) 「マルチビュー・モニタリングシステム SKY MULTI EYEへのオープンソース・XMLデータベースの適用事例」 スカイ・シンク・システム株式会社 玉川 竜司 様</li> </ol>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 48社 59名 非会員: 23社 25名 合 計: 71社 84名</p>

<p>第4回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2003年 3月5日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「XML Signature、XML EncryptionとSAMLの実装」              応用技術部会 セキュリティWG              奴久妻 章 様 (株式会社ミノルタソフトウェア研究所)</li> <li>2) 「SAMLを用いたシングルサインオン システムの開発」              応用技術部会 セキュリティSWG              坂田 祐司 様 (株式会社 NTT データ)</li> <li>3) 「XML Signature、XML Encryption の実装」              応用技術部会 セキュリティSWG              池上 勝美 様 (沖電気工業株式会社)</li> <li>4) 「NewsML(ニューズエムエル)でTamino(タミーノ)とXML Spy(XMLスパイ)の接続を検証する」              応用技術部会 NewsML - WG              藤原 隆弘 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社)              田中 聡 様 (株式会社ビーコンIT)              データ提供 株式会社読売新聞社</li> <li>5) 「標準化推進委員会とTravelXML標準化部会のご紹介」              運営委員会 標準化推進委員会              遠城 秀和 様 (株司会社NTTデータ)</li> <li>6) 「ここまでのWeb サービス」              XMLコンソーシアム エバンジェリスト              丸山 宏 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社)</li> <li>7) 「デスクッションタイム」              司会 XMLコンソーシアム副会長 田原晴美 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社)              XMLコンソ - シアム エバンジェリスト              大野 邦夫 様 (ドコモ・システムズ株式会社)              菊田 昌弘 様 (株式会社シナジー・インキュベート)              小林 茂 様 (日本ユニシス株式会社)              野村 直之 様 (株式会社ジャストシステム/法政大学エクステンションカレッジ)              藤岡 慎弥 様 (沖電気工業株式会社)</li> </ol>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム              会 員: 38社 64名              非会員: 12社 12名              合 計: 50社 76名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第1日</p> <p>2003年 5月26日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Webサービスの使いかた-Webサービスによるアプリケーション連携の真相-」              日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様</li> <li>2) 「音声ビジネスの現状と今後」              日本アイ・ピー・エム株式会社 村上 光 様              有限会社しーこむ 吉田 創 様</li> <li>3) 「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML - の開発」              株式会社NTTデータ 遠城 秀和 様</li> <li>4) 「コンテンツ利用の商取引向けXML標準の開発」              株式会社NTTデータ 福永 博信 様</li> </ol>	<p>豊洲:日本ユニシス              会 員: 39社 76名              非会員: 26社 30名              プレス: 1社 1名              合 計: 66社 107名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第2日</p> <p>2003年 5月27日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「SemanticWebの概要と応用展望」              株式会社ジャストシステム&amp;法政大学野村 直之 様</li> <li>2) 「メタデータ利用の効果～メタデータ標準の活用事例～メタデータ自動抽出の要素技術はどこまでいけるか?」              株式会社ジャストシステム 川崎 洋治 様</li> <li>3) 「XHTML、SVGにRDFを埋め込んでWebサマリー生成コントロール(RSS)」              日本ユニシス株式会社 小林 茂 様</li> </ol>	<p>豊洲:NTTデータ              会 員: 39社 55名              非会員: 20社 25名              合 計: 59社 80名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第3日</p> <p>2003年 5月28日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「ContactXML部会、IPACT-WG、ContactXMLユーザー会活動報告」              インフォテリア株式会社 吉政 忠志 様              株式会社クレオ 小笠原 徳夫 様</li> <li>2) 「ContactXML Version1.1aの発表と次バージョンへの考察」              インフォテリア株式会社 江島 健太郎 様</li> <li>3) 「マルチメディアWebの現状と応用」              ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様              NTTソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様</li> <li>4) 「ネイティブXML-DBに格納したXML(SVGデータ)をXQueryで検索するツールのデモ」              NTTソフトウェア株式会社 山本 浩一 様              株式会社電通国際情報サービス 千葉 恭弘 様              日本IBMシステムズ・エンジニアリング株式会社 大庭 幹生 様</li> <li>5) 「マルチビュー・モニタリングシステム SKY MULTI EYEへのオープンソースXMLデータベースの適用事例」              スカイ・シンク・システム株式会社 玉川 竜司 様</li> <li>6) 「DBから部分XMLを抽出する」              株式会社エヌピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様</li> </ol>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム              会 員: 40社 62名              非会員: 14社 14名              合 計: 54社 76名</p>

<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第4日</p> <p>2003年 5月29日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「プロジェクト概要」</li> <li>2) 「システム概要とシステムモデル説明」</li> <li>3) 「EXCELによる季節情報登録 Web サービスの実装」 日本ユニシス株式会社</li> <li>4) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における集配信システムの開発」 日立ソフト株式会社 日本オラクル株式会社</li> <li>5) 「日本観光協会 Web サービス実証実験におけるスキーパータルサイトの開発」 株式会社日立製作所</li> <li>6) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における Java 対応携帯電話ポータルサイトの開発」 日本電気株式会社</li> <li>7) 「Web サービスのポータルサイト適用と PDA 応用 - 花見観光支援を題材に - 」 富士通株式会社 応用技術部会/PDA-WG</li> <li>8) 「日本観光協会 Web サービス実証実験におけるスキーパータルサイトの開発」 株式会社日立製作所</li> <li>9) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における Web サービス WG の取り組み」 応用技術部会 Web サービス WG</li> </ol>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 49社 112名 非会員: 37社 41名 合 計: 86社 153名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第5日</p> <p>2003年 5月30日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「WS-I の活動の紹介」 富士通株式会社 成田 雅彦 様 日本電気株式会社 藤田 悟 様 株式会社日立製作所 大場 みち子様 富士通株式会社 沼田 利典 様 株式会社ビーコンIT 岩本 幸男 様 株式会社野村総合研究所 戸田 隆一郎様 SAP ジャパン 余 常昭 様 日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏 様</li> <li>2) 「Web サービスにおける相互接続実証への取り組み」 株式会社日立製作所 松永 和男 様 サン・マイクロシステムズ株式会社 石原 直樹 様</li> <li>3) 「ebXML 相互接続テスト」 ECCOM(電子商取引推進協議会)ebXML 相互運用 SWG、株式会社 NTT データ 高梨 智介 様</li> <li>4) 「『XML マスター』の価値」 XML 技術者育成推進委員会副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様</li> </ol>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 34社 51名 非会員: 10社 10名 合 計: 44社 61名</p>
<p>第2回 XMLコンソーシアム Week 第6日</p> <p>2003年 6月2日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「NewsML を活用した記事検索 Web サービス Vol.2」 P.F.Uアクティブラボ株式会社 松山 憲和 様</li> <li>2) 「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」 ミノルタ株式会社 上田 隆司 様</li> <li>3) 「応用技術部会 セキュリティ WG 活動報告 XML Signature、XML Encryption の実装」 沖電気工業株式会社 池上 勝美 様 日本テレコム株式会社 山口 英子 様 リコーシステム開発株式会社 小堀 真義 様</li> <li>4) 「応用技術部会 セキュリティ WG 活動報告 - SAML の実装」 株式会社 NTT データ 坂田 祐司 様 株式会社日立製作所 坂田 匡通 様</li> <li>5) 「パネルディスカッション:私の考える日本再生とXML」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 株式会社ジャストシステム&amp;法政大学 野村 直之 様 沖電気工業株式会社 藤岡 慎弥 様 日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏 様(モデレータ)</li> </ol>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 30社 46名 非会員: 13社 13名 合 計: 43社 59名</p>
<p>第5回 XMLコンソーシアム Day 第1日</p> <p>2004年 1月22日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「企業戦略のイネーブラーとしての Web サービス」 日本 IBM 株式会社 丸山 宏 様 (XML コンソーシアム エバンジェリスト)</li> <li>2) 「Service Oriented Architecture 概説」 部会リーダー 牧野 友紀 様 (日本ユニシス株式会社) 日本 IBM 株式会社 天野 富夫 様 (Web サービス WG リーダー)</li> <li>3) 「XML2003 カンファレンス &amp; 展示会 参加報告 - XML ソリューションと Web サービスの最新動向」 XML コンソーシアム エバンジェリス 岡部 恵造 様 (大塚商会 OASIS 日本代表)</li> <li>4) 「旅行業界の商取引向けXML標準「TravelXML 1.1」の開発状況」 株式会社 NTT データ 遠城 秀和 様 (TravelXML 部会リーダー)</li> <li>5) 「TravelXMLを利用したWebサービス実証実験について」 株式会社日立製作所 大場 みち子 様 (部会サブリーダー)</li> <li>6) 「音声ポータル実証実験の中間報告」 沖電気工業株式会社 渡辺 聡 様 (アプリケーション検討WGリーダー) 「VoiceXML における日本語利用ガイドライン」 株式会社日立製作所 鯨井 俊宏 様 (部会リーダー)</li> </ol>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 59社 89名 非会員: 25社 28名 合 計: 84社 117名</p>



<p>第5回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2004年 1月23日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「用語集オントロジーの試み」 株式会社リコー 野村 直之 様(セマンティックWebWG リーダー) 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 (部会サブリーダー)</li> <li>2) 「XMLテクノロジー通信と技術マップ」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様 (部会リーダー) NTTソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様 (部会リーダー)</li> <li>3) 「NewsML1.2とProgramGuideML」 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 (NewsML-WG リーダー)</li> <li>4) 「NewsML 地域コード変遷管理」 株式会社富士通研究所 小田切 淳一 様 (DB-WG) Sky 株式会社玉川 竜司 様 (DB-WG)</li> <li>5) 「マルチメディアとメタデータ」 NTTソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様 (部会リーダー) 「スタイル言語とその活用方法 ~XBRLをPDFにしてみよう~」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様( 複合コンテンツWG サブリーダー)</li> <li>6) 「応用技術部会 セキュリティWGの取り組み」 日本テレコム株式会社 山口 英子 様 (セキュリティWG リーダー)</li> </ol>	<p>豊洲:NTT データ 豊洲センタービル 会 員: 46社 65名 非会員: 15社 18名 プレス: 1社 1名 合 計: 62社 84名</p>
<p>第3回 XMLコンソーシアム Week 第1日</p> <p>2004年 5月17日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「オープニング」 XML コンソーシアム会長 鶴保 征城 様</li> <li>2) 特別講演「SOA が加速する e-コラボレーション」 XML コンソーシアム理事 (株)NTT データ技術開発本部副本部長 山本 修一郎 様</li> <li>3) 特別講演「SOA はなぜ必要か、なにが変わるか」 XML コンソーシアム エバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様</li> <li>4) 「SOA と Web サービスへのユーザ対応の一考察」 テクノロジー部会 Web サービス WG 倉沢 良明 様(キヤノン) 芦田 尚人 様(ブレインワークス)</li> <li>5) 「SOA 実現化の考察」 テクノロジー部会 Web サービス WG 牧野 友紀 様(日本ユニシス)</li> <li>6) 「SOA とワークフロー」 テクノロジー部会 Web サービス WG 天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム)</li> <li>7) 「BPML4WS を適用したプロジェクト事例紹介」 テクノロジー部会 Web サービス WG 坂下 秀彦 様(JIEC)</li> <li>8) BOF「SOA ってどうなの?」~ SOA の未来~ パネラー:インフォテリア 江島 健太郎 様 XML テクノロジー部会 Web サービス WG 倉沢 良明 様(キヤノン) 坂下 秀彦 様(JIEC) 天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム) 牧野 友紀 様(日本ユニシス) モデレータ:XML テクノロジー部会 Web サービス WG 芦田 尚人(ブレインワークス)</li> </ol>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 46社 91名 非会員: 20社 25名 プレス: 1社 2名 合 計: 67社 118名</p>
<p>第3回 XMLコンソーシアム Week 第2日</p> <p>2004年 5月18日</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「Grid/WS-RF とビジネスプロセスの統合」 稚内北星学園大学学長 丸山 不二夫 様</li> <li>2) 「WS-I Basic Profile 解説」 WS-I JSIG メンバー 藤田 悟 様(NEC) 沼田 利典 様(富士通)</li> <li>3) 「WS-I Testing Tools 解説」 WS-I JSIG メンバー 戸田 隆一郎 様(野村総研) 岩本 幸男 様(ビーコンIT)</li> </ol>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 33社 47名 非会員: 8社 8名 合 計: 41社 55名</p>

<p>第3回 XMLコンソーシアム Week第3日</p> <p>2004年 5月19日</p>	<p>1) 「メタデータ、SemanticWebのアプリ動向」(セマンティックWeb その1) XMLテクノロジー部会 セマンティックWeb WG 野村 直之 様(リコー)</p> <p>2) 「用語集オントロジからメタデータ活用へ」(セマンティックWeb その2) XMLテクノロジー部会 セマンティックWeb WG 小林 茂 様(日本ユニシス) 野村直之 様(リコー)</p> <p>3) 「XBRL2.0技術内容の解説」 XMLテクノロジー部会 複合コンテンツWG 加藤 上直 様</p> <p>4) 「テクノロジーMAP」 XMLテクノロジー部会 芦田 尚人 様(プレインワークス) 斉藤 幸則 様(富士電機情報サービス) 山本 浩一 様(NTTソフトウェア) 坂下 秀彦 様(JIEC) 岡村 和英 様(ネット・タイム) 加藤 上直 様 牧野 友紀 様(日本ユニシス) 天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム)</p>	<p>田町:日本電気 本社ビル 会 員: 29社 43名 非会員: 13社 15名 プレス: 1社 1名 合 計: 43社 59名</p>
<p>第3回 XMLコンソーシアム Week第4日</p> <p>2004年 5月20日</p>	<p>1) 「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.1.1 - の開発状況」 TravelXML標準化部会リーダー 遠城秀和 様(NTTデータ)</p> <p>2) 「TravelXMLを利用したWebサービス実証実験」 応用技術部会 WebサービスWGリーダー 松山 憲和 様(PFUアクティブラボ)並びに関係者 実証実験参加企業 アドソル日進、インフォテリア、東京エレクトロン、東芝ソリューション、日本アイ・ピー・エム、 日本アイオナテクノロジー、日本オラクル、日本電気、日本ユニシス、日本ユニシス・ソフトウェア、 ネット・タイム、PFUアクティブラボ、日立システムアンドサービス、日立製作所、プレインワークス</p>	<p>飯田橋:大塚商会 本社 会 員:30社 62名 非会員: 5社 8名 合 計:35社 70名</p>
<p>第3回 XMLコンソーシアム Week第5日</p> <p>2004年 5月24日</p>	<p>1) 「VoiceXML最新動向紹介」 VoiceXML部会 技術検討WG 鯨井俊宏 様(日立)</p> <p>2) 「音声ポータル実証実験の最終報告」 VoiceXML部会 アプリ検討WG 渡辺 聡 様(沖電気)</p> <p>3) 「VoiceXMLをベースとした頑強な音声対話管理アーキテクチャ」 VoiceXML部会マルチモーダルWG 大淵 康成 様(日立製作所)</p> <p>4) 「XML関連セキュリティ規格の解説」と「SAML、XML Signature、XML Encryption の実装事例」 応用技術部会セキュリティWG(50音順) 池上勝美様(沖電気工業) 上田隆司様(コニカミノルタビジネステクノロジーズ) 岡村和英様(ネット・タイム) 河村博文様(ロココ) 坂田匡通様(日立製作所) 道村唯夫様(富士ゼロックス) 山口英子様(日本テレコム)</p> <p>5) 「PDAへのP2Pプロトコル実装 - JXTAについて - 」 応用技術部会 PDAWGリーダー 的場和男様(コニカミノルタビジネステクノロジーズ)</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 23社 40名 非会員: 11社 18名 合 計: 34社 58名</p>
<p>第6回 XMLコンソーシアム Day 1日目</p> <p>2005年 1月13日</p>	<p>1) 「ビジネスイノベーション研究部会とSOA部会活動のご紹介」 株式会社プレインワークス 芦田 尚人様</p> <p>2) 「SOAのパターンとベストプラクティス」 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫様</p> <p>3) 「販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告」 キヤノン株式会社 倉沢 良明様</p> <p>4) 「サプライチェーンの付加価値向上のためのSOAベースモデリング」 ウルシステムズ株式会社 林 浩一様</p> <p>5) 「ビジネスプロセスのモデル記述」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀様</p> <p>6) 「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.2.1 - の開発状況」 株式会社NTTデータ 遠城 秀和様</p> <p>7) 「セキュリティ部会の取り組み - セキュリティ関連XML規格の解説」 株式会社ネット・タイム 岡村 和英様</p>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジ アリング 会 員: 43社 75名 非会員: 17社 19名 プレス: 2社 2名 合 計: 62社 96名</p>

<p>第6回 XML コンソーシアム Day 2 日目  2005年 1月14日</p>	<p>1) 「愛知万博における道路交通情報を利用した複合 Web サービス実証実験」 東京エレクトロン株式会社 松永 豊様 2) 「愛知万博 Web サービス実証実験 RSS 連携サブシステムについて」 株式会社リコー 野村 直之様 日本ユニシス・ソリューション株式会社 小林 茂様 株式会社フジミック 大坂 哲司様 Sky 株式会社 玉川 竜司様 3) 「SNS、Blog etc.上の virtual メタデータ活用部会の活動報告」 沖電気工業株式会社 上田 俊夫様 日本ビューレット・パッカー株式会社 市川 恵貴様 4) 「XML DB 活用の最近の動向」 日本オラクル株式会社 金井 盛隆様 5) 「ユビキタス・組み込み系部会の活動」 株式会社ジャストシステム 大野 邦夫様 6) 「ユビキタス時代の個人情報活用」 日本電気株式会社 林 雄代様 7) 「ユビキタス時代の社会インフラとしての LBS」 株式会社 KDDI 研究所 高木 悟様</p>	<p>東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 40 社 68 名 非会 員: 18 社 20 名 合 計: 58 社 88 名</p>
<p>第4回 XML コンソーシアム Week 第1日 「セキュリティ、ユビキタス Day」  2005年 6月7日</p>	<p>1) 「オープニング」 XML コンソーシアム副会長 平野 洋一郎 (インフォテリア株式会社) 2) 「セキュリティ関連 XML 標準技術の紹介」 岡村 和英(株式会社ネット・タイム) 3) 「Web Services Security の概要と今後の状況」 西村 利浩(富士通株式会社) 4) 「Web Services Security 製品対応状況について」 山田 正隆(東芝ソリューション株式会社) 高橋 公一(日本電気株式会社) 松永 豊(東京エレクトロン株式会社) 長岡 圭一(東京エレクトロン株式会社) 5) 「インターネットを変える認証技術 SAML 2.0」 松永 豊(東京エレクトロン株式会社) 6) 「今後の活動予定について ~ 部会開催のご案内」 7) 「なぜ、今、Ubiquitous か - ユビキタス組込系部会の活動と今後の取り組み」 大野 邦夫(株式会社ジャストシステム) 8) 「ユビキタス社会の実現に向けた RFID の応用」 岡 正俊(トッパンフォームズ株式会社) 9) 「ユビキタス空間構築における課題、及び標準規格への提案」 田中 宏一(株式会社内田洋行) 10) 「ヒトナビによる情報共有化の提案」 大森 俊太郎(日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社) 11) 「ネットワーク情報へのオントロジ適用の検討」 新 麗(株式会社インターネットイニシアティブ) 12) 「スタートレックから想像するユビキタスネットワーク社会の未来予想図」 大場 みち子(株式会社日立製作所)</p>	<p>日立ソフトウェアエンジニアリング 本社事務所 会 員: 35 社 59 名 非会 員: 8 社 8 名 合 計: 43 社 67 名</p>
<p>第4回 XML コンソーシアム Week 第2日 「SOA、ビジネス・イノベーション Day」  2005年 6月8日</p>	<p>1) 「関西活動準備 Project 活動概要」 芦田 尚人(株式会社ブレインワークス) 2) 「身近な活用事例」 太田 一郎(日本アイ・ピー・エム株式会社) 3) 「Web サービス実装を試す」 幸田 健(コベルコシステム株式会社) 4) 「関西部会活動計画」 芦田 尚人(株式会社ブレインワークス) 5) 「SOA 部会活動計画」 天野 富夫(日本アイ・ピー・エム株式会社) 6) 「SOA 技術解説」 芦田 尚人(株式会社ブレインワークス) 7) 「SOA のパターン -ESB を中心に-」 天野 富夫(日本アイ・ピー・エム株式会社) 8) 「ビジネスプロセス記述からサービス設計へ ~ BI 研究部会活動とモデリング検証タスクのご紹介」 牧野 友紀(日本ユニシス株式会社) 坂下 秀彦(株式会社 JIEC)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員: 30 社 39 名 非会 員: 8 社 8 名 合 計: 38 社 47 名</p>

<p>第4回 XML コンソー シアム Week 第3日 「メタデータ活 用、標準化 Day」  2005年 6月9日</p>	<p>1) 「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.3 - の開発状況」 遠城 秀和(株式会社NTTデータ) 2) 「ソーシャルネットワークとブログで変わる世界」 下川 和男(イースト株式会社) 3) 「社長ブログ奮闘記」 平野 洋一郎(インフォテリア株式会社) 4) 「メタデータ活用部会の初年度をふりかえって ~今後の展望へ」 野村 直之(株式会社リコー) 小林 茂(日本ユニシス) 5) 「愛・地球博見て歩き報告(その1)」 澤崎 章二(株式会社ジャストシステム) 6) 「愛・地球博見て歩き報告(その2)」 野村 直之(株式会社リコー) 玉川 竜司(株式会社スカイ)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員: 25社 34名 非会員: 9社 9名 合 計: 34社 43名</p>
<p>第4回 XML コンソー シアム Week 第4日 「道路交通情 報Webサービ ス実証実験 Day」  2005年 6月10日</p>	<p>1) 「道路交通情報Webサービスを使った複合Webサービス実証実験の全体概要ご紹介」 松山 憲和 (PFUアクティブラボ株式会社) 2) 「デモンストレーション」 笹本 弘治 (株式会社エルザ) 3) 「リッチクライアント」 森 善隆 (株式会社ノムラシステムコーポレーション) 4) 「Webクライアント」 敬田 公子 (PFUアクティブラボ株式会社) 5) 「衛星画像Webサービス」 上田 浩史 (日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社) 6) 「宿泊施設情報Webサービス」「メール通知Webサービス」 長谷川 順一 (株式会社ブレインワークス) 7) 「Blog情報集約Webサービス」 玉川 竜司 (Sky株式会社) 伊戸川 暁 (株式会社リコー) 8) 「SKY ACTIVE FIELD」 玉川 竜司 (Sky株式会社) 9) 「Blog」 小林 茂 (日本ユニシス株式会社) 玉川 竜司 (Sky株式会社) 10) 「RSS視聴」 赤井 靖雄 (株式会社ジャストシステム) 11) 「マッピングWebサービス」「座標変換Webサービス」 重久 修平 (株式会社内田洋行) 12) 「多国語翻訳Webサービス」 高橋 公一 (日本電気株式会社) 13) 「知識検索Webサービス」 村垣 委久夫 (株式会社日立システムアンドサービス) 14) 「道路交通情報Webサービス」 荒本 道隆 (アドソル日進株式会社) 15) 「気象情報Webサービス」 江川 潔 (日本アイオナテクノロジー株式会社) 鮫島 荘介 (日本ユニシス株式会社) 16) 「旅行先情報提供Webサービス:WS - BPEL」 直井 正敏 (NECソフト株式会社) 佐藤 直生 (日本オラル株式会社) 17) 「iPlat プロジェクトを通して実証されたメタデータ駆動ソリューション・アーキテクチャ」 野村 直之 (株式会社リコー) 18) 「実証実験:まとめ」 野村 直之 (株式会社リコー) 松山 憲和 (PFUアクティブラボ株式会社)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員: 33社 53名 非会員: 10社 11名 合 計: 43社 64名</p>
<p>第7回 XML コンソー シアム Day 1日目 「XMLの新しい 潮流とどう つきあうか?」 2005年 12月15日</p>	<p>1) オープニング XML コンソーシアム副会長 平野 洋一郎 (インフォテリア) 2) 「旅行業界の商取引向けXML標準 - TravelXML 1.4 - の開発状況」 遠城 秀和 (NTTデータ) 3) 「人材データを扱うHR-XMLの特徴から実証実験のアイデアを検討する」 藤原 隆弘 (イースト) 長谷川 守邦 (日立システムアンドサービス) 野村 直之 (リコー) 4) 「リッチクライアント、XMLクライアントの最近の動向」 宮崎 昭世 (日立ソフトウェアエンジニアリング) 荒本 道隆 (アドソル日進) 赤井 靖雄 (ジャストシステム) 澤崎 章二 (ジャストシステム) 5) 「Webサービス実証部会活動報告」 松山 憲和 (PFUアクティブラボ)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員: 32社 52名 非会員: 17社 19名 合 計: 49社 71名</p>

	<p>6) 「セキュリティ部会活動中間報告」 岡村 和英 (ネット・タイム)</p> <p>7) 「最新XMLセキュリティ技術概要」 横溝 良和 (キヤノン) 山根 利夫 (日立製作所) 中山 弘二郎 (日立製作所) 西村 利浩 (富士通)</p> <p>8) 「Webサービスのベストプラクティス」 松永 豊 (東京エレクトロン)</p>	
<p>第7回 XML コンソーシアム Day 2 日目 「XML の新しい潮流とどうつきあうか？」 2005年 12月16日</p>	<p>1) 「ユビキタスネットワーク社会に向けた情報構造モデルからコア技術、そしてライフスタイルシナリオまで」 大野 邦夫 (ジャストシステム)</p> <p>2) 「ユビキタスネットワーク社会の情報構造モデルの検討」パネル モデレータ 中村 雄一 (日立システムアンドサービス) 大野 邦夫 (ジャストシステム) 新 麗 (インターネットイニシアティブ) 藤岡 慎弥 (デジタルコミュニケーションズ) 中村 博子 (トッパンフォームズ) 高木 悟 (YRP ユビキタス研究所)</p> <p>3) 「ユビキタネットワーク時代のライフスタイルシナリオの検討」パネル モデレータ 林 雄代 (日本電気) 新 麗 (インターネットイニシアティブ) 大場 みち子 (日立製作所) 田中 宏一 (内田洋行) 中村 雄一 (日立システムアンドサービス)</p> <p>4) 「企業財務会計が変わる、XBRL の概要と最新動向」 XBRL Japan ISC 日本代表 三分一 信之 (日立システムアンドサービス)</p> <p>5) 「更に作ってみよう。(関西部会活動報告)」 芦田 尚人 (ブレインワークス)</p> <p>6) 「サービス指向におけるモデリング・アプローチ」 横田 治樹 (NEC ソフト) 阿部 和子 (東芝ソリューション) 牧野 友紀 (日本ユニシス)</p> <p>7) 「UMTP BPMN 研究会の紹介 ~モデリングパターン化への取り組み~」 UMTP BPMN 研究会 明庭 聡 (日揮情報ソフトウェア)</p> <p>8) 「SOA 実装の記述方式 - グレゴールグラムを用いて -」 天野 富夫 (日本 IBM)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員： 33 社 60 名 非会員： 22 社 22 名 合 計： 55 社 82 名</p>
<p>第5回 XML コンソーシアム Week 全体テーマ：「Web2.0時代のエンタープライズシステム」～SOA, Web サービスとの有機的な組合せを目指して～ 第1日 「XML Day」 XML がもたらした「つくる」から「つなぐ」への進化  2006年 5月22日</p>	<p>1) 「オープニング」 XML コンソーシアム副会長 田原春美 (日本アイ・ピー・エム)</p> <p>2) 「Web2.0と新しいネットワーク・メディア」 稚内北星学園大学学長 丸山不二夫氏</p> <p>3) 「旅行業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.4 - の改定状況」 遠城 秀和 (NTT データ)</p> <p>4) 「関西部会活動報告：「こんな風に活動してますねん。」」 芦田 尚人 (ブレインワークス)</p> <p>5) 「XML を応用したシステム構築事例の収集と分析：「どこで使ってますねん」」 太田 一郎 (日本アイ・ピー・エム)</p> <p>6) 「Web2.0 的地図/スケジュール共有サービスの実装：「どこで何してますのん？」」 幸田健 (コベルコシステム) 玉川竜司 (Sky)</p> <p>7) 「丸山和秀 (ブレインワークス)</p> <p>8) 「Web サービスを支えるセキュリティ技術」 岡村和英 (ネット・タイム) 西村利浩 (富士通)</p>	<p>日本 IBM 箱崎事業所 会 員： 41 社 71 名 非会員： 14 社 17 名 プレス： 1 社 1 名 合 計： 56 社 89 名</p>
<p>第5回 XML コンソーシアム Week 第2日 「Web2.0 Day(1)」 エンタープライズシステム革新の入口は SOA2.0 か KM2.0 か?</p>	<p>1) 「メタデータ活用から "Web2.0 for Enterprise" へ」 ～ドキュメント・メタデータ活用部会の2年間を振り返って 野村直之 (メタデータ) 小林茂 (日本ユニシス)</p> <p>2) 「"Web2.0 for Enterprise" について」 野村直之 (メタデータ)</p> <p>3) 「魅力的な Web2.0 的アプリケーションをどうやって考えるか」 玉川竜司 (Sky)</p> <p>4) 「企業でのポータルと、リッチ・クライアント、マッシュアップの活用」 宮崎 昭世 (日立ソフトウェアエンジニアリング)</p> <p>5) 「REST API + XSLT: エンタープライズ・マッシュアップの実例 ～ Amazon, hon.jp 等 公開されている API の活用事例を中心に」</p>	<p>日立製作所 大森 会 員： 44 社 78 名 非会員： 24 社 29 名 プレス： 2 社 2 名 合 計： 70 社 109 名</p>

2006年 5月23日	小林茂(日本ユニシス)	
第5回 XML コンソー シアム Week 第3日 「Web2.0 Day(2)」 Web2.0 的アプ リケーションの 創造に向けて  2006年 5月24日	1) 「MAPpedia の開発状況」 松山 憲和 (PFUアクティブラボ) 2) 「暗号化 XML データ利用技術についての課題と対策」 松永 豊(東京エレクトロン) 横溝 良和(キヤノン) 岡村 和英(ネット・タイム) 松山 憲和 (PFUアクティブラボ) 中山 弘二郎(日立製作所) 荒本 道隆(アドソル日進) 工藤 奈緒美(JIEC)	日立製作所 大森 会 員： 23社 35名 非会員： 3社 4名 プレス： 1社 1名 合 計： 27社 40名
第5回 XML コンソー シアム Week 第4日 「ユビキタス Day」 ユビキタス The Next Generation ～人に優しい 社会を目指し て～  2006年 5月25日	1) 「ユビキタス・組み込み系部会活動紹介」 大野邦夫(ジャストシステム) 2) 「スローなユビキタスライフ」 関根千佳氏(ユーディット) 3) パネルディスカッション「Web2.0時代のユビキタス」 モデレーター： 林雄代(日本電気) パネリスト： 関根千佳(ユーディット) 根岸寛明(富士通) 中村雄一(日立システムアンドサービス) 新麗(IIJ) 田中宏一(内田洋行) 高木悟(YRP ユビキタス・ネットワークング研究所) 大森俊太郎(ナレッジサブネット塾)	日立システムアンドサ ービス 本社 会 員： 19社 29名 非会員： 9社 12名 プレス： 1社 1名 合 計： 29社 42名
第5回 XML コンソー シアム Week 第5日 「SOA Day」 ビジネスプロ セス・モデル から SOA サー ビス・モデル へ  2006年 5月26日	1) 「絵で書く SOA」 萩原康至(JIEC) 中村知義(ジャステック) 天野富夫(アイ・ピー・エム ビジネスコンサルティング サービス) 2) 「サービス指向ソフトウェアとプラットフォーム - 動向と展望 -」 浦本直彦氏(日本アイ・ピー・エム) 3) 「SOA に繋ぐビジネスプロセスのモデリング」 牧野友紀(日本ユニシス) 芦田尚人(プレイニークス) 倉沢良明(キヤノン) 4) 「ビジネスプロセスを基点にしたサービス導出の試み」 坂下秀彦(JIEC) 横田治樹(NEC ソフト) 牧野友紀(日本ユニシス)	日立ソフトウェアエン 지니어リング 本社 会 員： 35社 70名 非会員： 16社 19名 プレス： 1社 1名 合 計： 52社 90名

## 2. 部会活動成果

### (1) SOA 部会

#### 部会ミーティング

BI 研究部会と共催で 2005 年 6 月 - 2006 年 4 月まで毎月 1 回、計 11 回開催

#### 主な議論のテーマ

SOA に関わるデザインパターン/アーキテクチャパターンの調査・研究

グレゴールグラムなど SOA モデリングで用いるダイアグラムの調査

#### 成果発表(BI 研究部会と共同)

第 4 回 XML コンソーシアム Week(2005 年 6 月 8 日)でのプレゼンテーション

SOA 技術解説

SOA のパターン -ESB を中心に-

XML コンソーシアム入門講座(2005 年 10 月 18-19 日)でのプレゼンテーション

Web サービスの現在(いま)

Web サービスのビジネスモデル

Web サービス・ユーザー事例研究

第 7 回 XML コンソーシアム Day(2005 年 12 月 16 日)でのプレゼンテーション

SOA 実装の記述方式 -グレゴールグラムを用いて-

#### 成果物

コンソーシアム Day やセミナーでのプレゼン発表資料(Web で公開)

SOA 技術解説

SOA のパターン -ESB を中心に-

Web サービスの現在(いま)

Web サービスのビジネスモデル

Web サービス・ユーザー事例研究

SOA 実装の記述方式 -グレゴールグラムを用いて-

### (2) セキュリティ部会

#### 目的

XML セキュリティ技術のビジネスシステムへの適用に向けて、規格の調査・翻訳・解説を行ない、また、アプリケーションモデルの検討・試作を通じてシステム構築における様々な問題点の解決方法や具体的な実装ノウハウを蓄積すると共に、それらの成果物を公開することによりセキュリティ技術の普及を促進させるべく活動を行なう。

#### 活動内容

##### 標準規格文書の翻訳、公開

- OASIS Web Services Security 1.0: SOAP Message Security 1.0 (WS-Security 2004) Errata 1.0

- OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profiles 1.0

- OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profiles 1.0 Errata 1.0

- OASIS Web Services Security 1.0: X.509 Token Profiles 1.0

- OASIS Web Services Security 1.0: SAML Token Profiles 1.0

##### 標準規格及び関連技術の調査と解説資料作成

- WSS 1.0 概要

- XACML 2.0 の概要

- Web サービスのベストプラクティス

- Web サービスポリシーの動向と仕様解説

- WS-Trust 概要

- OASIS WS-Security 標準について

- セキュリティ関連 XML 標準技術規格マップの更新

##### XML コンソーシアムセミナーの立案

- 2005.09.13

オープンな Web アプリケーション環境のためのセキュリティ最新動向 - 認証技術編

外部セミナーでの講演

- 2005.06.07  
製造業 XML フォーラム 2005  
「"暗号化対策" その手法と効果について」
- 2005.11.10  
JavaOne Tokyo 2005  
「Webサービスのベストプラクティス」  
sPlat (Web サービス実証部会との合同による有志プロジェクト)の開始  
Web サービスにおける暗号化 XML データの取り扱いに伴う問題点とその対策についての検討。  
妥当性検証とデータバインディングを対象。

活動期間

2005年7月～

成果物

- 日本語翻訳
  - 2006.05.31  
OASIS Web Services Security 1.0: SOAP Message Security 1.0 ([WS-Security 2004](#)) Errata 1.0  
OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profiles 1.0  
OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profiles 1.0 Errata 1.0  
OASIS Web Services Security 1.0: X.509 Token Profiles 1.0  
OASIS Web Services Security 1.0: SAML Token
- コンソーシアム主催セミナーでの発表
  - 2005.09.13  
XML コンソーシアムセミナー  
オープンな Web アプリケーション環境のためのセキュリティ最新動向 - 認証技術編  
「Web アプリケーション環境のための認証技術: イントロダクション」
  - 2005.12.15  
第7回 XML コンソーシアム Day  
「セキュリティ部会活動中間報告」  
「最新XMLセキュリティ技術概要」  
「Webサービスのベストプラクティス」
  - 2006.05.22、24(予定)  
第5回 XML コンソーシアム Week  
「Web サービスを支えるセキュリティ技術」  
「暗号化 XML データ利用技術についての課題と対策」(sPlat)

### (3) Web サービス実証部会

活動目的

WebサービスおよびXMLを実システムに適用するにあたり、実ビジネスを想定したプロトタイプシステムの開発を通して、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見、公開し、XML/Webサービス利用技術の向上および普及に努める。

活動内容

- プロトタイピング
  - 実用システムのプロトタイプ開発
  - XML応用規格を利用したプロトタイプシステム開発
- XML/Webサービス関連プロダクトの評価
- XML/Webサービス応用技術の普及・推進
  - 定例セミナー・総会等での発表
  - 学会、雑誌等での発表
  - Webページによる情報の発信
  - 製品紹介セミナーの開催

活動期間

2005年6月 ～ 2006年5月

成果物



#### 実証実験関係

- メタデータ活用部会と共同で、iPlat プロジェクト『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験』を実施。7月～9月の期間、XML コンソーシアム会員向けに実証実験システムを公開。  
参加企業：29社、参加メンバー：54名、利用製品数：18製品、17個のシステムが連携した大規模システム。

#### イベント関係

- 2005年 7月：『愛・地球博』会場で開催された ITS EXPO2005(主催:ITS JAPAN)で実証実験システムを展示。アンケート結果を見ると、一般利用者からの評価も高く、面白いサービスとの声も聞かれた。

#### セミナー発表関係

- 2005年 6月：第四回 XML コンソーシアム Week(道路交通情報 Web サービス実証実験 Day)にて実証実験の全ての成果を詳細にご紹介。
- 2005年 7月：情報処理学会 デジタル・ドキュメント研究会で実証実験システムをご紹介。
- 2005年12月：第七回 XMLコンソーシアム Day
- 2006年 2月：Developer Summit 2006 でセミナーを開催  
『史上最多！？道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービスシステム』
- 2006年 3月：第四回 XML コンソーシアム Week(道路交通情報 Web サービス実証実験 Day)にて実証実験の全ての成果を詳細にご紹介。
- 2006年 3月：Web2.0勉強会 第一回ミーティング  
『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービスシステム』を Web2.0の視点から紹介

#### 報道発表

- 2006年 5月：プレスリリース  
Web サービスと連携する複合 Web サービスの実証実験に成功  
～ 「愛・地球博」期間中、実証実験システムをインターネット上で運用 ～

#### 学会、雑誌等での発表

- 2006年 3月：データベース白書 特集3『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービスシステム』
- 2006年 4月：日経 SYSTEM 5月号『Web2.0の波、開発現場へ』で『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービスシステム』を Web2.0の視点から紹介

### (4) ドキュメント・メタデータ活用部会

#### 扱ったテーマ：

愛知万博プロジェクト・サブシステムの設計、コンテンツ作成・評価を含む開発の後半・仕上げ、展示  
～ Blog連携、動画RSS視聴、SAF携帯画像リアルタイム投稿&活用  
iPlatのWeb2.0としての再評価、PAGE2006プレイベント等での対外アピール  
表計算オントロジー ～ microformatsの先駆けとして表計算の項目(メタデータ)間の関係定義が有用なオントロジーに他ならないことを示した。学会発表他も実施。  
XBRLの実用化、技術動向をフォロー ～ 規格や処理系の調査、12th XBRL Int'l Conf. でのxify応用等  
HR-XML の調査、実証評価実験アイデア出し  
PSLXはじめ、その他の業界言語、メタデータ規格の紹介、調査  
Web2.0の技術要素 ～ RESTからRemixingまで  
Web2.0のマーケティング ～ ロングテールの意味他  
Web2.0 for Enterpriseについて  
Web2.0時代のSOA2.0 ～ REST準拠のサービスとSOAP/WSDLの使い分け、併用の予備検討  
Web2.0の顔 ～ Ajaxを初めとするリッチクライアントの調査(開発環境含む)、試作。  
エンタープライズ・マッシュアップの発案、検討、試作準備 ～ Web2.0のデータ中心主義、再利用・リアルタイム情報共有、超高速プロトタイピング等の特徴を象徴、体現する「マッシュアップ」をエンタープライズ内部で使うコンセプトを発案

#### 活動形態・経緯：

- 5月27日 XMLコンソーシアム第5回総会にて新設(改名)部会の1つとして部会紹介
- 6月 9日 第4回XMLコンソーシアムWeek 3日目 「メタデータ活用、標準化Day」にて3講演
- 6月10日 第4回XMLコンソーシアムWeek 4日目 「道路交通情報Webサービス実証実験Day」にて6講演
- 7月 5日 関西部会紹介セミナーにて「メタデータ活用部会報告(Atom部分のご説明)」
- 7月13日 部会紹介セミナー 部会活動紹介セミナー & 「部会オリエンテーション」
- 12月15日 第7回XMLコンソーシアムDay 1日目で2講演 ～ HR-XML、リッチクライアント、XMLクライアント

9回の定例部会開催,ほぼ毎回の新人歓迎。初回到活動内容希望アンケートの実施  
SNS、YahooGroupsを活用した日常の議論と情報・アイデア交換  
1月19日 クロスメディア・プレスコンファレンス@デジハリ大学院  
2月2日 PAGE2006 クロスメディア・コンファレンス「Web2.0時代の基幹系情報システムへのメタデータ活用」  
3月3日 Web2.0勉強会第1回ミーティング+XMLコンソーシアムセミナーの企画、ならびに主要講師の派遣  
4月11日 Web2.0勉強会第2回ミーティング「エンタープライズ・マッシュアップ!」の企画ならびに全講師、  
パネリストの派遣

## (5) ユビキタス・組み込み系部会

### 活動経過

部会創立2年目の2005年度はXML技術がユビキタスコンピューティング、ユビキタスネットワークにどのように関わり得るのかをモチベーションに、技術、市場、社会、家庭、人間といった幅広い分野を対象に、現状、歴史、未来を包含する調査研究活動を行ってきた。

技術的には、IC タグ、携帯電話、カーナビといったハードウェア、無線や家庭におけるネットワーク、個人情報管理、新時代のインタフェース、サイバーリテラシー、高齢化社会などの問題を内外の講師を呼んでヒアリングを行った。また、これらの技術に対して、内部での議論を掘り下げるとともに、ユビキタスアーキテクチャを独自に検討し、その成果を学会で発表した。具体的なテーマと社外発表は下記のとおりである。

### (1) テーマ

#### 第一回部会(2005.6.17)

ネットワーク情報へのオントロジ適用の検討  
RFID の応用  
ユビキタス環境標準化への考察  
スタートレックから想像するユビキタスネットワーク社会の未来予想図  
なぜ、今、ubiquitous か

#### 第2回部会(2005.7.12)

リバティアライアンスについて

#### 第3回部会(2005.8.26)

旅行業界向けユビキタスサービス

#### 第4回部会(2005.9.15)

スマートフォン M1000 のご紹介  
将来のユビキタスライフの検討

#### 第5回部会(2005.10.11)

将来のユビキタスライフの検討  
PIMとネットワークの連携シナリオ  
オフィスワークで携帯電話を使うシナリオ  
電子機器業界の設計製造製品情報の一元管理と多目的活用

#### 第6回部会(2005.12.1)

ユビキタスアーキテクチャ、シナリオ、地図  
サイバーリテラシーについて  
ユビキタス情報化社会とリテラシーについて  
10年後のユビキタスライフ

#### 第7回部会(2006.1.25)

セマンティック Web とユビキタス  
ユビキタスコミュニケーションの提案  
ユビキタスサービスプラットフォームコンセプト

#### 第8回部会(2006.2.21)

W3C ユビキタスワークショップ、ユビキタスWebの紹介  
生活便利ポータル提案

#### 第9回部会(2006.3.16)

プレゼンス関連ソリューションの紹介

#### 第10回部会(2006.4.4)

ユビキタスコミュニケーションの提案

#### 第11回部会(2006.5.11)

「Web2.0時代のユビキタス」の検討

### 成果物

情報処理学会第52回デジタル・ドキュメント研究会「ユビキタスネットワーク社会の情報構造モデルの

検討」

画像電子学会 第 17 回 VMA 研究会「ユビキタスネットワークの構成に関する一考察」

## (6) ビジネス・イノベーション研究部会

部会ミーティング

SOA 研究部会と共催で 2005 年 6 月 - 2006 年 4 月まで毎月 1 回、計 11 回開催

主な議論のテーマ

ビジネスプロセス・モデルのモデリング手法の調査・研究

ビジネス環境変化に対するビジネスプロセスとサービスの組み換えの研究

成果発表(SOA 部会と共同)

第 4 回 XML コンソーシアム Week(2005 年 6 月 8 日)でのプレゼンテーション

ビジネスプロセス記述からサービス設計へ

～ BI 研究部会活動とモデリング検証タスクのご紹介 ～

第 2 回 ビジネスモデリング・サミット(MTF 特別企画)

オブジェクトテクノロジー研究所主催

ビジネスプロセスを実現する SOA のアーキテクチャパターン

第 7 回 XML コンソーシアム Day(2005 年 12 月 16 日)でのプレゼンテーション

サービス指向におけるモデリング・アプローチ

成果物

コンソーシアム Day やセミナーでのプレゼン発表資料(Web で公開)

ビジネスプロセス記述からサービス設計へ

～ BI 研究部会活動とモデリング検証タスクのご紹介 ～

ビジネス環境変化に対するビジネスプロセスとサービスの組み換えの研究

## (7) ContactXML 部会

目的

ContactXML仕様に関する制定・開発・情報公開・情報交換等のContactXML仕様の普及・啓蒙活動を行う

ContactXML仕様を活用したビジネスへの後方支援を行う

活動内容

ContactXML仕様の開発・制定・標準化

ContactXMLの適用研究・事例収集

ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会及び「ContactXML.org」

(ポータル・メーリングリスト)の運営

ContactXML仕様の普及・啓蒙活動

上記全成果物のXMLコンソーシアムへのフィード・バックと承認申請

活動期間

2002.1 ~

成果物

標準

- ContactXML Version 1.1a 仕様

- ContactXML Version 1.1 仕様

- ContactXML Version 1.0 仕様

## (8) TravelXML 標準化部会

活動目的

旅行業者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関との間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報の XML による標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

#### 活動内容

TravelXML 標準案作成(作成 WG)

- 旅行業業界における商取引についての調査と要件把握
- 旅行業業界における商取引の XML による標準化案作成

TravelXML 標準の普及・啓発(普及 WG)

- 実装検証・評価
- Web ページ等による情報の発信
- XML コンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

#### 活動期間

2003.2 ~

#### 成果物

##### 標準

- TravelXML Version 1.3 仕様(勧告)
- TravelXML Version 1.4 仕様(勧告案)

##### 報道発表

- 2005.5.12

「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.3」勧告を発表 ~ 標準化の第2フェーズを完了し、今後は普及活動を中心に活動 ~

- 2005.10.27

「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」「TravelXML」全範囲の XML Schema 作成を完了し、パブリックレビューを開始 ~ 旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.4」勧告案を発表 ~

##### コンソーシアム Day/WEEK での発表

- 2005.6.9

旅行業業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.3 - の開発状況

- 2005.12.15

旅行業業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.4 - の開発状況

### (9) コンテンツ利用情報標準化部会

#### 活動目的

著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報の XML による標準化提案を目指します。

#### 活動内容

コンテンツ利用情報 XML 標準案作成(作成 WG)

- コンテンツ利用情報対象業務についての調査と要件把握
- コンテンツ利用情報の XML による標準の改善

コンテンツ利用情報 XML の普及(普及 WG)

- Web ページ等による情報の発信
- XML コンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

#### 活動期間

2003.2 ~

#### 成果物

##### 標準

- ContentsBusinessXML Version 1.0 仕様

### (10) 関西部会

#### 活動目的:

関西で活動を行える会員間での、情報交換と交流を全体の目的とする。参加会員により、XML の利用状況を調査することで現状の認識を整理し、実装による会員の技術力向上を目指しながら、利点・問題点を共有化する。これらを通じて、関西での XML、Web サービス、SOA 等の普及活動の活性化に努める。

#### 活動内容:

関西準備 Project 活動報告会並びに関西部会説明会実施  
部会と同様の活動の報告会と初年度関西部会の説明会を実施(7月5日)  
情報共有  
2005年7月より月次 Meeting  
    活動検討  
    技術トピック情報交換  
XML の活用状況調査  
    関西での XML 関連事例調査  
    Web 公開された XML 関連事例調査  
    事例の集約と独自分析報告  
XML 関連新技術実装技術の習得と試用  
    Web2.0 的アプリケーション構築  
        Web サービス実装  
        Ajax 試用  
        外部サービス活用  
参加者による技術情報交換会  
    Web2.0  
    XMLStarlet  
情報共有方法の検討とコミュニケーション TOOL 試用  
    XOOPS、Trac、FML の融合環境試用  
    TOOL 機能習得(内部説明)  
    融合環境の実活用検討

活動期間  
2005年7月～

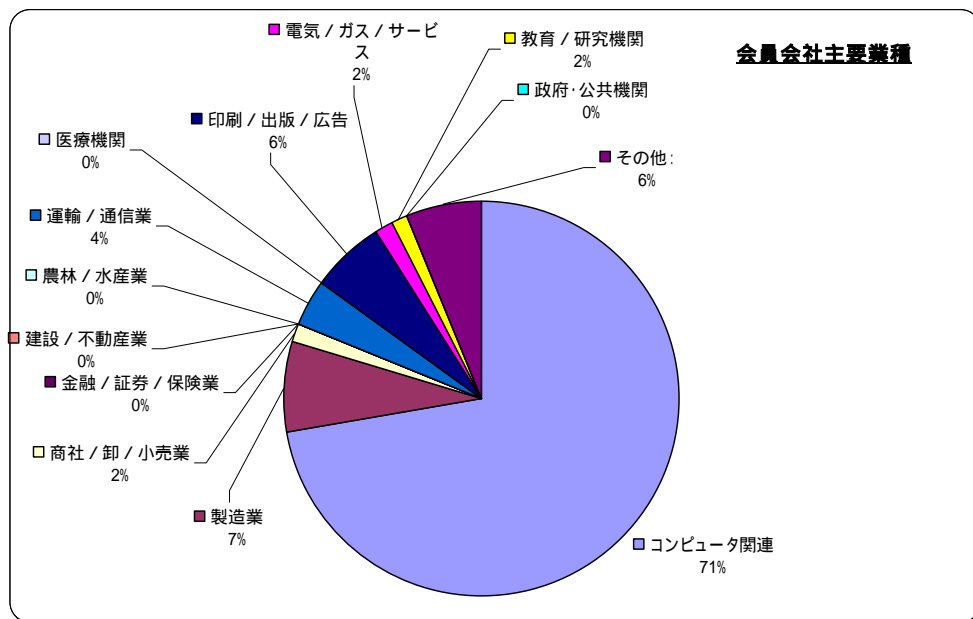
成果物  
XML 関連活用事例一覧  
XML 関連活用事例分析結果  
Web2.0 的アプリケーション及びサービス基盤  
    Ajax を用いた Web2.0 的アプリケーションと来年度も活用を目指した Web サービス  
コミュニケーション TOOL 活用概要  
    来年度も活動の基盤として活用を目指したコミュニケーション TOOL の概要と活用方針

以上

### 3. アンケート集計結果

実施期間:2005年11月25日～12月9日 回収総数:131件/184会員 71.2%

#### <主要業種>

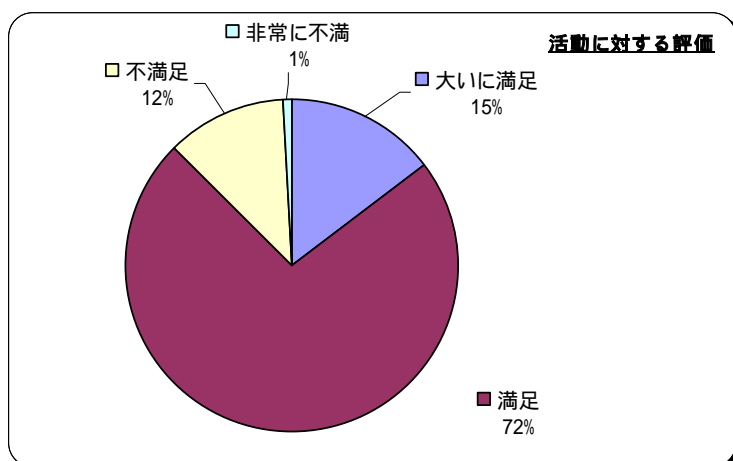


その他:

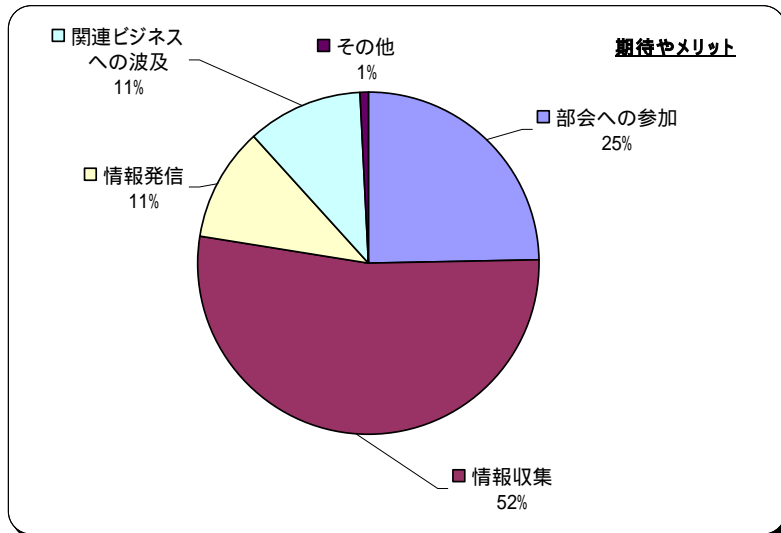
- ・旅行
- ・情報入力サービス業
- ・教育コンテンツ制作、Web インテグレーション、グローバリゼーションサポート
- ・マスコミ
- ・気象業務
- ・コンサルタント
- ・教育出版
- ・セキュリティ専門コンサル、SOCサービスを展開

#### <XMLコンソーシアム活動に関するアンケート>

##### 1. XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価

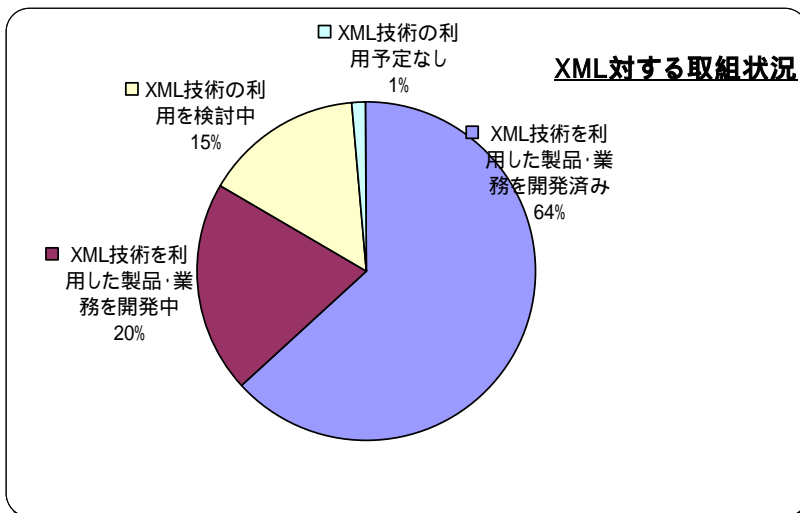


## 2. XMLコンソーシアムに参加する期待やメリット



## <XML 普及度アンケート>

### 1. XML に対する取り組み状況



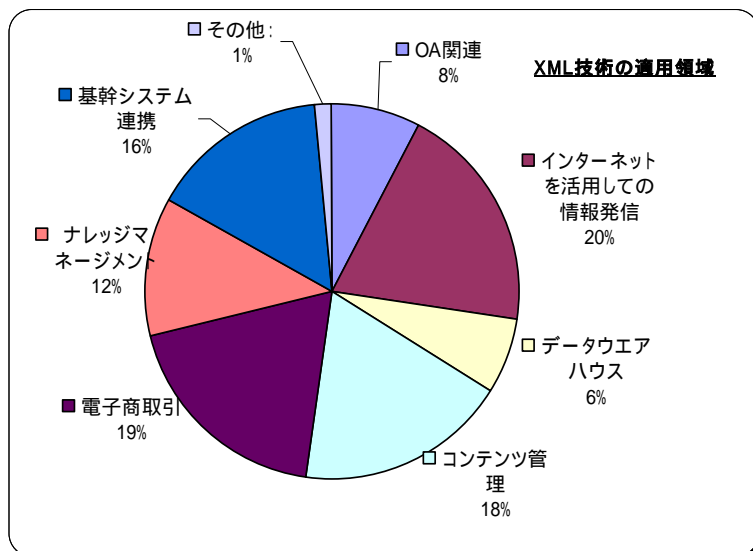
製品・業務を開発済み 製品・業務名:

- BTONIC、BizPal
- ASTERIA Server 3
- 各種顧客システムにおける帳票やデータの形式として利用
- xfy Basic Edition 1.0、技術名称:xfy technology
- XML データベース TX1、FlyingServ Web 帳票
- IBM ソフトウェアのほとんどの製品
- BizEngine4.0
- 社内業務一般
- システム化案件全般でアプリケーション開発に利用
- INTERSTAGE ファミリー製品、等
- Cosminexus シリーズ等
- Java、.NET の SI 案件で多数使用
- XBRL ソリューション XiRUTE(サイルート)
- MFP、文書管理ソフトウェア
- Yggdrasil,EsTerra,DocuLabo 他
- はがき作成ソフト「筆まめ」
- Voizi
- formlet
- XML ベースの EAI ツールの適用サービス
- XMLコンバータ、ConfigPro
- Karearea、airCube
- FLIGHT Contents Manager
- データ連携などで XML 利用を行っている

電子文書関連ソリューション  
 EDIシステム  
 HULFT Ver.6、データ変換 Pro Ver.6  
 WSF(開発フレームワーク)  
 FileXML・フォーマット変換ツール Marcopolo・貿易EDIシステム( ebXMLベース DEX Business Server・インターネットEDIシステム)  
 Xuras inicio  
 様々な Web アプリケーション、EDI サーバ  
 WebSphere における Web サービス  
 DocuCentreSeries、Apeos Series、ArcSuite  
 携帯電話を利用した製品  
 MFP の Web 管理画面  
 NextPublisher  
 Mighty for RosettaNet: RosettaNet 対応サーバ  
 ADOS Hestia: XML B2B サーバ  
 ADOS XMLStudio: XML エディター  
 ワンソースによる書籍と電子媒体の制作、データ更新  
 IntelliVoice TE  
 eXtran、exform  
 BEA すべての製品  
 ava framework、ViewMaker データベース汎用検索  
 RichResourceStadium、ConfigPro  
 リザブリ配信サービス、リザワン  
 XMLドキュメント製作ワークフロー管理システムXPf、ワードによるXMLデータ入力ツールWord2XML  
 UMLaut/J-XML  
 NeoCoreXMS 業務処理マニュアル  
 Stylus Studio 2006  
 Novell Identity Manager、Novell exteNd  
 プロジェクト管理システム(QMS 用)  
 DataPower XA35 XML アクセラレータ、XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ  
 気象データの配信  
 AUTO - EDI  
 LayoutLogic・オンラインパブリッシングライブラリ  
 MetaWorks  
 CrossMission  
 ACMS/B2B、AnyTran  
 問題コンテンツ  
 DynamicPULSE  
 IdbA  
 SecureStar XML

XML 技術の利用予定なし 理由:  
 XML はあくまでもツールの一部という認識

## 2. XML 技術の適用領域として適するもの( 複数選択)



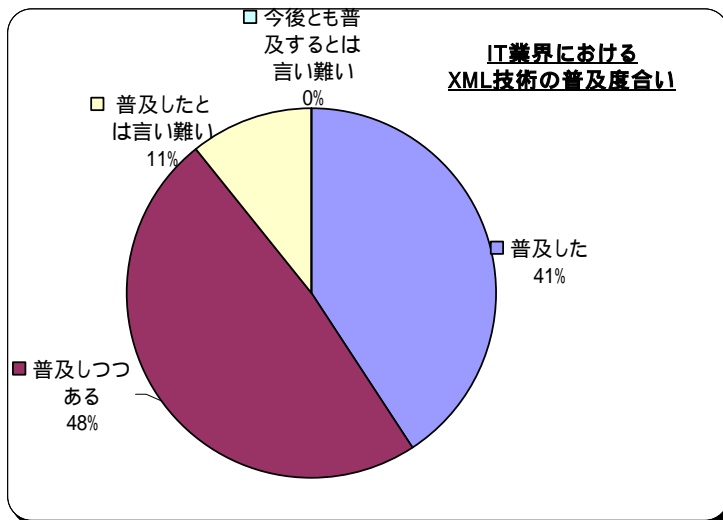
その他:  
 blog、web系 service API のデータフォーマットとして  
 XMLによるデータ保存  
 メタデータ・情報、情報の定義体  
 機械翻訳



ネットワーク管理：ユーザ認証、機器監視、ログ管理、など

### 3. 日本における XML 技術の普及度合い

#### (1) IT 業界における XML 技術の普及度合い



普及したとは言えない理由：

XML 自体の普及が未だ低い

まだ、XML のメリットについて、十分理解されていない。

当社マーケットの進捗度合いを判断した場合

もはや IT 業界という業界は存在しないので、様々な業界・業種も IT 業界と密接になっている。それらを含めてみれば XML は普及していないともいえる。しかし、確実に利用する為の土台が掲載されつつあるので、ここにマークしました

XML を利用することによる本当のメリットが示されているとは言い難い

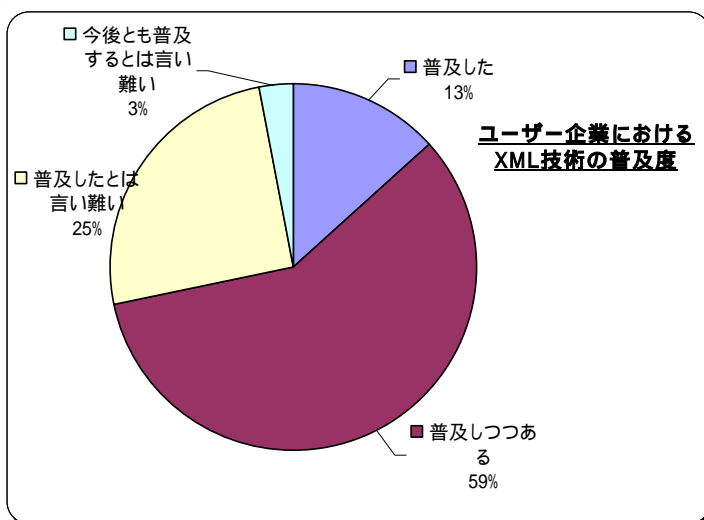
まだまだ足りない

中小企業への浸透が進んでいないと感じる

レガシー技術との融合

多くは閉鎖的環境で旧来のシステム構築を行っている

#### (2) ユーザー企業における XML 技術の普及度合い



普及したとは言えない理由：

XML 自体の普及が未だ低い

多くのユーザにとって、同じことが実現できるのであれば裏の仕組みがどうであるか (XML 技術であるかどうか) は問題ではないと思われるから

まだ、XML のメリットについて、十分理解されていない。

技術に着目されていない。ビジネスへの応用は普及した。

XML そのものはシステムの都合

ユーザが XML を直接認識しているとは思えない

XML を本当に必要とする一部の業界や、ユーザのみ真剣では

全社的に採用している企業はまだ少なく、スキーマ定義など上流工程に手間取っている

XML を使用している製品は使っているが、業務の主要素として使用されていない  
当社マーケットの進捗度合いを判断した場合

技術者が不足している

中小企業では？

XML の有効活用までは至っていない

必要性を認識していない

XML は裏方技術なので認知は低い

いまだにデータはCSVでの要求が多い

現状ではユーザにとってXMLのメリットと感ずるところがあまりはっきりしていないと思う。また、表記方法・手順を決めただけで、対象領域の言葉の統一がされていないため、なかなか使い難い。

今後益々利用が増えると考え

積極的な導入が進んでいないから

中小企業への浸透が進んでいないと感じる

投資対効果が不透明

事例を聞かない

多くは閉鎖的環境で旧来のシステムでビジネスを行っている

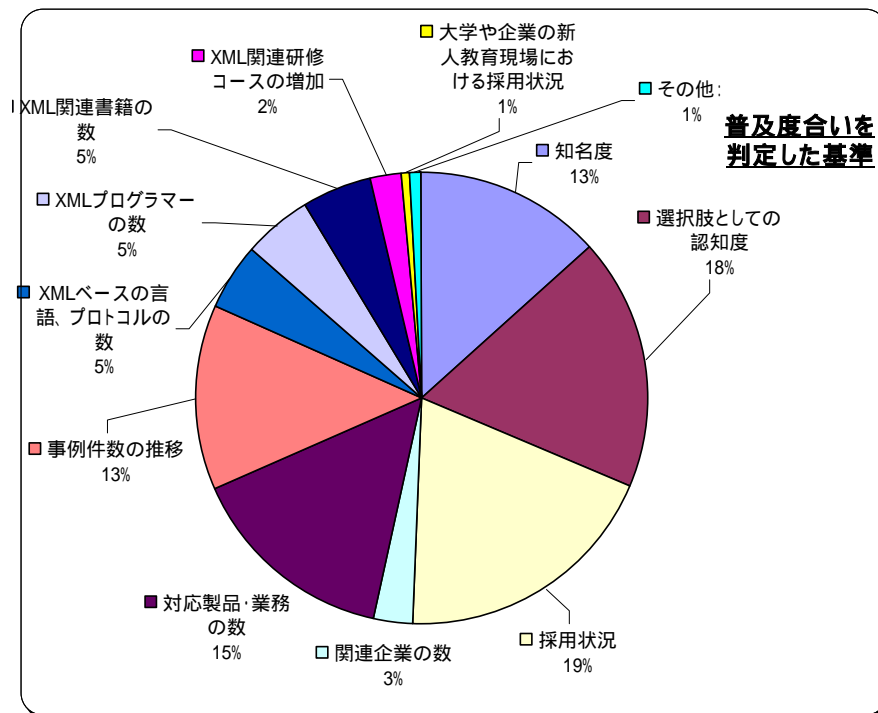
今後とも普及するとは言い難い 理由：

ユーザ企業には無関係

ユーザ企業側でXMLを意識する必要は無い

企業では、どのような技術を使うかというより、どのようなプロセスかということを重視しているため、特定の技術に縛られないため

#### 4. 上記設問を回答するにあたり、普及度合いを判定した基準( 複数選択)

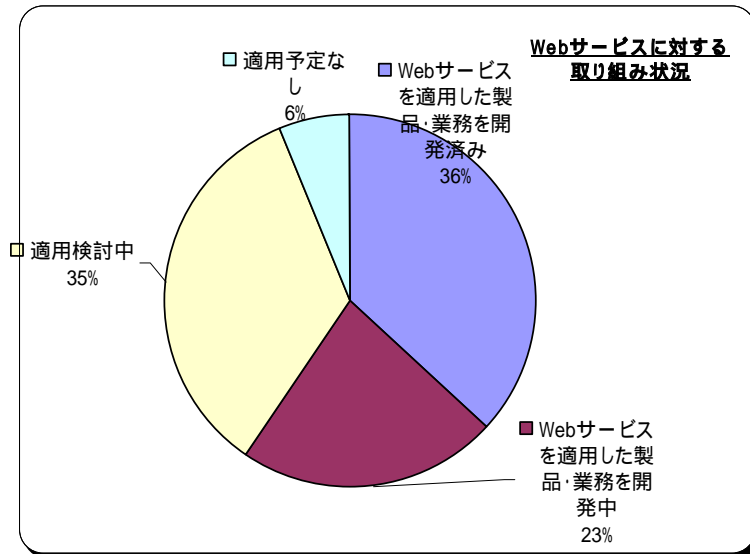


その他：

現時点のソフトウェア技術/インフラ上、適合分野のデータ表現として系統的に必要なものXMLを活用した開発環境が整備されたため。

<Web サービス普及度アンケート>

1. Web サービスに対する取り組み状況



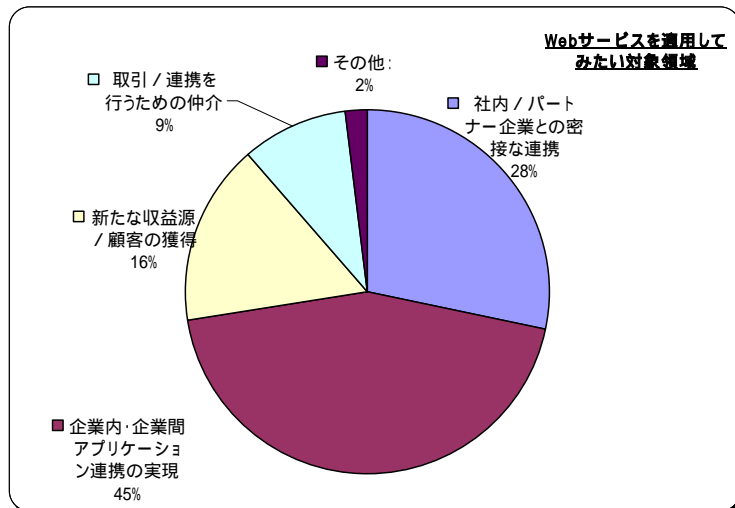
適用した製品・業務を開発済み 製品・業務名:

- BTONIC、BizPal
- ASTERIA Server 3
- 各種顧客システムにおける分散システムの基盤利用
- WebSphere Application Server v6
- WebSphere Integration Developer v6
- WebSphere Process Server v6
- WebSphere Adapters v6
- WebSphere Partner Gateway v6
- WebSphere ESB v6
- WebSphere Message Broker v6
- Rational Web Developer v6
- Rational application Developer v6
- Lotus Domino 7
- BizE んぎね
- システム化案件および業種特定のソリューション全般で利用
- INTERSTAGE ファミリー製品、等
- Cosminexus シリーズ等
- @Buy 24 (PCソフト販売のWebサイト)
- ESB 対応 XML/Web サービス統合プラットフォーム PolarLake
- MFP、文書管理ソフトウェア
- 基幹システムで利用
- ERPパッケージ/フレームワーク
- MSD
- XML Editor、Web アプリケーション
- WebSphere
- DocuCentreSeries、Apeos Series
- Artix
- FlexSearch
- ワークフローエンジン
- BEA すべての製品
- UMLaut/J-XML
- Novell exteNd
- DataPower XA35 XML アクセラレータ、XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ
- AgetLogicFramework・オンラインパブリッシングフレームワーク
- CrossMission Webservice Flow Controller
- DynamicPULSE
- IdbA

適用予定なし 理由:

- 具体的な案件が無い
- 受注産業ですが、引合いがない
- 製品としての利用にとどまっているため

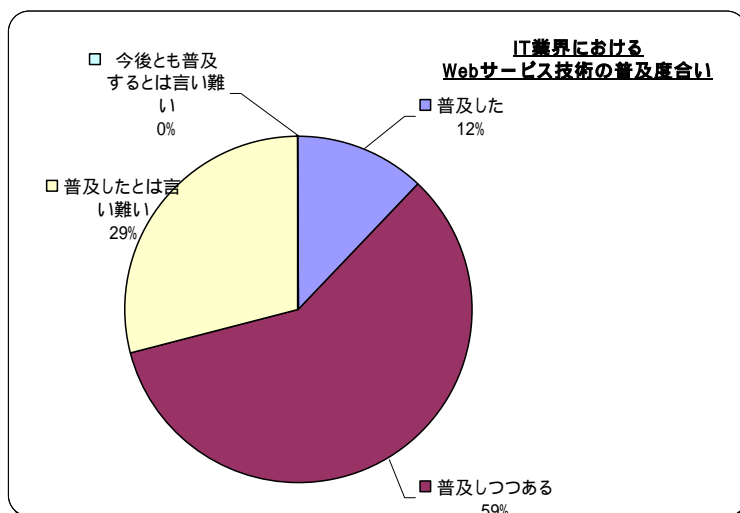
## 2. Web サービスを適用してみたい対象領域( 複数選択)



その他:  
web 系の service API  
リッチクライアント

## 3. 日本における Web サービス技術の普及度合い

### (1) IT 業界における Web サービス技術の普及度合い

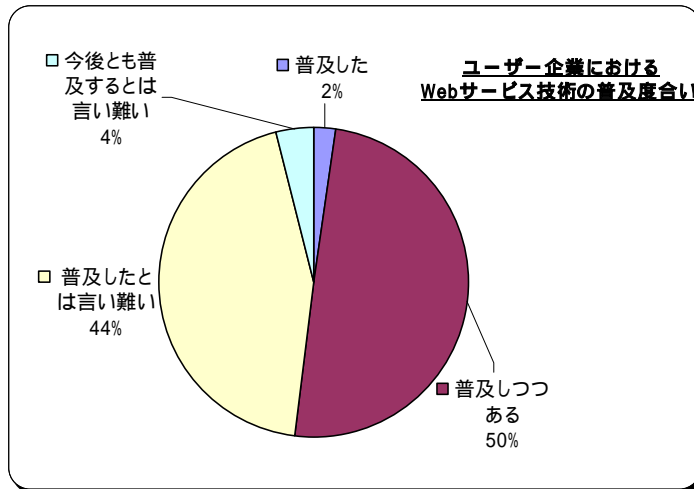


普及したとは言い難い 理由:

- 実績が乏しい
- 実施例の少なさ
- Web サービスを使いこなせる技術者の総数が少ない
- 公表されている事例、実績が少ない
- IT 技術者でも Web サービスの定義を明確に理解している人は少ない。Web サービスの定義を明確にしてその普及に努めるべき。また、Web サービス”というネーミングも悪い。
- セキュリティ、速度、メリットなどの課題もあり、適用可能な局面はまだ限られていると思われる
- まだまだレガシーの手法でのシステム開発が多い
- 事例があまりない。
- 性能、セキュリティ
- 実用的なサービスとしては未だ途上
- 技術開発はされているが、広範に応用されているとはいえない
- 当社マーケットの進捗度合いを判断した場合
- 現場の利用事例をあまり聞かない
- 回答者自身がよく知らない
- まだ一部の先進的なところに限定されている
- もはや IT 業界という業界は存在しないので、様々な業界・業種も IT 業界と密接になっている。それらを含めてみれば XML は普及していないともいえる。しかし、確実に利用する為の土台が掲載されつつあるので、ここにマークしました
- 技術を持つ IT ベンダー数がまだ少ないと思われる
- Web サービスを前面に打ち出した製品があまりない。
- ユーザにとってのメリットを説明しきれていない
- まだまだあ足りない
- 適用事例数の少なさ

Web サービスについて、理解している技術者が少ないと思われる事例が少ない

## (2) ユーザー企業における Web サービス技術の普及度合い



普及したとは言いがたい 理由:

これからか？  
 実施例の少なさ  
 適用案件が少ない  
 未だ、サービス導入の検討段階の域だと感じている  
 代替技術に対するコスト面での優位性に欠けるため、適用事例がまだまだ少ない。  
 上記のとおり IT 業界でも普及したとは言いがたい状況であり、ユーザ企業ではなおさらである。  
 まだまだ実装され使えるサービスが少ない  
 実際のサービスを知らないうちに利用している状態。  
 徐々に普及し始めてはいるが、まだ普及までには至っていない  
 検討には上がるが、保留、見送りのケースが多い  
 あまり聞かない。

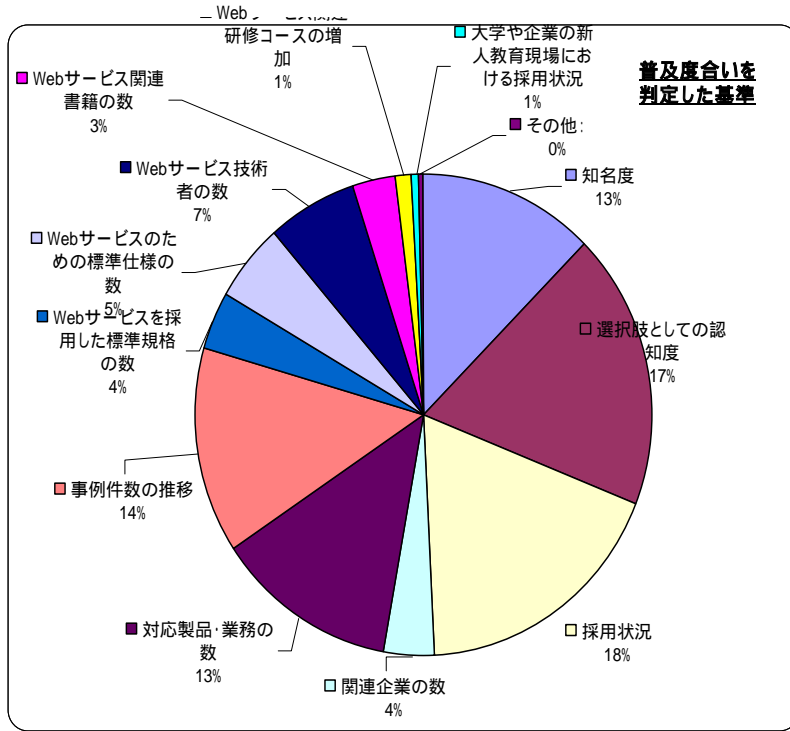
事例

実用的なサービスとしては未だ途上  
 事例が少ない  
 情報管理部門のみは普及を希望されている。  
 技術開発はされているが、広範に応用されているとはいえない  
 実証実験が多く、事例が少ない  
 当社マーケットの進捗度合いを判断した場合  
 サービスが少ない  
 いつ Web サービスを採用すれば良いのか分からないという情報企画部長がいた。  
 現場の利用事例をあまり聞かない  
 回答者自身がよく知らない  
 まだ一部の先進的なところに限定されている  
 一般企業にまではまだ利用されていないと考えられる  
 現状では取り扱いがない  
 実際のアプリケーションが少ない  
 今後益々利用が増えると考え  
 適用事例数の少なさ  
 事例が少ない  
 事例が少ない。  
 具体的な適用手法が不透明。  
 ベストプラクティスがまだ見えてこない  
 事例を聞かない

今後とも普及するとは言い難い 理由:

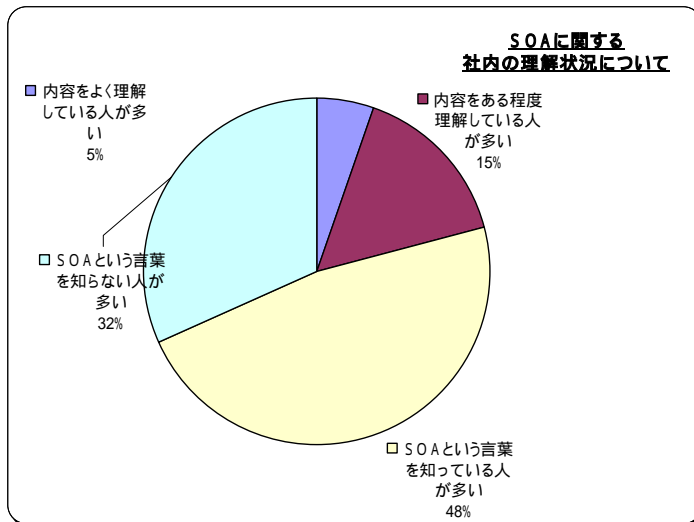
WSDL と XML Schema が難しすぎる。WS-\* の仕様が多すぎる。  
 ユーザ企業には無関係  
 企業としてプロセスをより重要視しているため、ツールとしての位置付けを超えられない  
 お客様に Web サービスのメリットが見えていないし、ベンダも描き切れていない

## 4. 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準( 複数選択)

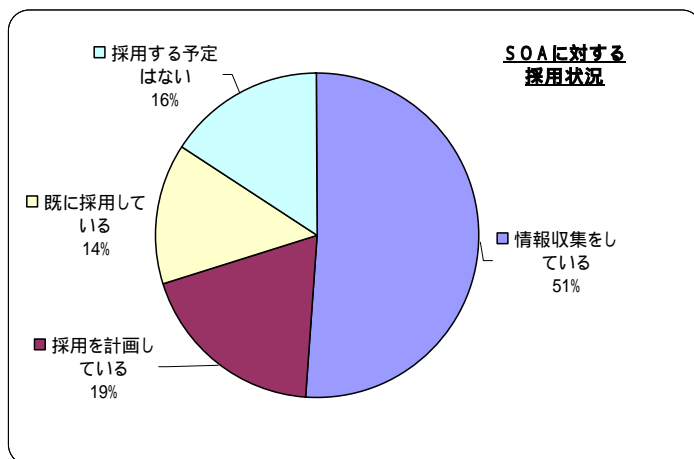


< SOAに関するアンケート >

1. SOAに関する社内の理解状況について

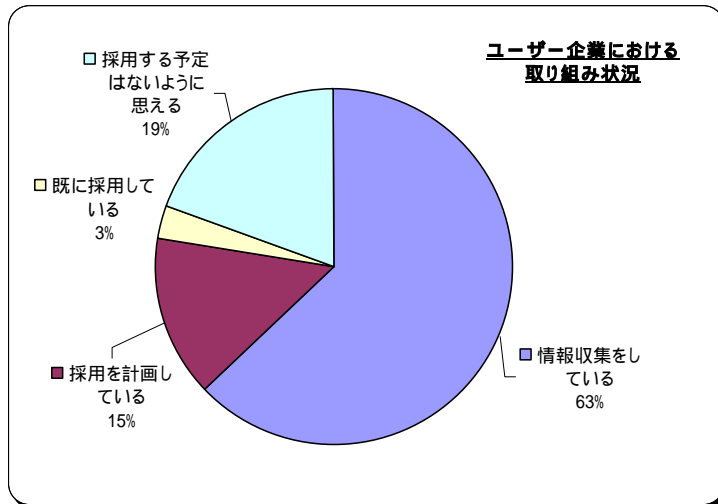


2. SOAに対する採用状況



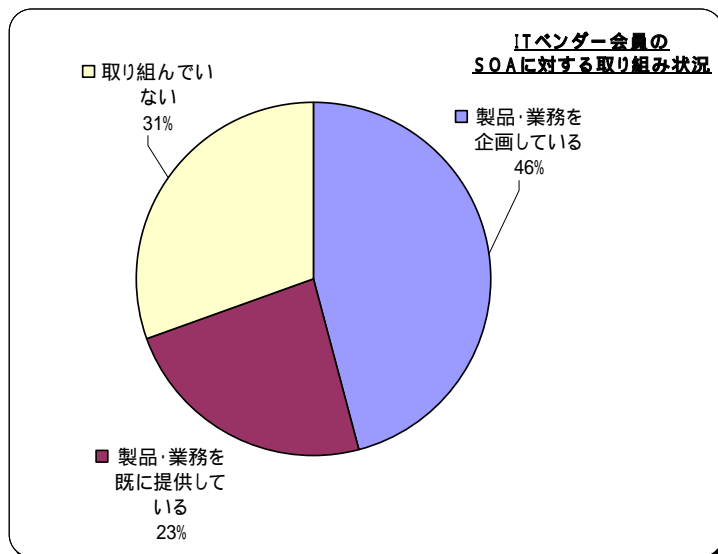
採用する予定はない 理由：  
 ビジネス的な接点がない  
 Web サービスの利用が始まったばかりで、まだ統合システムに至っていない  
 現時点では具体的な案件が無い  
 今のところ特化した仕事、提案ネタがない。  
 必要性を感じていない  
 当面は  
 社内での認知度が低いため  
 知らないのです

### 3. ユーザー企業における取り組み状況



採用する予定はないように思える 理由：  
 SOAであることの投資メリットが明確でなく、ユーザ側にとっては採用の基準にはならないように思える。提案内容次第、話題に上がらない、知らない  
 認知度がまだまだ  
 詳細は分からないが浸透していないように感じる  
 ユーザが把握されていない、  
 ユーザへヒアリングしても認知されていない  
 当面は  
 技術者がいないかまだ認知されていない  
 知らないのです  
 検討はするものの、現状のシステム、ビジネスプロセスを考えると、SOA に対応させるためのインシャルコストのみ大きくなり、現実的ではない  
 市場にもよと思うが、私の周りは SOA の採用性は感じられない  
 現状、動きが見えない

### 4. ITベンダー会員のSOAに対する取り組み状況



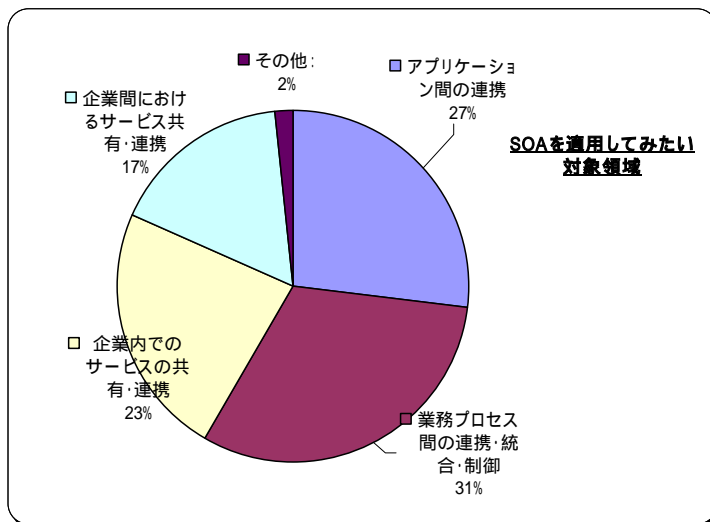
製品・業務を既に提供している 製品・業務名：  
 BizEngine4.0、WebOTX  
 SOA 適用サービス  
 SOA に基づくソリューション体系

サービス指向システム構築支援コンサルティング、Cosminexus シリーズ等  
EObjects  
Webサービス & SOA技術センター  
ServiceLink  
ESB, プロセスサーバー  
BEA WebLogic, AquaLogic 製品ファミリー  
Polarlake Message Integrator/Process Integrator  
Novell exteNd  
DataPower XA35 XML アクセラレータ、XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ  
Workplace Translator  
CrossMission WebService Flow Controller  
DynamicPULSE  
IdbA, IdbA Aggregation Client-type、一括！コマースシリーズ

取り組んでいない 理由:

現在、情報を収集している段階のため  
ユーザへ選択肢として提案できる段階でない。  
社内での認知度が  
対象となる案件に出会っていない  
情報収集のため  
具体的な案件が無い  
今のところ特化した仕事、提案ネタがない。  
まだ技術的に弱い  
今後取り組みを検討する  
概念的過ぎる  
利益に直結していない  
情報収集段階で、まだ具体的な取組みまでには至っていない  
当社マーケットの進捗度合いを判断した場合  
どの範囲を SOA と問われているのか不明  
当面は  
社内体制が出来上がっていない  
知らない  
開発案件に巡り会っていないため。  
取り組むための体制が整っていない。準備を始める段階

5. SOA を適用してみたい対象領域( 複数選択)

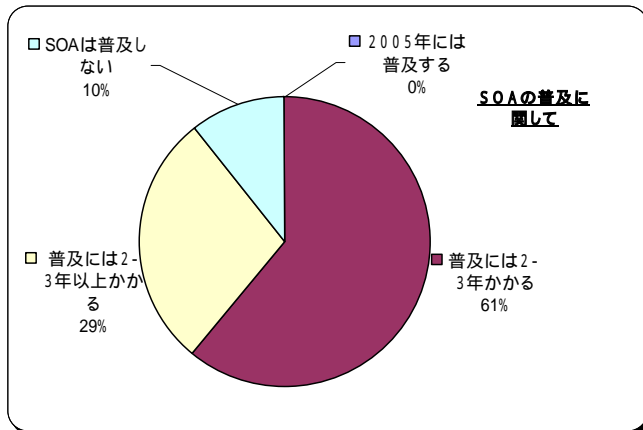


その他:

システム分析アプローチ  
未だ分からない  
上記以外(上記は元々SOAのターゲット分野なので使わない方がおかしい)



## 6. SOAの普及に関して



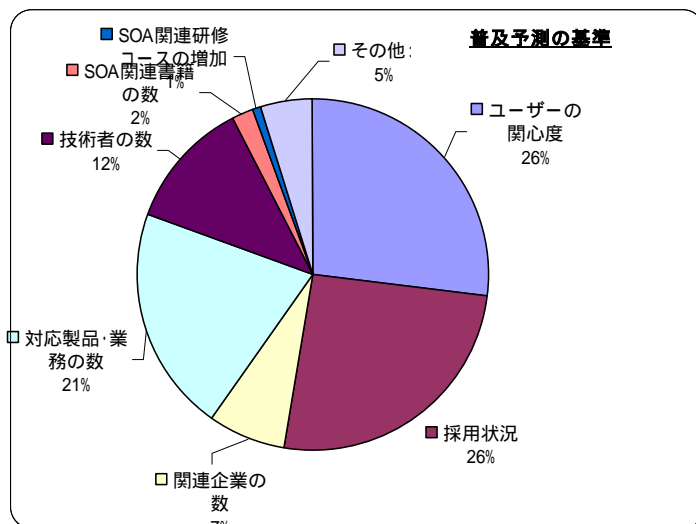
普及には2-3年以上かかる 何年以上:

- 5年
- 5年以上
- 5年以上。世間一般では「SOAって何?」と言う状況であり、普及と言える状況には5年以上はかかる。
- 5年以上
- 3年以上かかる
- 5年以上
- 2~3年で普及するかも知れないが効果を得られるようなものになるのは5年以上
- 未だ分からない
- 5年以上?
- 具体性が見えない。ベンダーによる非互換。
- 考え方は「良い」だが、適用領域が追いついていない
- 5年以上
- 4から5年
- 5年
- 5年以上
- 5年

SOAは普及しない理由:

- 次の同等技術にとってかわる
- 意味が曖昧なので普及したと判定できない
- CIOの不在。日本の商習慣上の問題など。サービス体型を変えて普及するかも?
- 単なるRPC的Webサービスではない「サービスを主体とした」システム構成という部分だけであれば、数年のうちに普及レベルに到達するであろう。
- しかし、ビジネスプロセスモデリングの方に目をうつすと業務分析ツールの普及は進むであろうが、それを実際のシステムに落と込んでいく過程については、メソッドロジとしての確立はともかく、アーキテクチャと言える実用レベルでの実現はまだまだ先になると思われる。
- ビジネスプロセスの見直しは必要だが、SOAは普及するものではない
- よりどころが無く各論的に普及するため統一された認識では広がらない
- 弊社での情報不足のため回答できない
- 知らない
- 長期的に見ると、メリットがあると思われるが、短期的に見て、変革メリットと導入コストのバランスがとれず、実現しにくい
- 概念としては普及するかもしれないが、何を以って普及したと判断するかの基準が難しい

## 7. 上記設問に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたか(複数選択)



その他:

US では「SOA」という単語を最近耳にしたことがない。

SOAは、広い範囲で整合性をもって取り入れられなければ大きな効果は得られず、そこへ到達するには時間がかかることが必至  
ユーザ企業の情報システムの状況とIT部門の体制など

ユーザ、ベンダ双方の理解度

未だ詳細を検討していない

製品の成熟度が低く基幹に使用できない。特にパフォーマンス面

内容を調べた上で出した考え。

具体的な導入方法論が確立されていない

セミナーやユーザ企業への提案結果により判断

以上

(2) XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果比較

2001 年度

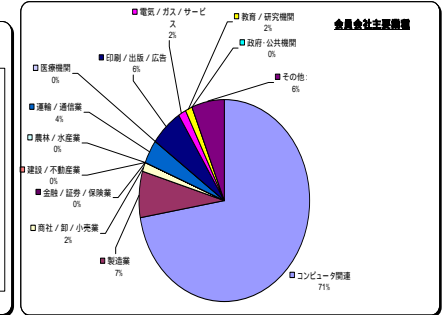
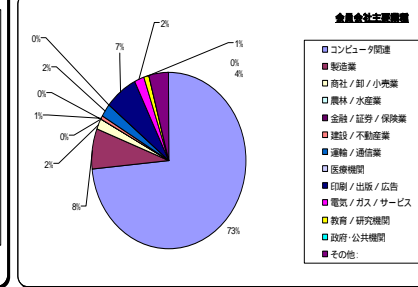
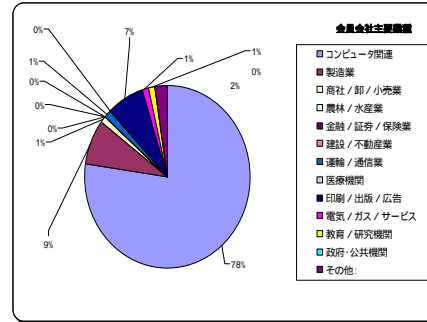
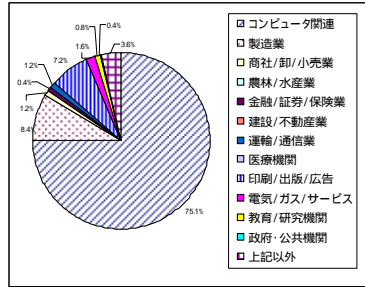
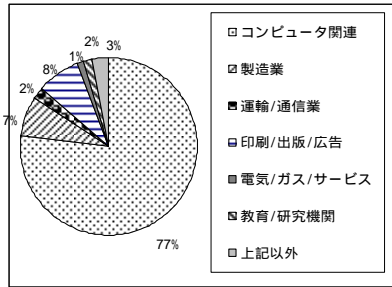
2002 年度

2003 年度

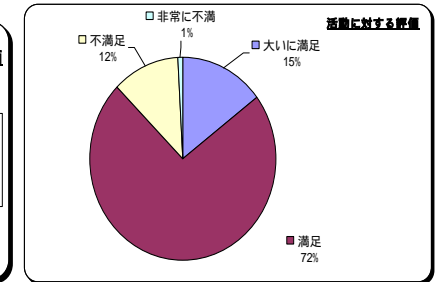
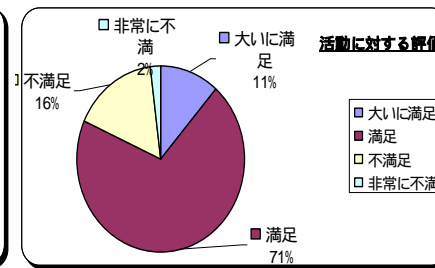
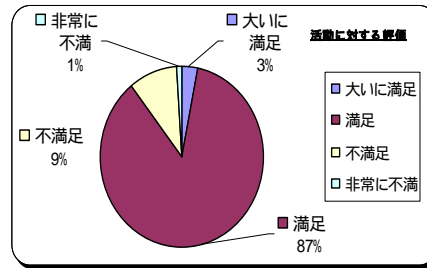
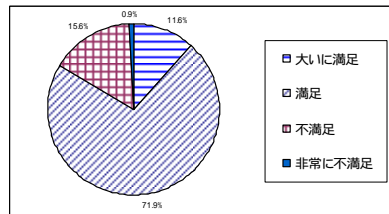
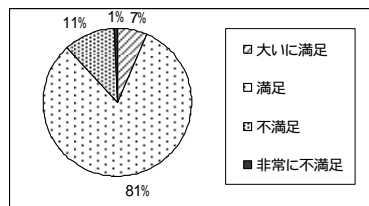
2004 年度

2005 年度

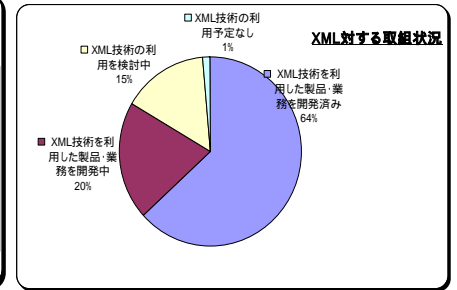
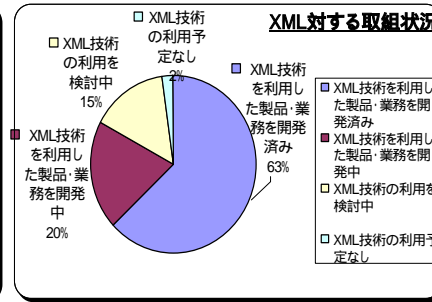
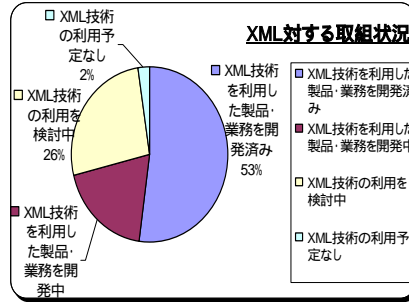
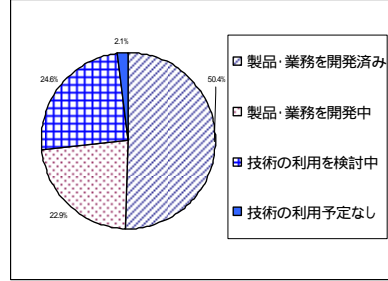
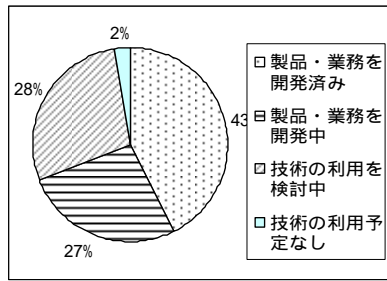
1. 主要業種



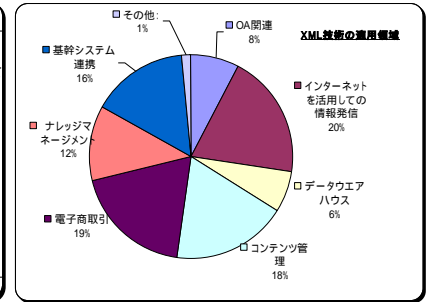
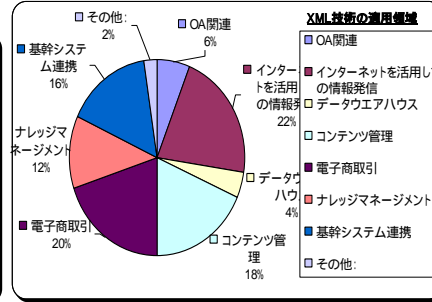
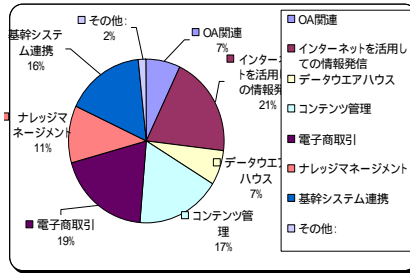
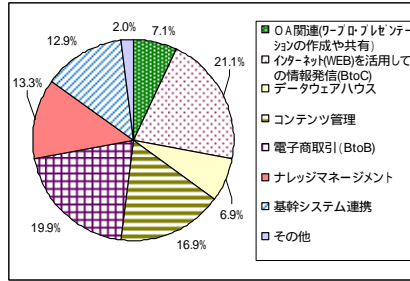
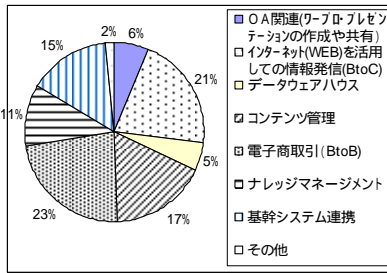
2. XML コンソーシアムの活動に対する評価



3. XML に対する取り組み状況

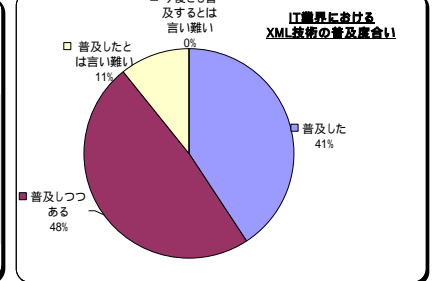
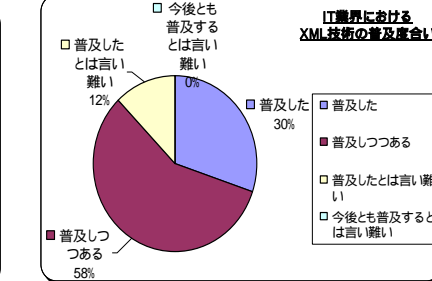
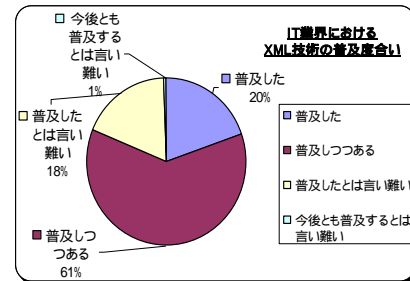
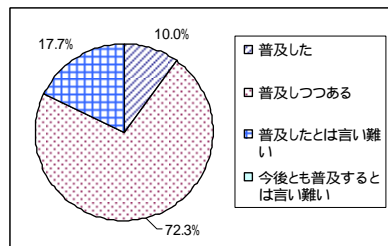
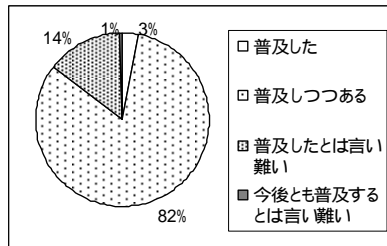


4. XML 技術の適用領域として適するもの (複数選択)

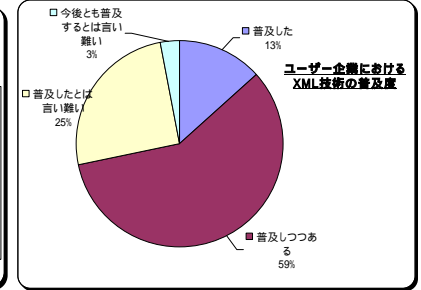
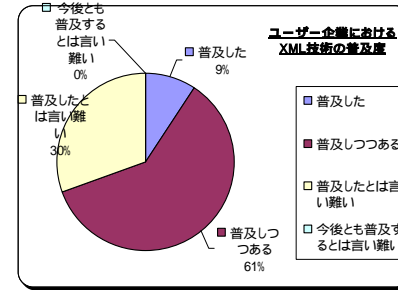
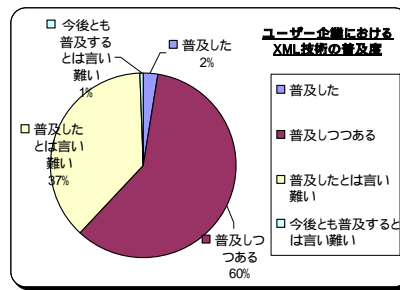
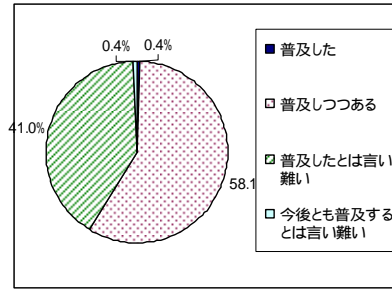


5. 日本における XML 技術の普及度合い

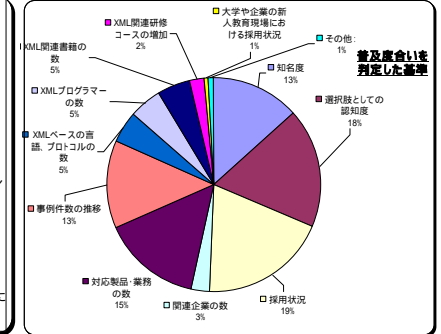
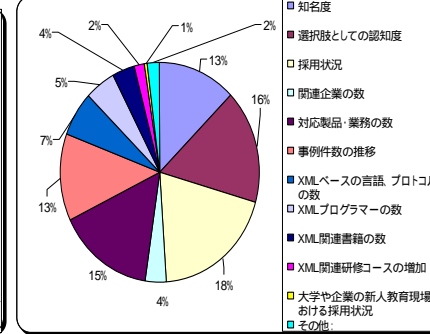
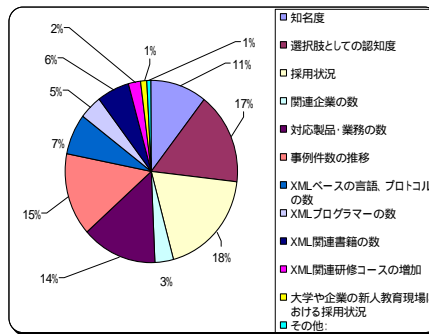
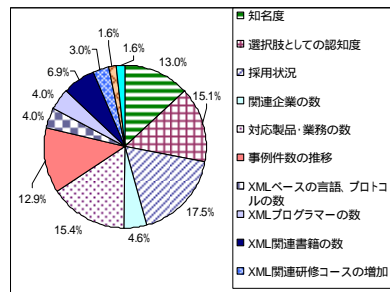
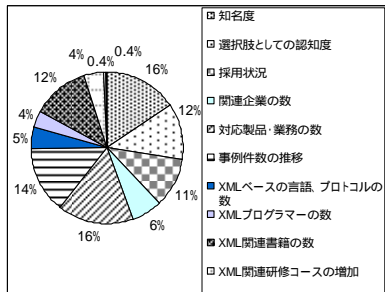
(1) IT 業界における XML 技術の普及度合い



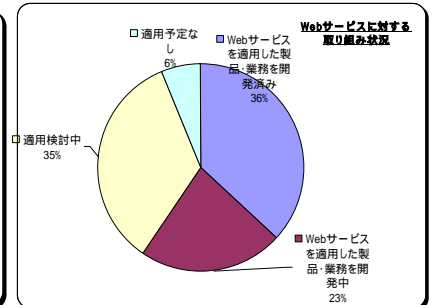
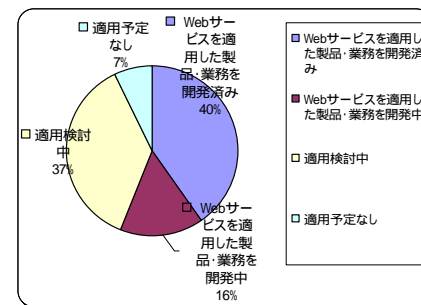
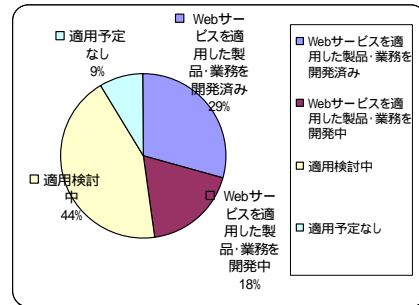
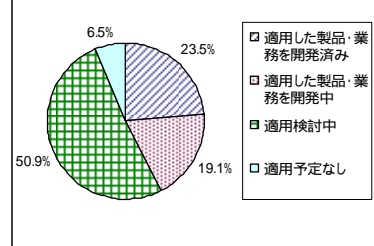
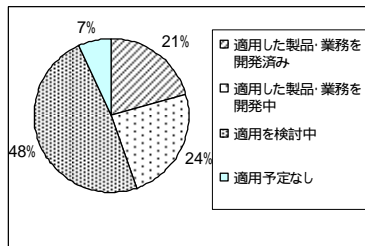
(2) ユーザー企業における XML 技術の普及度合い(2001 年度は、IT 業界とユーザー企業との区別なし)



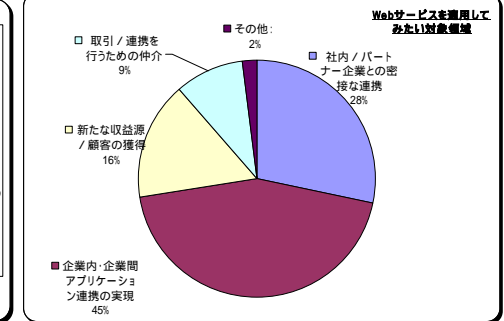
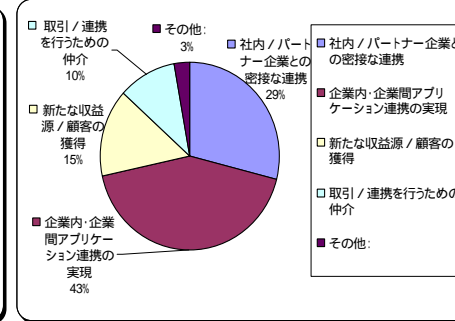
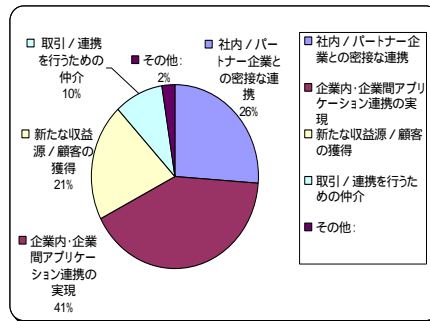
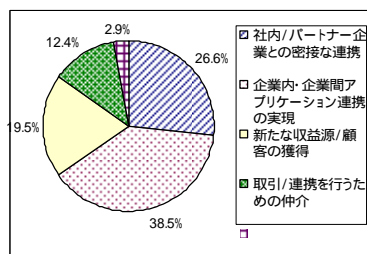
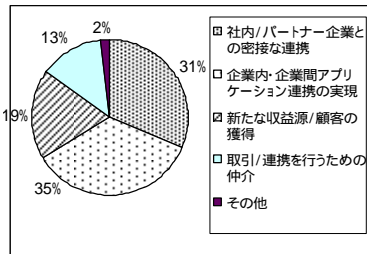
6. 上記設問を回答するにあたり、普及度合いを判定した基準( 複数選択)



7. Web サービスに対する取り組み状況

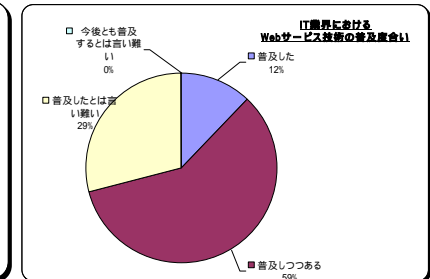
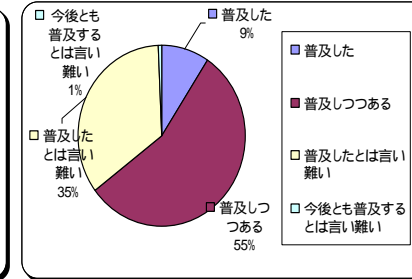
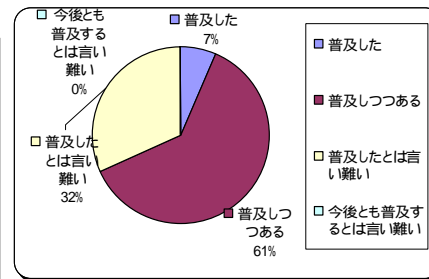
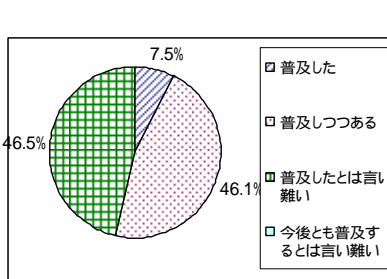


8. Web サービスを適用してみたい対象領域( 複数選択)

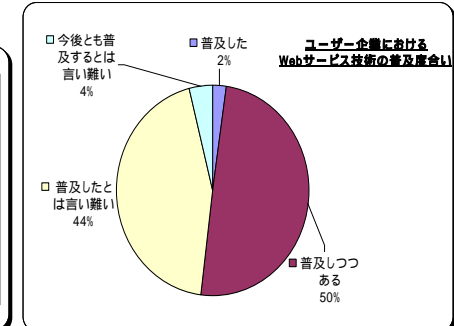
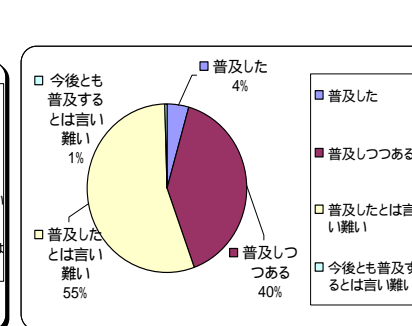
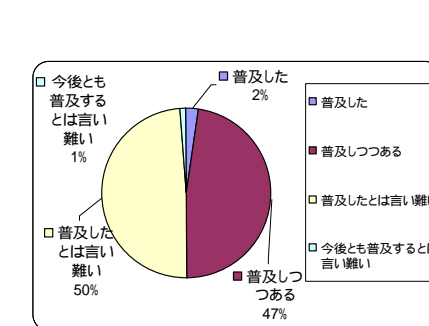
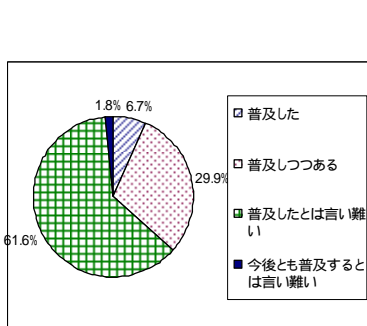


9. 日本における Web サービス技術の普及度合い

(1) IT 業界における Web サービス技術の普及度合い(2001 年度は以降設問なし)

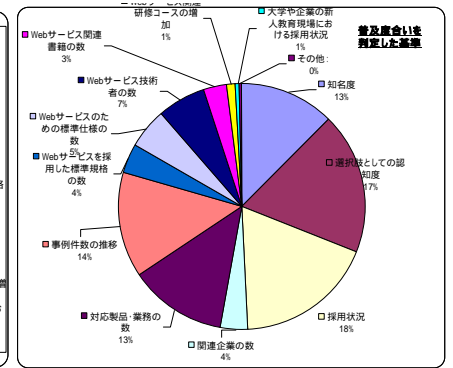
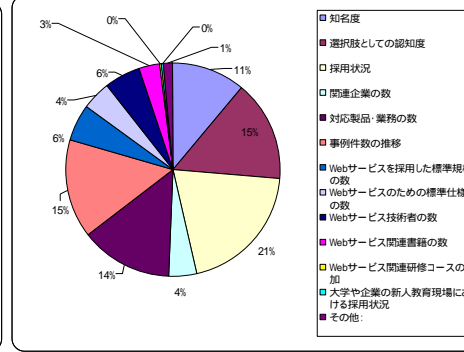
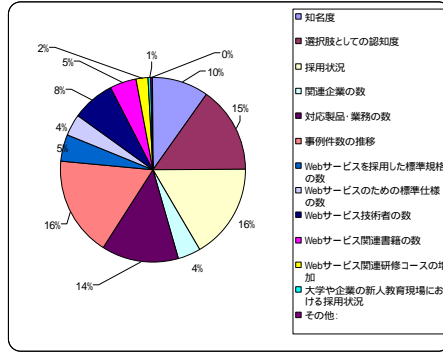
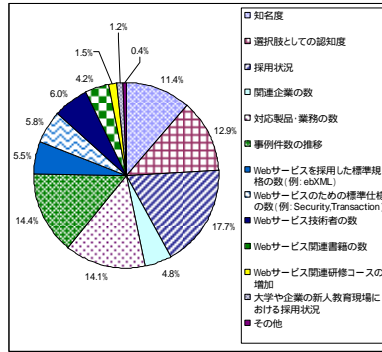


(2) ユーザー企業における Web サービス技術の普及度合い

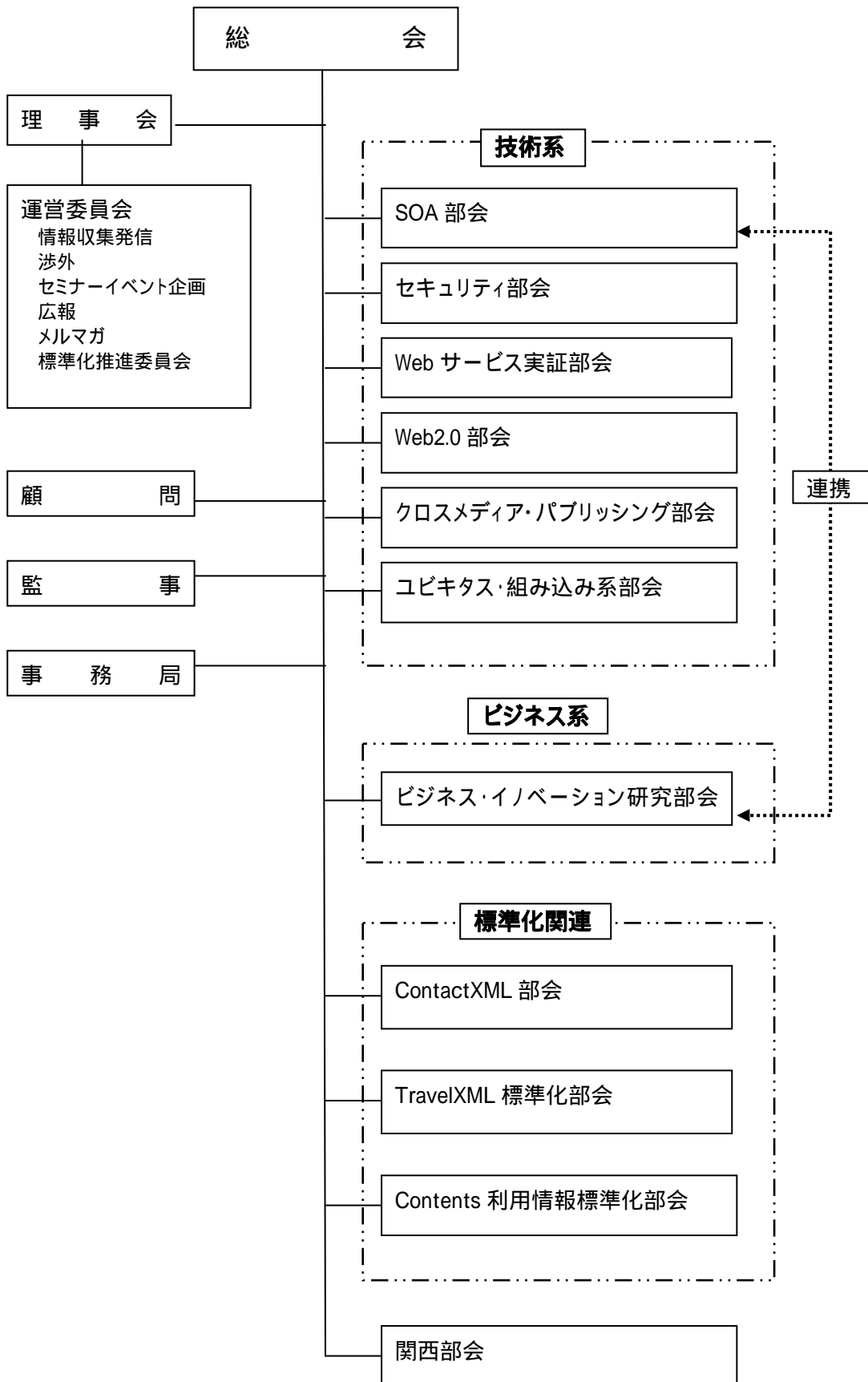


10. 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)

# 第6回総会議案書 付 属 資 料



4.2006年度 XMLコンソーシアム組織





## 5. 2006年度 部会活動計画

### (1) SOA 部会活動要綱案

#### 目的

SOA(Service-Oriented Architecture)とはビジネスレベルの"サービス"を組み合わせさせてアプリケーションの連携や統合を行なうシステム構築の考え方をいう。当部会の目的は抽象的なSOAの概念から具体的なビジネス面でのメリット、システム設計の方針、Web サービスの有効活用の方法等を導きだすことである。さらに得られた情報や知見を外部に発信することでSOAやWebサービスの普及・発展に貢献することを目指す。

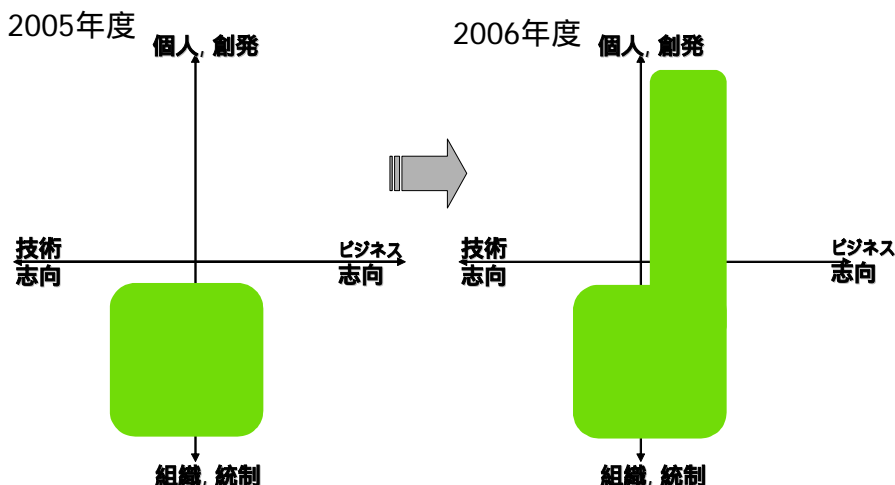
#### 活動内容

以下のテーマを中心に活動を行なう。

- サービスの記述、発見、合成、実装に関する規格・技術の調査
- SOAによるプロセス統合、B2B、EC等の実現事例の収集と分析
- SOAやWebサービス関連ツールや開発環境、実行環境の調査
- SOAの意義の認知や普及のための情報の発信
- SOA実現に必要なノウハウ、アーキテクチャパターン、デザインパターンの収集と蓄積
- ビジネスモデルの定義からWebサービスによる実装に至るSOA適用シナリオの作成
- AJAXやリッチクライアントなどの技術のトレンドとSOAとの関連の調査

#### 活動の位置づけ

活動内容の位置づけを下図に示す。



#### 2006年の重点施策

SOAの具体的なイメージを開発者/ユーザに提示することを重点施策とする。SOAの開発ツールや実行環境が整備されてきた状況に鑑み、SOA開発プロセス(の一部)を実践してみても部会での議論を深化することを検討する。

#### 活動方法

- 新年度に向けてのオリエンテーションをコンソーシアム Week 中に行なう
- 月例ミーティングでのFace-to-faceのディスカッション
- メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- ビジネスイノベーション研究部会とのコラボレーション(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- XMLコンソーシアム他部会等との協調による普及推進
- Webページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- XMLコンソーシアム Day、XMLコンソーシアム Weekでの活動報告

#### ワーキンググループ

ワーキンググループの構成や活動形態については 2006 年度の最初のミーティング(6 月を予定)で協議し決定する。

#### 対象者

SOA や Web サービスの実現やビジネス応用について興味をお持ちのかた。

#### 会員メリット

SOA 関連情報・ノウハウの獲得  
参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 体制

リーダー/サブリーダーは 2006 年度の最初のミーティング(6 月を予定)で決定する。

#### 候補

天野富夫 日本 IBM  
牧野友紀 日本ユニシス

## (2) セキュリティ部会活動要綱案

#### 目的

XML セキュリティ技術のビジネスシステムへの適用に向けて、規格の調査・翻訳・解説を行ない、また、アプリケーションモデルの検討・試作を通じてシステム構築における様々な問題点の解決方法や具体的な実装ノウハウを蓄積すると共に、それらの成果物を公開することによりセキュリティ技術の普及を促進させるべく活動を行なう。

#### 活動内容

セキュリティ規格の調査、解説  
セキュリティ規格文書の翻訳  
ビジネス適用事例の調査、収集  
開発ツール、ミドルウェア等の調査および比較検討  
モデルの構築とアプリケーションの検討  
試作による技術検証  
sPlat (Web サービス実証部会との合同による有志プロジェクト)  
Web サービスにおける XML 暗号化を含むメッセージの取り扱いに伴う問題点とその対策の検討、および実装方法についての研究。

#### 活動方法

メンバー全員による月例ミーティング、WG 別ミーティングの開催  
メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション  
参加メンバー個人によるテーマ別の調査報告の実施  
関連製品の紹介セミナーの開催  
XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進  
翻訳文書、Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成  
XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

#### サブワーキンググループ

Web サービス実証部会との合同作業による sPlat プロジェクトを除き、部会内へのWG 設置は基本的に行なわず、部会メンバー全員でのディスカッション及び研究作業を実施する。  
活動の内容・規模に応じて必要と認められる場合には別途WG を構成する。

#### 会員メリット

XML 関連情報・ノウハウの取得  
XML 技術動向の早期キャッチ・アップ  
メンバーで膨大な情報を分担、料理した後、共有！  
将来ビジネス発掘のための基礎情報取得  
参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 体制

初回会合において、メンバー間の互選にてリーダー及びサブリーダーを選出。

候補者： 岡村和英（ネット・タイム、2004～2005年度部会リーダー）

松永豊（東京エレクトロン、2004～2005年度部会サブリーダー）

### (3) Web サービス実証部会活動要綱案

#### 活動目的

Web サービスおよびXMLに加え、Web2.0の要素技術であるREST、Microformats、Ajaxなどを実システムに適用するにあたり、実ビジネスを想定したプロトタイプシステムの開発を通して、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見、公開し、XML/Webサービス利用技術の向上および普及に努める。

#### 活動内容

##### プロトタイピング

- 実用システムのプロトタイプ開発
- 要素技術が抱える課題を解決する手法/方式の提案とプロトタイプ開発
- XML応用規格を利用したプロトタイプシステム開発

##### XML/Webサービス関連プロダクトの評価

##### XML/Webサービス応用技術の普及・推進

- 定例セミナー・総会等での発表
- 学会、雑誌等での発表
- Webページによる情報の発信
- 製品紹介セミナーの開催

#### 活動方法

##### メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催

- ワーキング・グループ別の月例ミーティングの開催
- 必要に応じて、ワーキング・グループを横断した活動を実施
- 製品紹介セミナーの開催
- メーリングリスト活用による日々の情報交換、Q&A等

##### 他部会、他団体との連携

#### 活動成果・メリット

##### XML関連情報・ノウハウの取得

- 評価・プロトタイピング：作成した評価報告書およびプロトタイプのソースコードの作成及び公開
- 製品紹介：各企業での製品利用のきっかけに利用してもらう
- 参加企業間での情報交換・人的/ビジネス・ネットワークの構築

##### 情報公開

- Webサイトでの評価報告・プロトタイプの公開
- 学会、雑誌等での発表

##### 参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 参加資格

XMLコンソーシアムの会員でWebサービスに関心があり、開発に参加できること

定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

#### スケジュール概要

##### 月1回の定例ミーティングの開催

XMLコンソーシアムとしてのイベント等に参加

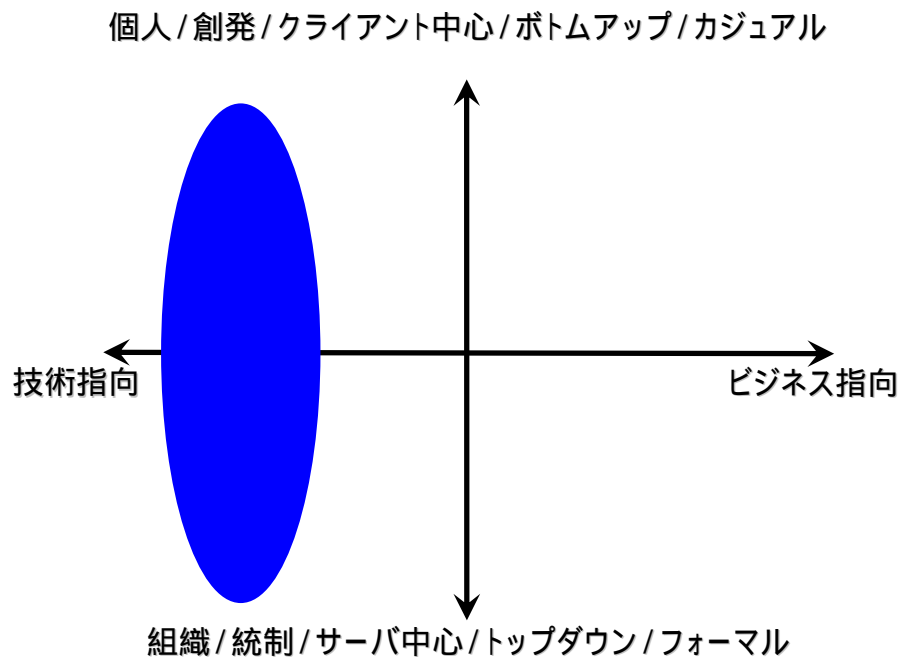
#### 体制案

リーダー：PFUアクティブラボ株式会社 松山憲和

サブリーダー：株式会社 日立製作所 大場みち子

：東京エレクトロン株式会社 松永豊

位置づけ



#### (4) Web2.0 部会活動要綱案

##### 活動目的

EnterpriseにとってのWeb2.0のビジョンを描き、一般(個人)向けのWeb2.0の哲学をEnterprise向けに”翻訳”しつつ高度に統合した利用原則、設計原則を導く。そのためのプロトタイプ開発や、評価、類似技術の比較調査、アプリケーションのアイデア出しを行う。特に、REST型と呼ばれる新しいシンプルなWebサービスとSOAP/WSDLベースのWebサービスとの使い分け、併用のガイドラインを中心に、”Web2.0 for Enterprise提言書”にまとめる。

##### 背景

昨年度は、ブログのトラックバックSPAMが国内でも問題となるなど、部会が以前から手がけていたRSS/Atomフィードの技術が広範に普及し、Web2.0の国内ブレイクの下地となりました。

Webサービス実証部会とドキュメント・メタデータ活用部会でプロトタイピングを行った愛知万博向けiPlatプロジェクトでは、RSS連携による写真付きブログや、インデックス情報付きの現地取材動画等のRESTベースのサービスを提供すると共に、緯度・経度という古典的なメタデータで多数のコンテンツを「マッシュ・アップ」する試みを先駆的に実行していたことに、事後に気づかされました。

2005年度後半、ドキュメント・メタデータ活用部会では、Ajax、Web2.0的Configurable portalからマッシュアップを中心に、Web2.0の技術要素を試用、試作してまいりました。また、ロングテール、徹底したデータ中心主義、microformats、remixingなど、必ずしも技術要素とはいえないWeb2.0の思想、デザインパターンについても議論を重ねてまいりました。

その中で、RESTベースとSOAP/WSDLベースのWebサービスとの使い分け、併用のイメージを2006年1月に初めて打ち出すことができ、”Web2.0 for Enterprise”をXMLコンソーシアム全体のテーマとし、さらに、PAGE2006や新企画のWeb2.0勉強会等の場で、対外的にコンセプトを発信することができました。

これらの成果は、2005年度のドキュメント・メタデータ活用部会活動要項中に、次のように予告、記載されています：「異種のアプリを連携させるには必ずしもWebServicesによるだけではなく、ATOM/RSS、トラックバックなど、メタデータを活用した緩やかな連動の仕組みが相応しい場合も多く存在します。昨年度は、愛知万博iPlatプロジェクトで、WebServiceに画像付きブログを緯度・経度データを介して様々な手法で連携させてみた経験から、実際の情報構造に適したインタフェースを組むという柔軟なアプローチが有望なことを悟りました。かように、メタデータ活用による連携は、データ/コンテンツ主導の実装インタフェースとしても極めて有望視されるようになってきました。」

2006年の2月以降、IBMはじめ10数社がOpen Ajaxプロジェクトを立ち上げたりmicroformatsをてがかりに企業情報システムへの本格進出を狙うMicrosoft社が Web2.0に全面的にコミットを表明するなどの動きが出てまいりました。

また、ブログのレイアウト変更並みに構成の変更(configure)が容易な、Web2.0的ポータルも出現(例：<http://www.live.com/>)し、Webの見た目、手触りが変化しているのが体感されるようになってきています。「身近で有用なデータ」(コンテンツ、構造情報)と表裏一体のコンパクトな言語をインタフェースに用いたい、という要求は急拡大しています。これらの新しいユーザ中心のインタフェースは、使いやすい、優れた企業情報システムにとっても大いに検討すべき価値をもつと思われまます。

活動内容:

- (a) Web2.0の全体像、哲学、利用者視点のビジョン、設計哲学、デザインパターンの調査
- (b) Ajax, マッシュアップ, REST型Webサービス等、Web2.0の各技術要素の研究、試作・評価
- (c) 社内Blog/SNS運用など、ユーザ参加型コンテンツ収集・連携のモデル、アプリの検討
- (d) XBRL活用、HR-XML活用、RSSマーケティング、ロングテール等、ビジネス面の検討、予測
- (e) 複数WebServiceを使い分け、併用するSOA2.0におけるメタデータ活用の役割の研究

重点施策

- (1) Web2.0勉強会から発展した部会としてAjax開発者向けの講習会等のデモ入りの内部講演
- (2) 「入りやすさ」「関連WG、部会、企業、学会・研究会、マスコミ等との連携のしやすさ」を重視し、年度途中で常時参加を受け付け。
- (3) 多種のサービスを自ら試用しその体験をメンバーと共有する文化の醸成
- (4) その発展として関連研究を横断したWeb2.0的コミュニティの形成
- (5) Web2.0提言書のとりまとめ

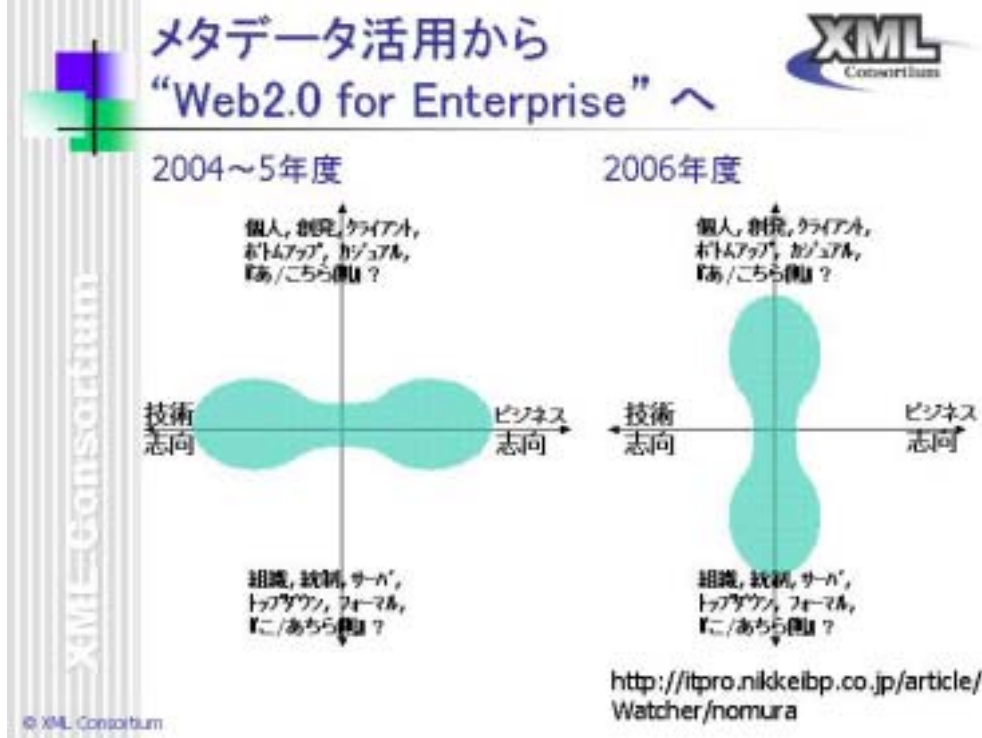
活動方法・報告・成果物

- ・メンバーによる月例ミーティング開催
- ・SNS、ブログ、メーリングリスト等による日常の情報交換、ディスカッション
- ・参加メンバー個人によるテーマ別の調査報告の実施
- ・XMLコンソーシアムの他部会および他団体との協調による普及推進
- ・技術顧問(慶應&W3C萩野教授, 名大吉川教授)ら識者を囲んだオープン・ディスカッション
- ・部会成果発表会(XMLコンソーシアムDay, XMLコンソーシアムWeek等)での活動報告

会員メリット

- ・RESTの使いこなし、SOAPとの併用、また、BPELとマッシュアップとの併用など、エンタープライズにとってのWeb2.0関連の最新情報・技術・実装ノウハウの取得
- ・Web2.0関連でオリジナルなアイデアを育て、試作に参加し、本格的な近未来体験
- ・将来アプリ、ビジネス発掘のためのビジネスアイデア発想の刺激豊かな環境
- ・エンタープライズ情報環境と個人情報環境の有機的統合を考える場への参加
- ・参加メンバー間の情報交換、人的ネットワークの確立

[参考]活動に際して意識する対立軸の更新



ドキュメント・メタデータ活用部会の、技術志向とビジネス指向の統合の追及(表裏一体化)は一定の成功をみる  
ことができた。それが当たり前となったWeb2.0時代には、新たに、個人志向とエンタープライズ志向との間の統合を  
追及する。コンテンツ・サービス事業を中心に、技術とビジネスはもはや表裏一体であり、今後は、技術とマーケ  
ティングの融合まで視野に入れ、サービス・サイエンス等を道具に価値創造のための方法論を追及する活動全般を、  
Web2.0というテーマに集約させていく。

#### 連絡先

野村直之(メタデータ)、小林茂(日本ユニシス)、宮崎昭世(日立ソフトウェアエンジニアリング)、玉川竜司(Sky)

### (5) クロスメディア・パブリッシング部会活動要綱案

#### 活動目的

印刷出版業界で利用されている XML を調査し、XML コンソーシアム会員と情報を共有する。さらに今後 XML を  
活用できる場面を検討し、結果を XML コンソーシアムから印刷出版業界へ提示する。

別途調整中の、XML コンソーシアムと日本印刷技術協会(JAGAT)のアライアンスにおける具体的手段として、  
XML 普及啓発の一端を担う。

#### 背景

JAGAT では、クロスメディア・エキスパート認証制度をスタートさせ、印刷出版業界において、インターネットを含  
む多様なメディアへ出版する知識と技術を向上させる動きがある。要素技術には XML も含まれ、メタデータの活用  
も現実のものとなっている。

キーワード: CMS(コンテンツ管理システム)、クロスメディア、CDP(MS オフィス・メタデータ)、ダブリンコア  
/PRISM/各種 XMP スキーマなどのドキュメントに関するメタデータ標準

#### 活動内容

下記を円滑に進められる方法をメンバーと検討しながら実現させていく。

- (1) 当部会と、JAGAT クロスメディア研究会の交流(主に7月~9月)
- (2) 印刷出版業界で利用されている XML の調査(主に10月~11月)
- (3) 印刷出版業界の仮想顧客を想定し、XML の活用を提案書形式にまとめる(主に12月~1月)
- (4) XML コンソーシアムが考える今後の印刷出版業界での XML 活用方法を提示(主に2月~4月)

#### 重点施策

部会初年度に相当するため、日本印刷技術協会との協力関係を築くこと、および、アクティブな部会メンバーを  
育てる。以上2点に関わる施策を重点とし、これを検討しながら進めていく。

目標は「印刷出版業界の現実を見据えた堅実な部会活動」。

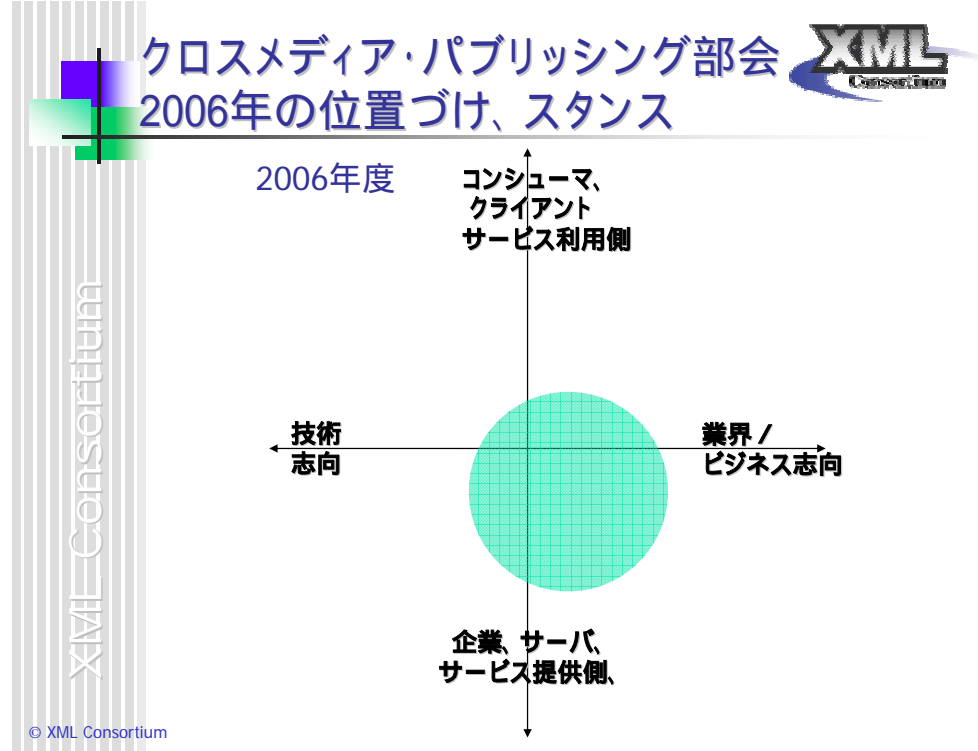
#### 活動方法・報告・成果物

- ・メンバーによる月例ミーティング開催。16:00-18:00
- ・通信手段を利用した日常のディスカッション
  - メールリスト等
  - 電話会議あるいはチャット会議(夜間、曜日と時間帯を決めて実施)
- ・XML コンソーシアムの他部会との情報交換
- ・JAGAT 訪問、JAGAT クロスメディア研究会との交流会(月例ミーティングとは別で開催)
- ・印刷出版業界で利用されている XML の調査報告書を作成(11月)
- ・「クロスメディア・パブリッシングへの XML 活用 2007」を作成
- ・部会成果発表会(XML コンソーシアム Day/Week 等)での成果発表

#### 会員メリットおよび、期待する参加者

- ・印刷出版業界との交流を通じて業界知識を得ることができる
- ・XML の新しい活用方法を習得することができる
- ・参加メンバー間の情報交換、人的ネットワークの確立
- ・期待する参加者(下記ひとつで十分です):
  - 印刷出版業界に関連する方もしくは興味のある方
  - 提言書などの執筆に協力できる方、絵図の描画が上手な方
  - 電話会議あるいはチャット会議などでのコミュニケーション確立に協力してくれる方

[参考]活動に際して意識する対立軸



#### 連絡先

イースト株式会社 藤原 隆弘 (fujiwat@est.co.jp)  
XML コンソーシアム運営委員会 / 渉外委員 / エバンジェリスト  
日本印刷技術協会クロスメディア・エキスパート認証制度検討委員  
国際新聞電気通信評議会 NewsML1 メンテナンス分科会副議長  
日本新聞協会 NewsML サポートチーム委員  
HR-XML コンソーシアム US 本部会員 / 日本支部技術顧問

### (6) ユビキタス・組み込み系部会活動要綱案

#### 活動目的

これまでの調査研究活動をベースに、ユビキタスというキーワードに関わる XML 関連技術を整理し、今後の技術を含めて、市場、社会、家庭、人間に関わる分野への適用可能性を実証・検証することを目的とする。

#### 活動内容

最新の技術動向とこれまでの検討をベースに、アプリケーションを選び、ベストプラクティスを検討する。実装レベルまで踏み込み、サブシステム間の交換データ形式(XML)を含んだ実現性の検討を目指す。最終的にはレポートとしてまとめる予定。

なお、レポート作成と平行して、従来からのヒアリングによる調査研究も継続させる。

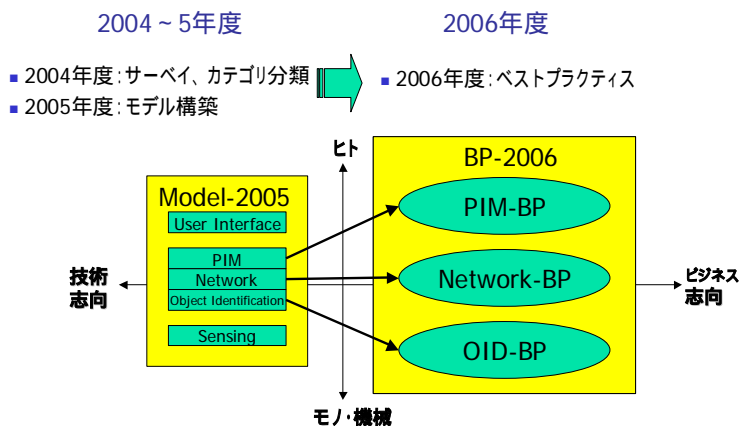
基本的な動向として、以下の可能性を考慮している。

- (1) モバイル指向、クライアント指向となる XML 処理
- (2) 個人管理(PIM)情報の活用とプライバシー、セキュリティ問題
- (3) アプリケーション分野の推移(企業ビジネスから社会、家庭、人間へ)
- (4) セマンティック・オントロジへの提言(全ての管理対象への ID=URI 付与)
- (5) ネットワーク・インフラへの提言(ID=URI と IPV6 との関係付け)

上記の背景としては、下記標準化組織の動向を注目し、必要に応じて連携して進めたいと考えている。

- (1) W3C のモバイル Web イニシャティブ(MWI)、複合ドキュメントフォーマット(CDF)WG
- (2) YRP ユビキタス研究所の T エンジンフォーラム
- (3) JEITA AV 機器標準化委員会
- (4) 日本規格協会ユビキタス社会を推進する情報基盤の標準化調査研究委員会

## ユビキタス・組み込み系部会の位置づけ、 スタンス：モデルから“ベストプラクティス”へ



### 活動方法

- ・メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催(1回/月)
- ・テーマは設けるがWGに分けずに全体で議論する形とする。  
 なお、具体的なテーマや検討方法については、部会にて議論し、決定する。
- ・メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- ・ソーシャル・ネットワーク・サイト mixi を活用したディスカッション
- ・XMLコンソーシアム他部会および他団体との交流
- ・Webページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- ・XMLコンソーシアムDay, Weekでの活動報告
- ・学会、他研究機関との連携

### 活動成果・メリット

- ・最新技術、動向の把握、スキルアップ
  - 標準化組織メンバーによる報告に基づく最新技術、動向の把握
  - 各分野の専門を招いたヒヤリングやディスカッションによるスキルアップ
- ・情報公開
  - 学会、雑誌等での発表
- ・参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

### 参加資格

- ・XMLコンソーシアムの会員でユビキタス関係および組み込み系の機器やその利用方法に関心があること。  
 特に、ユーザー企業からの参加を歓迎する。
- ・定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

### 体制案

- ・リーダー候補  
 ジャストシステム 大野邦夫
- ・サブリーダー  
 日立製作所 大場みち子
- ・テーマ取りまとめ者候補

## (7) ビジネス・イノベーション研究部会活動要綱案

### 活動目的

ビジネス環境の変化に俊敏に対応し、経営戦略上の施策を実現するために、これまで以上に広くかつ密接に IT を活用することが不可欠となっている。具体的には、昨今、日本版 SOX 法の適用など内部統制の強化は企業共通の重要な経営課題になっている。また、現場においてグループや個人の多様性を活かし協調することで創造性を引き出す考え(Web2.0 に類似)に着目するようになってきている。これらの取り組みに情報システムが重要な役割を果たすことは論を待たない。



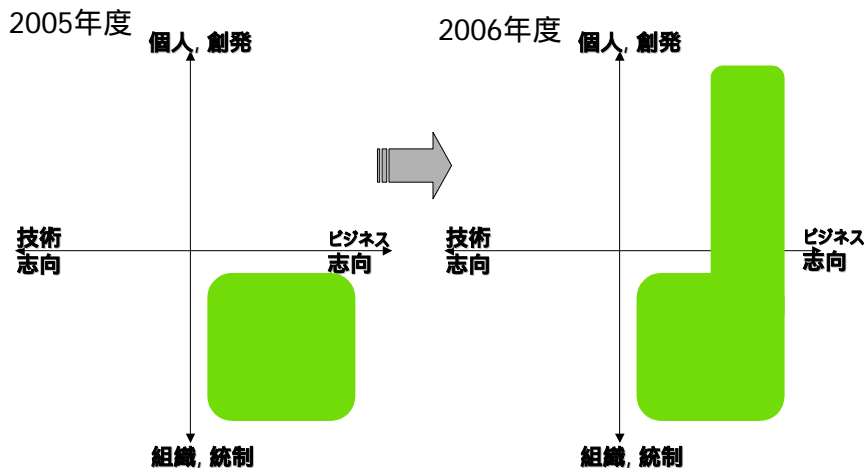
当部会では、ビジネスの目標や計画を反映し業務と IT を明確に関連づける方法、現場が創意工夫する情報活用形態のあり方を研究する。

#### 活動内容

ビジネスモデル定義方法、ビジネスプロセス・モデルリング手法の研究  
ビジネスアーキテクチャからシステムアーキテクチャの関連付け方法の研究  
エンドユーザ主導の情報活用の形態と必要な技術の研究

#### 活動の位置づけ

活動内容の位置づけを下図に示す。



#### 2006 年の重点施策

2005 年度実施した「ビジネスプロセス記述とサービス設計の試行」プロジェクトで立案したモデリング手法を実践する機会を設け検証する。また、新たな取り組みとしてエンドユーザ主導の情報活用環境の技術動向を調査・研究する。

- (1) ビジネスプロセス & サービスのモデリング手法の取りまとめ
- (2) UMTP/BPMN 研究会、SOA 部会連携によるモデリング手法の実践
- (3) EUC 技術現状調査

#### 活動方法

SOA 部会とのコラボレーション(ミーティングの同日開催、メンバー交流)  
XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進  
月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション  
メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション  
参加メンバー分担による個別テーマや事例の調査  
Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成  
XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

#### ワーキング・グループ

2006 年度最初の部会ミーティングにて、参加者の意向を集約し編成する。

#### 対象者

IT ユーザー企業業務企画部門、IT ユーザー企業情報システム部門、S/W 提供ベンダー導入支援部門、SI ベンダー上流工程担当部門等、ビジネスと IT の関連付けや融合の方法について興味のある方。ビジネスプロセス・モデリング初心者参加を前提に活動する。

#### 会員メリット

初級レベルから段階を踏んだメンバーのスキル・アップ  
ビジネス中心のシステム開発アプローチの手法・ノウハウの獲得

参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

体制

リーダー/サブリーダーは2006年度の最初のミーティングで決定する。

候補

- 牧野友紀 日本ユニシス
- 天野富夫 日本 IBM
- 倉澤良明 キヤノン
- 芦田尚人 ブレイニーワークス

**(8) ContactXML 部会活動要綱案**

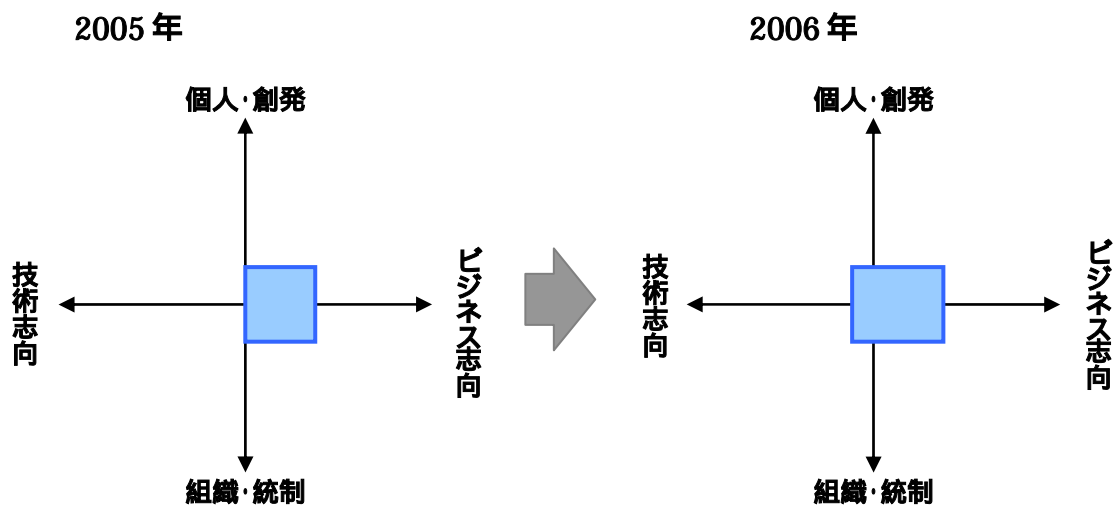
目的

ContactXML仕様に関する制定・開発・情報公開・情報交換等のContactXML仕様の普及活動を行う  
ContactXML仕様を活用したビジネスへの後方支援を行う

活動内容

- ContactXML仕様の開発・制定・標準化
- ContactXMLの適用研究・事例収集
- ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会及び「ContactXML.org」(ポータル・メーリングリスト)の運営
- ContactXML仕様の普及活動
- 上記全成果物のXMLコンソーシアムへのフィード・バックと承認申請

活動の位置付け



活動方法

- 必要に応じて下記の活動を実施する
  - メンバー全員による部会の開催
  - テーマ毎個人による調査報告の実施
  - 他部会と連携した研究、セミナーの開催
  - ContactXMLメーリングリストを使用した意見交換
  - 出版等外部向けコンテンツの作成

活動成果予定

- 仕様等の問い合わせに関する対応結果
  - 仕様に関する問い合わせや指摘事項が発生した際に生じた各種情報

参加資格

コンタクト情報の記述・交換に関心があること。

定例ミーティング又はメールリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと。

スケジュール概要  
未定

## (9) TravelXML 標準化部会活動要綱案

### 活動目的

旅行業者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関との間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報のXMLによる標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

### 活動内容

旅行業業界商取引のXML標準化情報(Travel XML)の普及・啓発活動

- Webページ等による情報の発信
- XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

必要に応じて以下の活動を行う。

- 旅行業業界における商取引についての調査と要件把握
- 旅行業業界における商取引のXML標準の改善検討

### 活動方法

必要に応じて以下の活動を行う。

- 月1回程度のミーティングの実施
- 商取引に関連する各旅行業者との協力による業界情報収集
- メールリスト活用による情報交換、ディスカッション
- 主幹事メンバによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション
- 他部会、他団体との連携

### 参加資格

XMLコンソーシアムの会員で旅行業業界商取引の標準化に高い関心を有すること

定例ミーティング又はメールリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

### 体制

リーダー：遠城 秀和 株式会社 NTT データ

### 連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします

[xmlcons@fsi.co.jp](mailto:xmlcons@fsi.co.jp)

## (10) コンテンツ利用情報標準化部会活動要綱案

### 目的

著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報のXMLによる標準化提案を目指します。

### 活動内容

必要に応じて以下の活動を行う。

- コンテンツ利用情報対象業務についての調査と要件把握
- コンテンツ利用情報のXMLによる標準化案(第2版)作成
- コンテンツ利用情報XML標準化情報の普及
  - = Webページ等による情報の発信
  - = XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

## 活動方法

必要に応じて以下の活動を実施する。

- 標準案作成中は月1回程度のミーティングの実施
- コンテンツ利用に関連する業界団体との協力による業界情報収集
- メーリングリスト活用による情報交換、ディスカッション
- 主幹事メンバによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション
- 他部会、他団体との連携

## 参加資格

XMLコンソーシアムの会員でコンテンツ利用情報の活用で主導的なポジションにある著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者、システム提供のSI企業、著作権許諾支援ソフト提供企業、その他著作権許諾情報に興味を持つ企業などのコンテンツ利用の商取引の標準化に高い関心を有すること  
定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

## 体制

リーダー : 福永 博信 株式会社 NTT データ

サブリーダー : 遠城 秀和 株式会社 NTT データ

## 連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします

[xmlcons@fsi.co.jp](mailto:xmlcons@fsi.co.jp)

## (11) 関西部会活動要綱案

### 目的

関西で活動を行える会員間での、情報交換と交流を全体の目的とする。参加会員による活動内容の希望を尊重し、XMLを核とした情報交換を中心に地域で就業者を中心に活動を行う。活動を通じて、関西でのXML、Webサービス、SOA、Web2.0等のXMLに関連する普及活動の活性化に努める。活動では、実装技術習得、情報共有を手軽に行える環境を構築し、部会として恒久的な活動となるべく基盤を育成する。

### 活動内容

XMLを根幹のキーワードにWebサービス、SOA、Web2.0に至るまでを、会員間の交流を主たる目的としながら、以下の活動を行うこととする。

各活動テーマに対してはサブグループを構築し活動を行うが、定例部会では全員を対象として、座談形式で意見交換を行い部会としての情報共有を図る。

Web2.0、SOA 他最新技術交換

少し気になる技術の情報を全員で考え活用方法を検討する。

Web サービス実装

仮想システムを通じたWebサービスやUI検証実装を行い、技術の経験、習得を図る。

環境構築

変化するコミュニケーション方法を取り入れ情報共有方法として活用しながら、実活用シーンを検討する。

地域性を生かした実装モデルの調査

学校、団体との共同研究を目指し活動

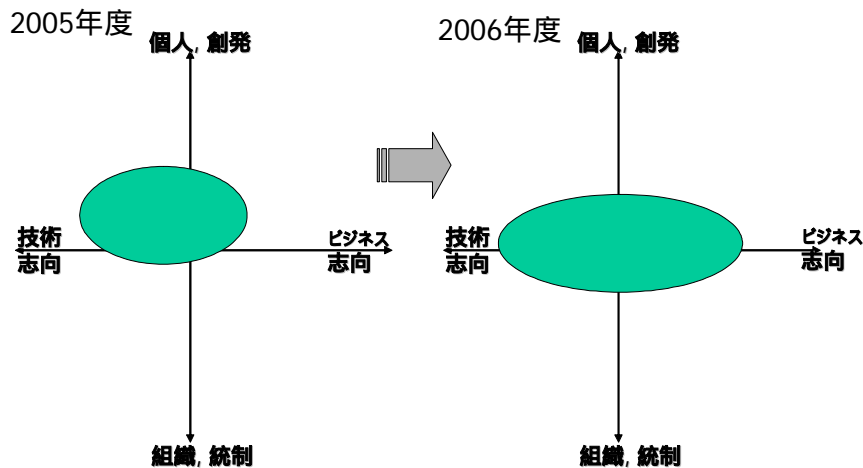
情報発信

セミナー実施

活動メンバーの増加を目指し企画

### 活動の位置づけ

活動の位置づけを下図に示す。



昨年度は、活性化の目的により、企業に属する参加者のスキル向上を目指した活動を中心に行ってきたが、本年度は、参加者のスキルの向上はそのままに、参加者が属する企業に還元できる活動を心がける。それにより、地域での就業者を含む企業による部会活動の基盤を構築する。

#### 活動方法

月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション  
 メールリストによる日々の情報交換、ディスカッション  
 月例ミーティングにおけるテーマ持ち寄りの意見交換会  
 コミュニケーションツールを活用したオンライン検討  
 他団体、学校との連携

#### 活動成果

実装経験の共有  
 初歩からの経験における情報の公開  
 調査内容、意見交換内容の公開  
 着目技術については、活動のミーティングで決定

#### 2006年の重点施策

関西での活動にあたり、立場、役割の異なる参加者が集まる地域の部会として、参加会員の意識統一を図り、恒常的な拠点とすべく、更なる確固とした地盤を築くことを重点課題とする。

関西部会を更に活発な活動の場とすべく、活動のシナリオを以下に記載する。

- (1) 習熟度に依存しない環境の提供
  - オンライン情報共有環境の提供
  - 実装技術習得環境の提供
- (2) 意見交換の活性化
  - 実装による経験機会の提供
  - 意見交換による情報の提供
- (3) 関西に拠点を置く団体との共同研究

#### 対象者

XML コンソーシアムの会員で関西における活動に興味をもたれる方  
 定例 Meeting やオンラインにおける意見交換に参加でき、情報の共有に努めることが可能な方

#### 会員メリット

関西を中心とした参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立  
 多様なコミュニケーション方法の実践  
 実装を通して技術の習得  
 Web サービス活用環境の提供

体制

ワークグループ

全員で共通認識を持つ観点より、現状は作成しない。

但し、活動テーマにより、担当者の事前討議は状況により行う。

体制案

開催時に、活動メンバーにより、リーダーの決定及びサブリーダーの有無を含め、検討する。

以上

## 6.表彰者一覧

### 1) iPlat を通したXMLコンソーシアム認知度向上(7名)

2004年度に実施した『道路交通情報Webサービスを使った複合Webサービス実証実験システム』に関して、

- ・ITS EXPO2005やPage2006などの各種イベント/展示会へでの講演、デモ展示説明
- ・日本道路交通情報センター様、ITS Japan様、総務省様へのご説明
- ・XMLコンソーシアム会員企業への実証実験システム公開

などを通して、XMLコンソーシアム活動の認知度向上に努めたこと。

また、Webサービスの有効性を幅広い層にアピールするだけでなく、Web2.0への先進的取り組みとして、高い評価を得たこと。

(順不同、敬称略。以下同様)

アドソル日進株式会社	荒本 道隆
株式会社内田洋行	重久 修平
株式会社エルザ	笹本 弘治
Sky株式会社	玉川 竜司
日本電気株式会社	高橋 公一
PFUアクティブラボ株式会社	松山 憲和
メタデータ株式会社	野村 直之

### 2) OASIS WSS 1.0 付帯文書翻訳(4名)

- ・サイト公開済みのOASIS標準Web Services Security 1.0標準仕様文書の日本語翻訳化に引き続き、関連文書の翻訳作業を実施し、付帯文書の日本語翻訳を完成した。
- ・WS - Securityは、Webサービスのメッセージに完全性と秘匿性を与えることでビジネスでのWebサービス利用を推進する鍵となる標準規格。特に、異なる企業や組織の間でWebサービスを活用した業務システムを開発するためには規格の十分な理解が必要となる。
- ・日本語化によって日本の技術コミュニティにおけるこの標準規格の理解が進み、より柔軟で価値の高いシステム構築の一助となる。

富士通株式会社	西村 利浩
株式会社日立製作所	山根 利夫
東京エレクトロン株式会社	松永 豊
株式会社サンモアテック	高木 基成

### 3) TravelXML 1.4 策定(7名)

- ・2003年からTravelXML仕様策定を継続し、XMLスキーマの開発を完了し、近々1.4の勧告発表を予定している。
- ・保守的な旅行業界に一石を投じる標準化を実践し、国土交通省から表彰を受けたのみならず、現在は総務省からも注目されており、本会の活動をアピールしている。
- ・旅行業界の諸般の事情によりTravelXMLの利用先を明示できない状態にあるが、2007年度以降は加速度的に普及が進むものと期待する。

株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社NTTデータ	藤原 仁
株式会社エルザ	笹本 弘治
株式会社デジタルコミュニケーションズ	藤岡 慎弥
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫
日本電気株式会社	藤本 博之
社団法人日本旅行業協会	杉原 賢二

4) 関西拠点の立ち上げ(14名)

- ・関西を拠点とした部会活動が実現した。
- ・本会設立以来、地方支援を試行錯誤で行ってきたが、ようやく念願の地方展開が実現した。
- ・地方独自のニーズと視点をもって活動を構成し、事例収集や実験システムの開発などを中心に盛んな活動を展開中。
- ・東京と違いこの種の活動経験や実績がないため、周囲の理解の薄い中でメンバー奮闘中。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社 正崎 敏哉

コベルコシステム株式会社 幸田 健

コベルコシステム株式会社 末澤 涼子

Sky株式会社 玉川 竜司

日本アイ・ピー・エム株式会社 太田 一郎

日本アイ・ピー・エム株式会社 依田 忠高

日本システムウエア株式会社 名津井 誠

日本システムウエア株式会社 松本 真由子

日本ユニシス株式会社 松岡 慎治

富士ソフトABC株式会社 清水 晴夫

株式会社ブレインワークス 芦田 尚人

株式会社ブレインワークス 丸山 和秀

株式会社ブレインワークス 中川 聖悠

株式会社ブレインワークス 伊川 和宏

5) 勉強会の早期実施(3名+1団体)

- ・12月末の次期検討委員会での話し合いを受け、理事会承認を得て、緊急に内容企画の詰め、協力先や講師の折衝、開催準備等々を行い、2月からの開始に漕ぎ着け、勉強会の趣旨に沿ったスピーディな立ち上げを実現。
- ・「XMLマスター勉強会」は内容の濃さで、「Web2.0勉強会」は最新の情報提供で満員の参加者を得、ともに高い評価を得た。

株式会社ジャストシステム 澤崎 章二

株式会社日立製作所 坂川 浩二郎

メタデータ株式会社 野村 直之

XML技術者育成推進委員会 感謝状贈呈

6) メルマガ(1名)

- ・会員へいかに当会の活動を伝達するか、参加者には高い評価を得ている部会活動をいかに浸透させ、新規メンバーを勧誘するかなど、当会の課題を解決する一手段として情報伝達能力向上を目指しメルマガを発行。
- ・この目的を完遂するには、企画・運用の両面が不可欠となり、地道な努力と貢献が求められる。
- ・加えて、自ら提案し、毎月、外部への配信を実施し、会員外へのアプローチにも寄与している。

富士通株式会社 太田 英紀

以上



7. 会員会社一覧 (2006年6月1日現在:170 法人会員)

NO.	会社名	備考	NO.	会社名	備考
1	亜細亜証券印刷株式会社	理事会社	61	コニカミルタビジネステクノロジーズ株式会社	
2	イースト株式会社	理事会社	62	コベルコシステム株式会社	
3	インフォテリア株式会社	理事会社	63	株式会社サイバーテック	
4	NTTコムウェア株式会社	理事会社	64	サイバネットシステム株式会社	
5	NTTソフトウェア株式会社	理事会社	65	サニービームス株式会社	
6	株式会社NTT データ	理事会社	66	株式会社CRCソリューションズ	
7	株式会社大塚商会	理事会社	67	株式会社シーエーシー	
8	サン・マイクロシステムズ株式会社	理事会社	68	株式会社ジェイアール総研情報システム	
9	株式会社ジャストシステム	理事会社	69	株式会社ジェー・アイ・イー・シー	
10	東芝ソリューション株式会社	理事会社	70	株式会社時事通信社	
11	日本テレコム株式会社	理事会社候補	71	株式会社シナジー・インキュベート	
12	日本電気株式会社	理事会社	72	株式会社ジャステック	
13	日本アイ・ピー・エム株式会社	理事会社	73	株式会社ジャスミンソフト	
14	日本オラル株式会社	理事会社	74	昌栄印刷株式会社	
15	日本ヒューレット・パッカード株式会社	理事会社	75	株式会社翔コピーセンター	
16	日本ユニシス株式会社	理事会社	76	情報技術開発株式会社	
17	株式会社日立システムアンドサービス	理事会社	77	信興テクノミスト	
18	株式会社日立製作所	理事会社	78	Sky株式会社	
19	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	理事会社	79	住商情報システム株式会社	
20	富士ソフトABC株式会社	理事会社	80	住友信託銀行株式会社	
21	富士通株式会社	理事会社	81	住友セメントシステム開発株式会社	
22	マイクロソフト株式会社	理事会社	82	セイコーエプソン株式会社	
23	株式会社リコー	理事会社	83	セイコープレジジョン株式会社	
24	株式会社アーキインターナショナル		84	セコム株式会社	
25	株式会社IDG ジャパン		85	株式会社セゾン情報システムズ	
26	株式会社アイフィスジャパン		86	株式会社セック	
27	株式会社アクセスネット		87	ソニック ソフトウェア株式会社	
28	株式会社アグレックス		88	ソラン株式会社	
29	アラクサラネットワークス株式会社		89	大日本印刷株式会社	
30	アディレクト株式会社		90	ダイヤモンドコンピューターサービス株式会社	
31	株式会社アドイン研究所		91	株式会社タジマ	
32	株式会社アドス		92	株式会社中央図研	
33	アドソル日進株式会社		93	蝶理情報システム株式会社	
34	株式会社アドパークコミュニケーションズ		94	株式会社都築ソフトウェア	
35	株式会社アプレッソ		95	都築電気株式会社	
36	アルファテックソリューションズ株式会社		96	TIS株式会社	
37	株式会社アレフ・ビジネス・システムズ		97	株式会社DTS	
38	伊藤忠テクノサイエンス株式会社		98	ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社	
39	茨城日立情報サービス株式会社		99	デジタル・ワークス株式会社	
40	株式会社インターネットイニシアティブ		100	株式会社データ・アプリケーション	
41	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社		101	データディレクトテクノロジーズ株式会社	
42	株式会社インフォセック		102	株式会社 データベーステクノロジー	
43	ウェブソフト・インターナショナル株式会社		103	テクマトリックス株式会社	
44	ウェブテクノロジー株式会社		104	株式会社デジタルコミュニケーションズ	
45	株式会社内田洋行		105	学校法人電子学園日本電子専門学校	
46	ウルシステムズ		106	株式会社 電通国際情報サービス	
47	株式会社エクサ		107	東京エレクトロン株式会社	
48	NECシステムテクノロジー株式会社		108	東芝情報システム株式会社	
49	NECソフト株式会社		109	東芝テック株式会社	
50	NECネクサソリューションズ株式会社		110	図書印刷株式会社	
51	NECメディアプロダクツ株式会社		111	凸版印刷株式会社	
52	NTT アイティ株式会社		112	トッパン・フォームズ株式会社	
53	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社		113	ナレッジワークス株式会社	
54	株式会社エルザ		114	日外アソシエーツ株式会社	
55	沖電気工業株式会社		115	日揮情報ソフトウェア株式会社	
56	株式会社キーウォーカー		116	株式会社ニックス	
57	株式会社 気象サービス		117	日新電機株式会社	
58	キヤノン株式会社		118	日本システムウェア株式会社	
59	共同印刷株式会社		119	日本アイオナテクノロジー株式会社	
60	株式会社クレオ		120	日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社	

NO.	会社名	備考
121	日本 BEA システムズ株式会社	
122	日本ビジネスコンピューター株式会社	
123	日本郵政公社	特別会員
124	株式会社日本ライセンスバンク	
125	ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社	
126	株式会社ネット・タイム	
127	株式会社ネットマークス	
128	株式会社ノムラシステムコーポレーション	
129	株式会社野村総合研究所	
130	パシフィックシステム株式会社	
131	株式会社 PFU	
132	PFU アクティブラボ株式会社	
133	株式会社ビーコンIT	
134	ビーコンシステム株式会社	
135	ビーブルスタッフ株式会社	
136	株式会社ビー・ユー・ジー	
137	東日本電信電話株式会社	
138	日立INSソフトウェア株式会社	
139	日立インターメディアックス株式会社	
140	日立ビジネスソリューション株式会社	
141	広島商船高等専門学校	
142	富士写真フイルム株式会社	
143	富士ゼロックス株式会社	
144	富士ゼロックス情報システム株式会社	
145	株式会社富士通研究所	
146	富士電機情報サービス株式会社	
147	株式会社フジミック	
148	株式会社フライトシステムコンサルティング	
149	株式会社プリズム	
150	株式会社ブレインワークス	
151	株式会社ベネッセコーポレーション	
152	マップジャパン株式会社	
153	三井物産株式会社	
154	株式会社ミツエーリンクス	
155	三菱商事株式会社	
156	三菱電機株式会社	
157	ミリオン株式会社	
158	株式会社 明電舎	
159	メタデータ株式会社	
160	株式会社メディアフュージョン	
161	株式会社山武	
162	弥生株式会社	
163	ユニコテクノス株式会社	
164	株式会社リクルート	
165	リコーソフトウェア株式会社	
166	理想科学工業株式会社	
167	株式会社レゾロジック	
168	株式会社レビックグローバル	
169	株式会社ロココ	
170	株式会社ワイ・エス・ピー	